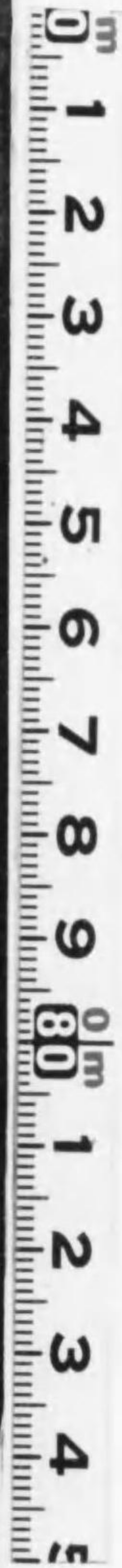


特259

600

四季の盛花挿し方
夏の部

盛花家元 小原光雲著
渡辺虹衣編



始



冊 259
600



四季の盛花挿し方

夏の部

大阪時事新報社為版

盛花家元 小原光雲著

渡邊虹衣編

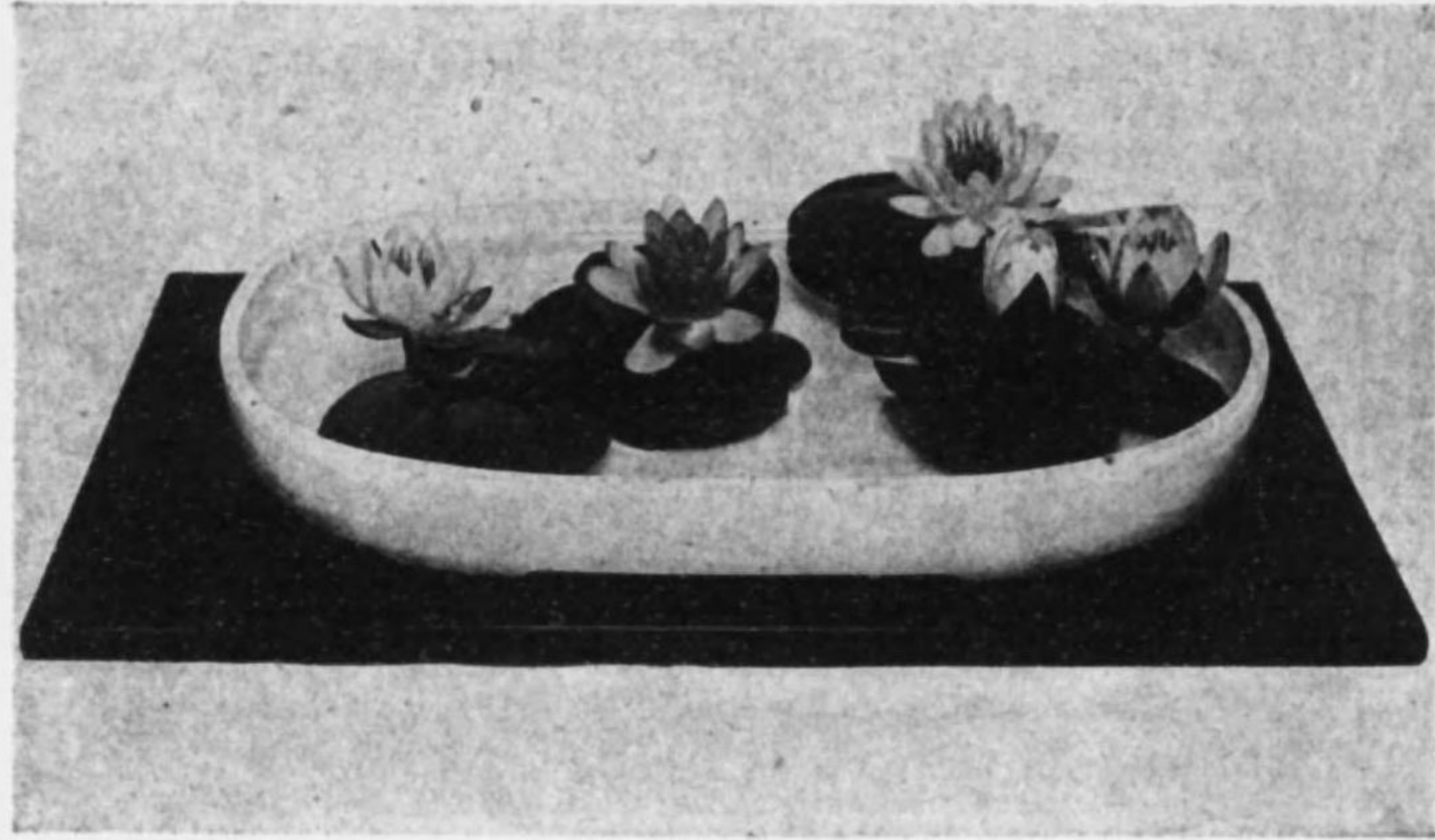




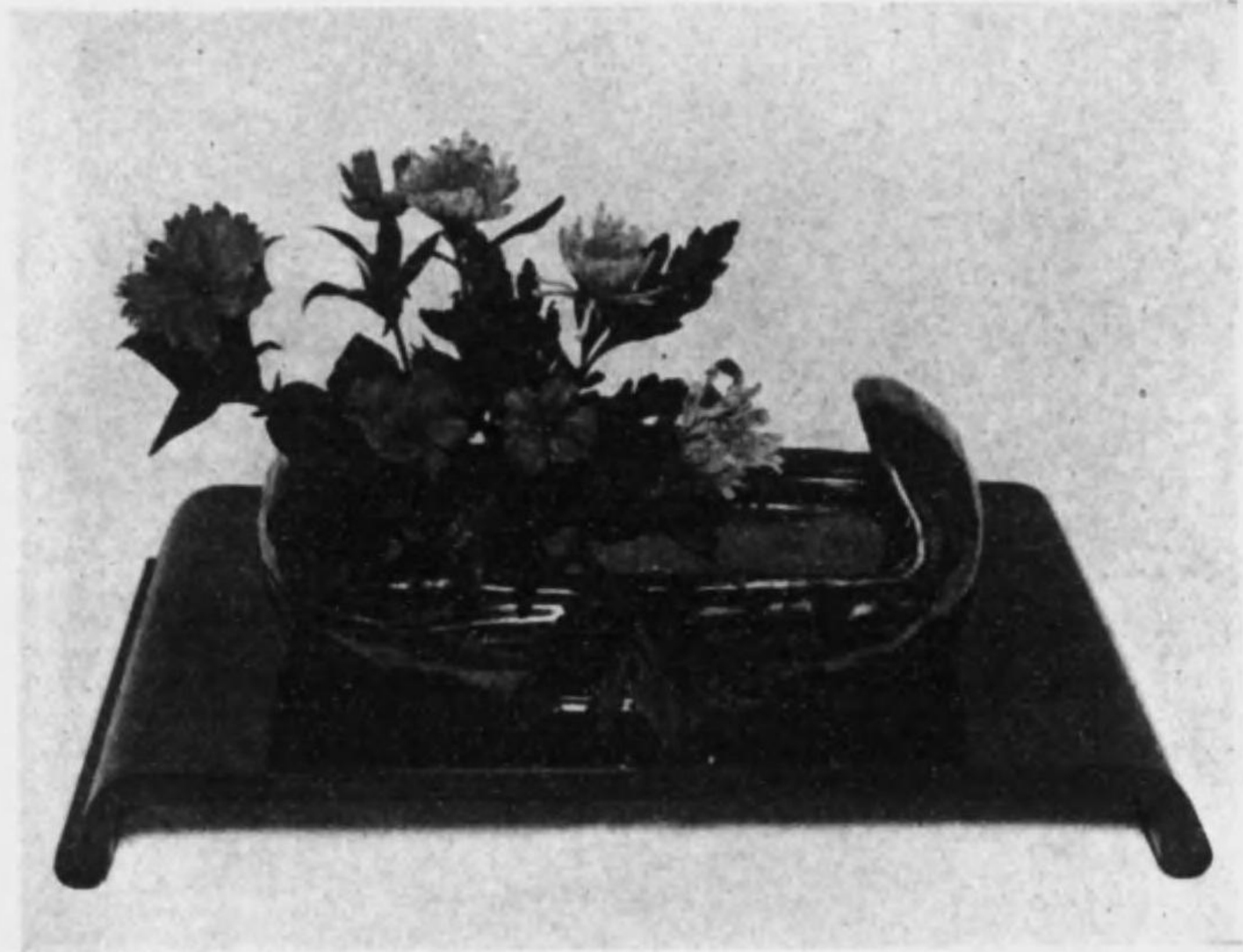
圖の成完種三ヤリダンホンホ菊黄薄にシホギに盤水丸磁白



圖の成完種三の萱刈、イージテ、花陽紫に盤水丸焼師袖雲出



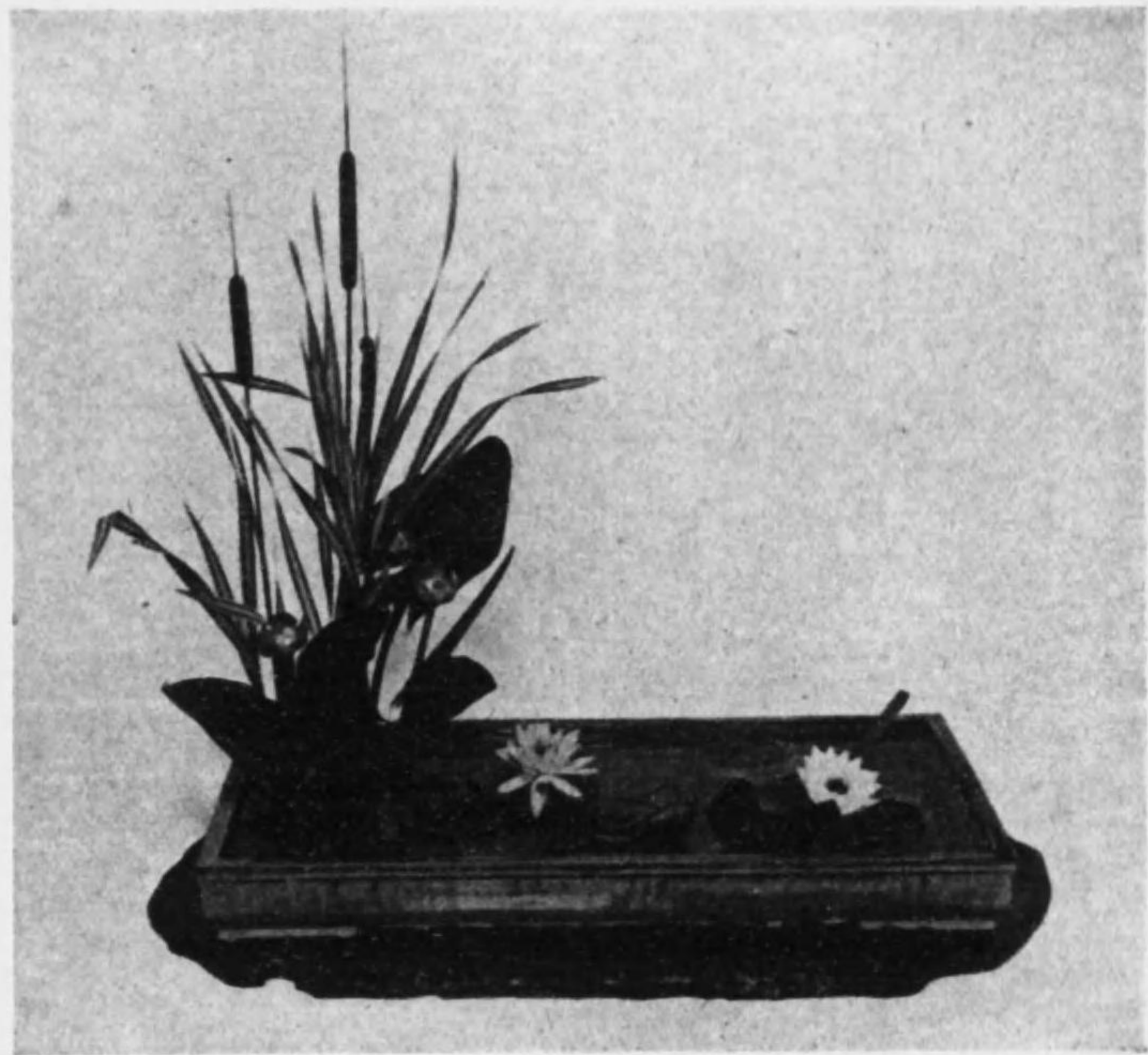
圖の成完種五蓮睡に盤水型判小磁白



瀬戸船型の水盤に薄黄の菊二種の彩色本位に挿す小間花の完成の圖



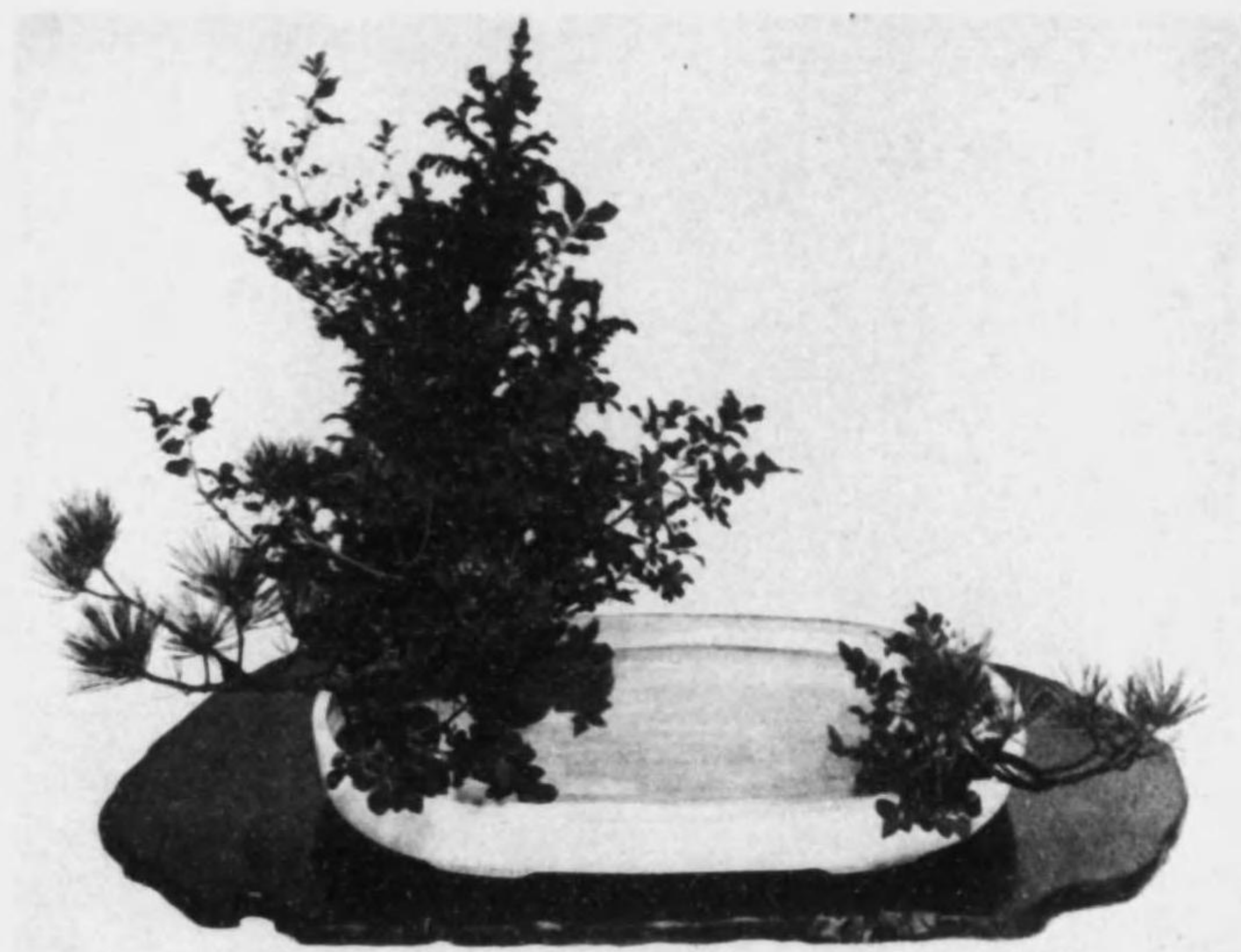
圖の成完合百朝爲、萱刈、梗桔に盆面鼠海



均薫水の盤に蒲河骨睡蓮完成の圖



圖の成完け活大の蓮白に盤水大の趾突白



圖の成完らつかのけか日、合百姫、ぜは夏、松小、杉吉萬に盤水磁白型判小

序

曩に出版した「四季の盛花挿し方」春の部は既に幾版も重ねるといふ素晴らしい高評裡に歓迎を受けて居りますので引續き夏の部を出版する事と致しました。本書に収録したものは十五種の代表的盛花でこれに選ばれた材料は二十七種程あります。挿し方としては自然から見たもの、色彩から見たもの、二部類でこの十五種の挿し方を充分に御會得になれば大抵のものは自由にお挿しになる事が能きやうと思ひます。

こゝに一言を記して本書の序に代へておきます。

昭和四年初夏

編者識

四季の盛花挿し方 目次

夏の部

- 一 夏の盛花挿し方注意……………一
- 一 杉を主體にした涼味あふるゝ挿し方……………五
- 一 海芋と睡蓮とで涼趣のある花……………五
- 一 睡蓮だけで挿す水物盛花……………二
- 一 三種の睡蓮挿し方……………二
- 一 五種の睡蓮挿し方……………七
- 一 紫陽花を主に外二種色彩本位の挿し方……………四
- 一 色彩から見た小間の花……………四
- 一 唐糸草夏はぜ桔梗自然の挿し方……………九

一ギボシに薄黄菊ボン／＼ダリヤの挿方……………五七

一白菊の花と刈萱を水盤へ……………六七

一白竹と燕子花とを寧窯の皿へ挿す……………七三

一青楓河原撫子齒朶の三種を……………七九

一桔梗刈萱爲朝百合を海鼠の面盆へ……………八六

一自然本位に白蓮と睡蓮を萬曆赤繪の器へ……………九三

 附蓮の水揚法……………九四

一大水盤に白蓮の大活け……………一〇二

一松河原撫子齒朶を角水盤へ……………一〇九

一蒲河骨睡蓮の三種を大水盤へ……………一一五

 附河骨の水揚法……………一二九

目次 終り

花 目 録

附花器名稱

本書に収めた花の材料につきその名稱を目錄として茲に掲げておきます

- 萬吉杉 (まんきちすぎ)
- 小 松 (こまつ)
- 夏 櫨 (なつはぜ)
- 姫百合 (ひめゆり)
- 日蔭蔓 (ひかげのかつら)
- 海 芋 (ばいも)
- 睡 蓮 (すいれん)
- 紫陽花 (あぢさい)

- 刈 萱 (かるかや)
- 薄黄オーム菊 (うすきオームぎく)
- 雁 皮 (がんび)
- 唐絲草 (からいとさう)
- 桔 梗 (ききやう)
- 齒 朶 (しだ)
- 薄黄菊 (うすきぎく)
- 擬寶珠 (ぎぼし)

白 菊 (しらぎく)

白 竹 (しらたけ)

燕子花 (かきつばた)

青 楓 (あをかえで)

河原撫子 (かはらなでしこ)

爲朝百合 (ためともゆり)

白 蓮 (びやくれん)

松 (まつ)

蒲 (がば)

河 骨 (かうほね)

デジーイ

ボン／＼ダリヤ

花 器

小判型白磁水盤 (こばんがたはくじ) すゐばん

白磁丸水盤 (はくじまるすゐばん)

出雲袖師焼丸水盤 (いづもそでしやき) まるすゐばん

瀬戸船型 (せとふながた)

京焼吹墨小判型水盤 (きやうやきふきずみ) こばんがたすゐばん

均窯丸水盤 (きんようまるすゐばん)

寧窯模様入皿 (ねんようもやういりさら)

白交趾長角大水盤 (しろかうちながかく) おほすゐばん

海鼠面盆 (なまこのめんぼん)

萬曆赤繪鉢 (まんれきあかゑのはち)

白交趾大水盤 (しろかうちおほすゐばん)

均窯大水盤 (きんようおほすゐばん)

四季の盛花挿し方(夏の部)

盛花家元 小 原 光 雲 著

渡 邊 虹 衣 編

夏の盛花挿し方の注意

夏の盛花は春の盛花と違ひ、涼趣に富んだやうに挿さなければなりません。涼趣に富んだやうといふのには、水を多く見せたら夫れでよいといふやうになります。それも大きに必要なものではありません。それだけではいけません。ヤハリ材料のとり合せの上手下手、挿し方の巧拙等いろいろ

必要なものがあります。それに挿したその花を置く場所が、池邊に臨んだ建物の床の間であるとか、或は又青葉若葉の生ひ茂つた涼味満々たる庭園を花の置いてある床から縁續きに直ぐ見られるやうな場所とか、又大阪あたりのやうに庭といつても一坪か二坪の暑つくるし相な處しがなく、又その庭を見るべく縁先へ出て建て詰まつた家々の塀や土塀や煉瓦石造等の建物の一面を見なければならぬといふやうに全く涼趣といふものから呪はれたやうな場所に飾られるものによつて、自づから其材料の選擇方にも、また挿し方にも異つた工風を用ゐなければなりません。斯うした點に頭腦を使ふと使はぬとは延いて自分の挿した花の死活難かしくいへば自分の創作した插花藝術の價値の有無といふ事にも關係を及ぼして來るので、少なくとも先づ最初にその飾るべき場所の廣狹若くはその花を置く場所を中心としての周圍の關係などを考へてから、花の取り合せや花器の選擇、挿し方等に及ばねば眞に看る人をして「あゝ奇麗だ」「あゝ涼しさうだ」

といふ風に自分の挿した花の美に人々を浸らせる事は能きないのであります。これは單に夏の盛花を挿す時だけの問題であるばかりではなく、春夏秋冬いづれの場合にも忘れてはならない重要なものゝ一つなのであります。併し春秋と違ひ夏は屋内で看るもの總てが暑いのでありますからそれを自分の挿す花で打ち消してやるといふだけの覺悟を以つて挿すやうにされたらキツト立派な花が挿せ、それを看る人々に「あゝ涼しさうだ」と萬斛の涼味を呼ばせる事が能きるのであります。

今假りに一二の例を擧げて申しますと、池邊に臨んだやうな處では餘り水を見せない色彩本位といつたものでも面白く、またその挿し方によつて相當の涼味をそゝる事は能きますので、ナルだけ池やその周圍に無關係の材料を選んで見られるのも面白い結果を見せます。又それとは反對に椽先に蓮でも咲いた池があつたら、それと連絡をとつて清水満々たる大水盤に睡蓮などを挿し、池の一部が床の間にまで及んで來て居るやうに考慮し

て挿すのも一つの方法です、併し斯うした場合にはその挿す人の技術の上
に餘程の老熟が要ります。

大阪のやうな建て詰められた暑苦るしい場所では、何といつても此睡蓮
や蓮を挿して、池の傍でもしのぶやうな水澤山のものが一番よいと思ひま
す、材料としては芦であるとか、或は蒲であるとか、水邊に縁のあるものを選
んで挿します、而して挿す場合には曾て自分の記憶にある涼しい場所の傍
を寫すといふやうにやられるのも一つの方法として面白からうと思ひま
す。兎に角夏の盛花は涼趣に富ますといふ事を忘れてはなりません。

夏の部講義

杉を主體にした涼味溢るゝ挿し方

花止の置き方

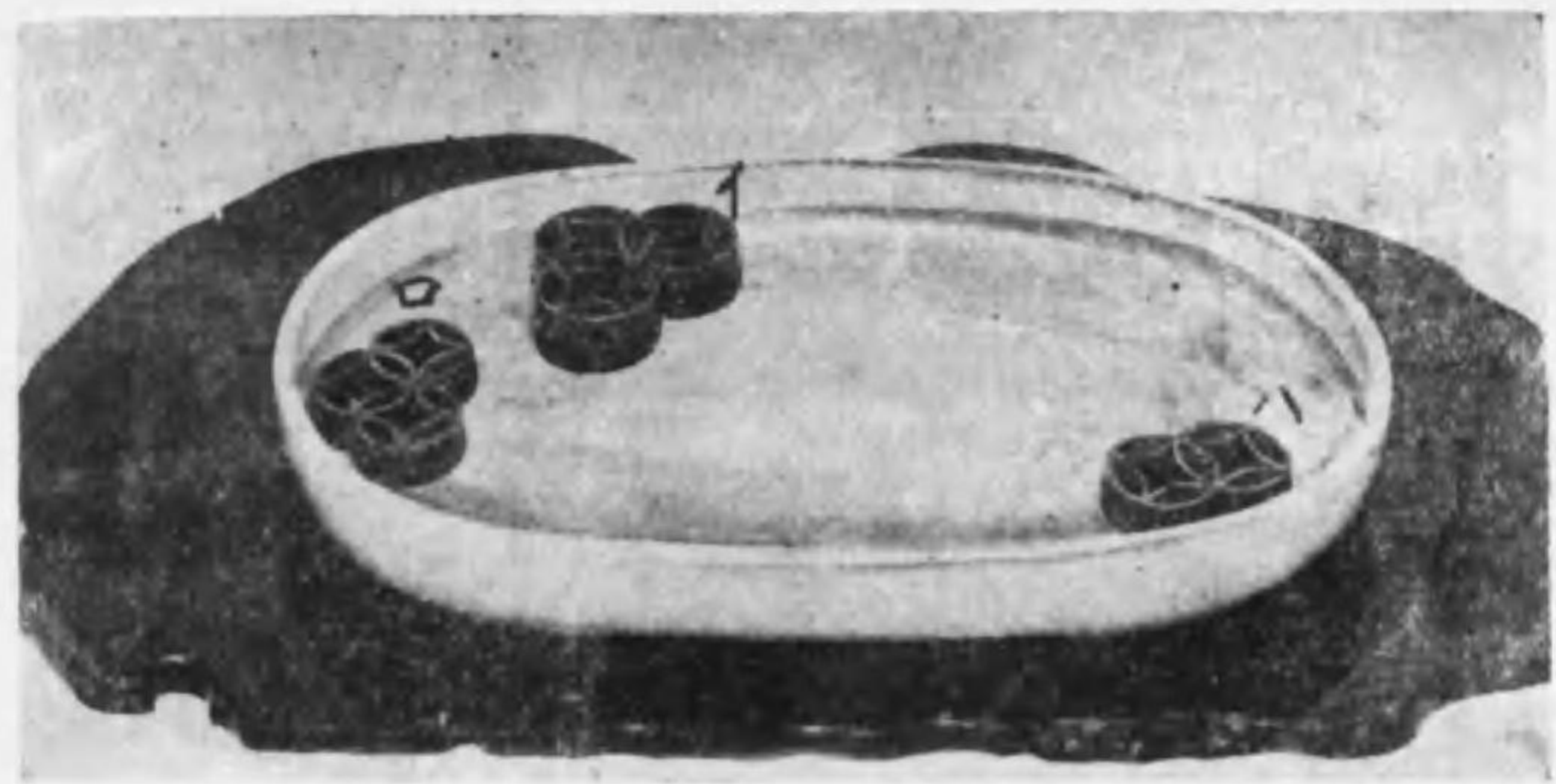
花器材料

小判型白磁水盤
萬吉杉、小松、夏はぜ、姫百合、日かげのかつら

花止は毎々説明をしてをりますから簡単に説明をいたします、今回は花止を三個用ゐます、即ち三つ付七寶二個、二つ付七寶一つの都合三個であります。

置き方は寫真面にある通り水盤に向つて後の方に圖の如く置く。

次に三つ付七寶を圖の如く向つて左の前隅の方に置く、二つ付七寶は右前隅に圖の如く、この花止の置方は中央に水を見せる活け方になつて居ります。



第一圖

言ひ換れば一つの盛花の中央に谿流を現はした活け方をするのでありますから出来得る限り花止めは不等遍三角形に置いて頂きたいと思ひます、その方がいよゝゝ花を挿し上げてから見ます場合に挿し上げた花に變化が生じ又中間を流れる谿流の趣の上にもより多くの美觀を添へるからであります。

主中間の挿方

この杉は萬吉杉といつて一本の小さい木で幾百年を経た老杉の姿をしてゐるものです。初めは二本以上三本位が使ひよいのですが、段々に技術が進むで行くに從つて、五本以上七本

もお使ひになれば坐ながらにして深山の氣分を現はす事が出来ます。

例へば高野山の様な深い山を聯想する事も出来ます、この杉を三本を以て主中間として行くのです普通の自然色彩の盛花の主の寸法よりか少し寸法を長い目に使つてゆきます、若しこれを短くすると垣根に植られた杉の小さい苗の様に見られますから、勉めて長く活けてゆくのです。

最初の一本は三本の中でなるべく幹の寸の高い力の強さうなのを選び一尺七寸位に切つてイの花止の向つ



第二圖



第 三 圖

八
て左後隅の縦の穴に挿す。若し倒れる場合には前後に栓をして直立體に挿してゆくのです。次の一本を口の花止の左前隅の大きな穴に直立體に挿します。

寸法は一尺三寸五分位に切つて挿すのであります。次の一本は一尺一寸位に切つてイの花止の向つて中央の前の縦の穴に挿してゆきます、但し直立體です、これで杉三本の挿方、即ち主中間は終わりました。

副客位の挿方

小松は、一本は少し力強いもの一本は小枝でも結構です、何れも前隅の方に少し傾斜した様に挿してゆくのです。これを挿す穴は口の花止の向つて右前隅の大きな穴に、向つて左前隅の方に傾斜體に挿します。この寸法は一尺三寸です。

いま一本は口の花止の右前隅の二ツ付の花止の左寄りの大きな穴に、右前隅に傾斜體に挿します、寸法は葉先から根元まで一尺、これで副客位は挿せたのであります。

中間夏はぜの挿方

この夏はぜは、附近の山にゆけば澤山にあるものです、自然は餘りに延びてはゐないものです。斯うした自然から見た盛花に、夏はぜを利用した時には、夏はぜと見ないで雑木の芽出しと見做すのです。この一例は、汽車や電車で郊外に行かれた際、こんもりと繁つた鎮守の杜を御覽なさい。

老杉の前後左右に名の知れない大木が延びくと生えてある有様を見る事が出来ます。その有様を小さな水盤に縮寫をしてこの夏はぜを用ゐるのです。夏はぜは葉の小さい枝のしまつた物を選んでお使ひになる方が一層雜木の氣分を現はします。夏はぜは中間として杉の前後左右に使つてありますから、指定した穴に、直立體に、傾斜體に、或ひは高く、或ひは低く用ゐてゆくのです。

では寸法と挿す穴とを申します。イの花止の主の杉を挿した前の穴に一尺七寸位に切つて直立體に又七寸位に切つた一本を少し前の方に傾斜體に都合二本を挿します。枝振りには寫眞面にある様な枝を用ゐて下さい。今一本は一尺五寸位に切つて、いま二本の夏はぜを挿された前の横穴に、右前隅の方に挿してゆきます、この三本はイの花止です。

次はロの花止。ロの花止の杉を直立體にした大きな穴の杉の左横に挿して下さい。同じ穴です、寸法は一尺一寸位、次は小松を挿した穴の左前隅の斜の小さい穴に、八寸五分位に切つて、先が少し右の方へ寄つた様に挿します。之れでロの花止には夏はぜが二本挿してあります。

次はハの花止、小松を挿した同じ穴に七寸位の夏はぜ一本、五寸位の小枝一本の二本を挿すのです挿す方法は小松は右前隅の方に出てをります。即ち客位です、其右側の方に二本、同じ穴に挿します。

寫眞面に、同じ様に見えてゐるのは二本を用ゐてあるのです。これで中間の夏はぜは全部挿せたのです。こ



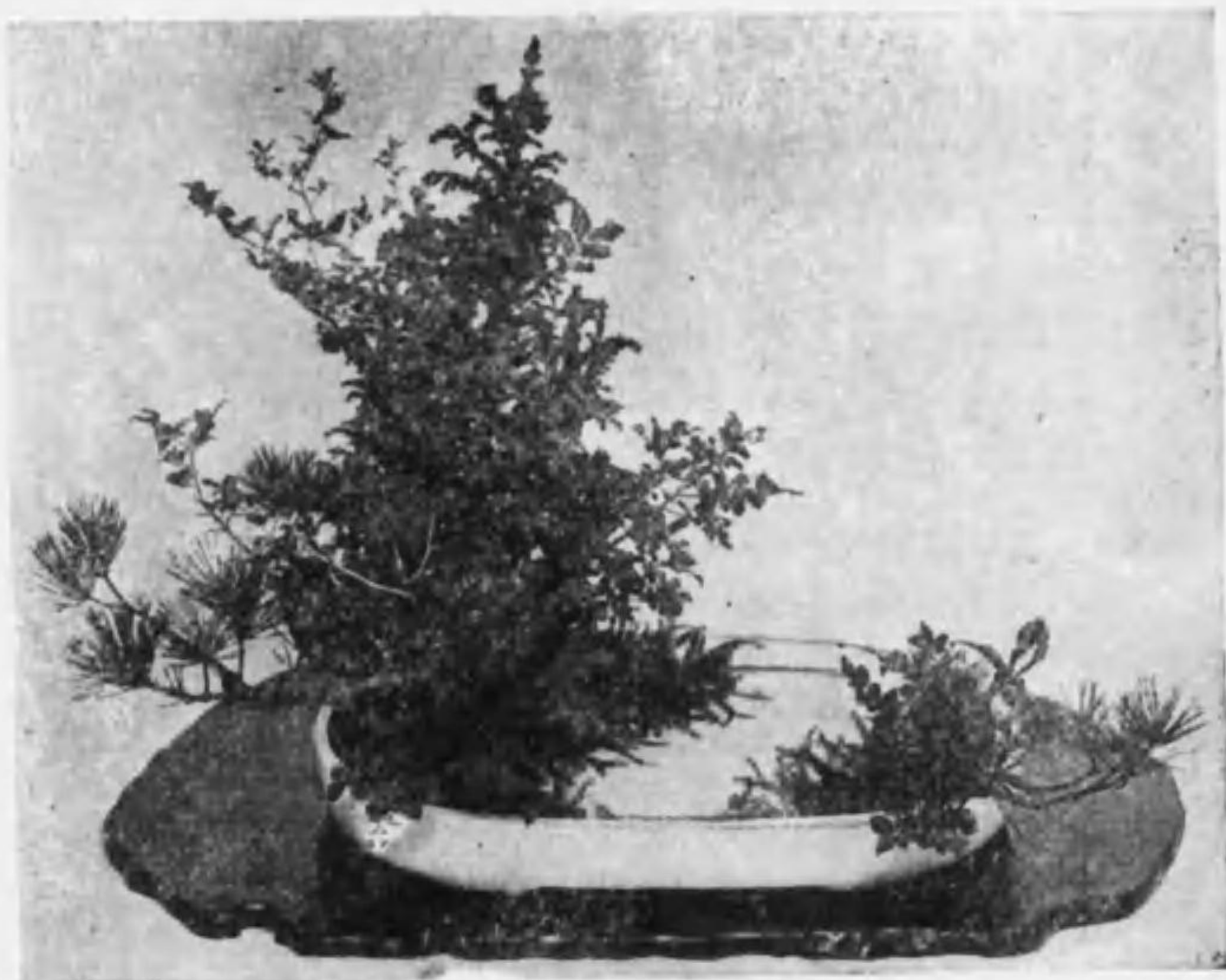
第四圖

の夏はぜは、杉松の連絡を取つて、こんもりとした杜の様な氣分に挿して下さい。

姫百合、日蔭蔓挿方

姫百合、日蔭は名稱からいへば中間といつても宜しいのですが、日蔭は度々説明をしてをりますから、寫眞面にある通り主、中間副の根元、花止が見えない様に少少たつぷりと使つて下さい。客位の根元も同じく寫眞面にあら位の程度で使つて下さい。

申添へて置きますが日蔭を、しまつしてお使ひになりますと花止はもとより挿した主、副の木の根元が見えて随分と見苦しいから、三重位にお使ひになる方が宜しい。姫百合の寸法は出來得るだけ低くお用ゐになる方が宜しい。美麗だからといつて本數を澤山に用ゐてはいけません。この盛花に都合三本用ゐてあります。



第五圖

一本は花の先から軸まで三寸位に切つて、イの花止の向つて右端の縦の穴に直立體に挿して下さい、あとの一本は口の花止の小松を挿した大きな穴、ちようど小松の後の方に挿して下さい。寸法は四寸五分、あと一本は口の花止の右隅の一番前の横穴に小松の方に少少傾斜させて挿します。寸法は四寸位に切つて挿すのです。これで全部が出來あがつたのです。

中間の水は讀者の適宜に、即ち廣く水を見せやうとする時は日蔭をなるべく主の根元、または客位の根元に寄

せませす。また狭く水を見せる時は客位と根元に日蔭を少したつぷりと使つてゆきます。そうすると自由になります。次は、海芋睡蓮の盛花を講習いたします。

夏にふさはしい花器

白磁物や染付物などは陶器の花生としては寔に夏向きのもので見るからに清々しい感じを與へます殊にいづれも花うつりの可いものであります、青磁物も申分はありません、ナマコ釉のかゝつたものも繩すだれなどになれば結構です

海芋と睡蓮とで涼趣のある花の挿し方

花止の置き方

花器材料

白磁丸水盤
海芋 睡蓮

この花止は三つ付七寶一個、二つ付七寶二個の都合三個です。置き方は寫真面にある様に置いて下さい。斯うした丸水盤には花止をなるべく數少く用ゐる方が宜しい。

主中間海芋の挿方

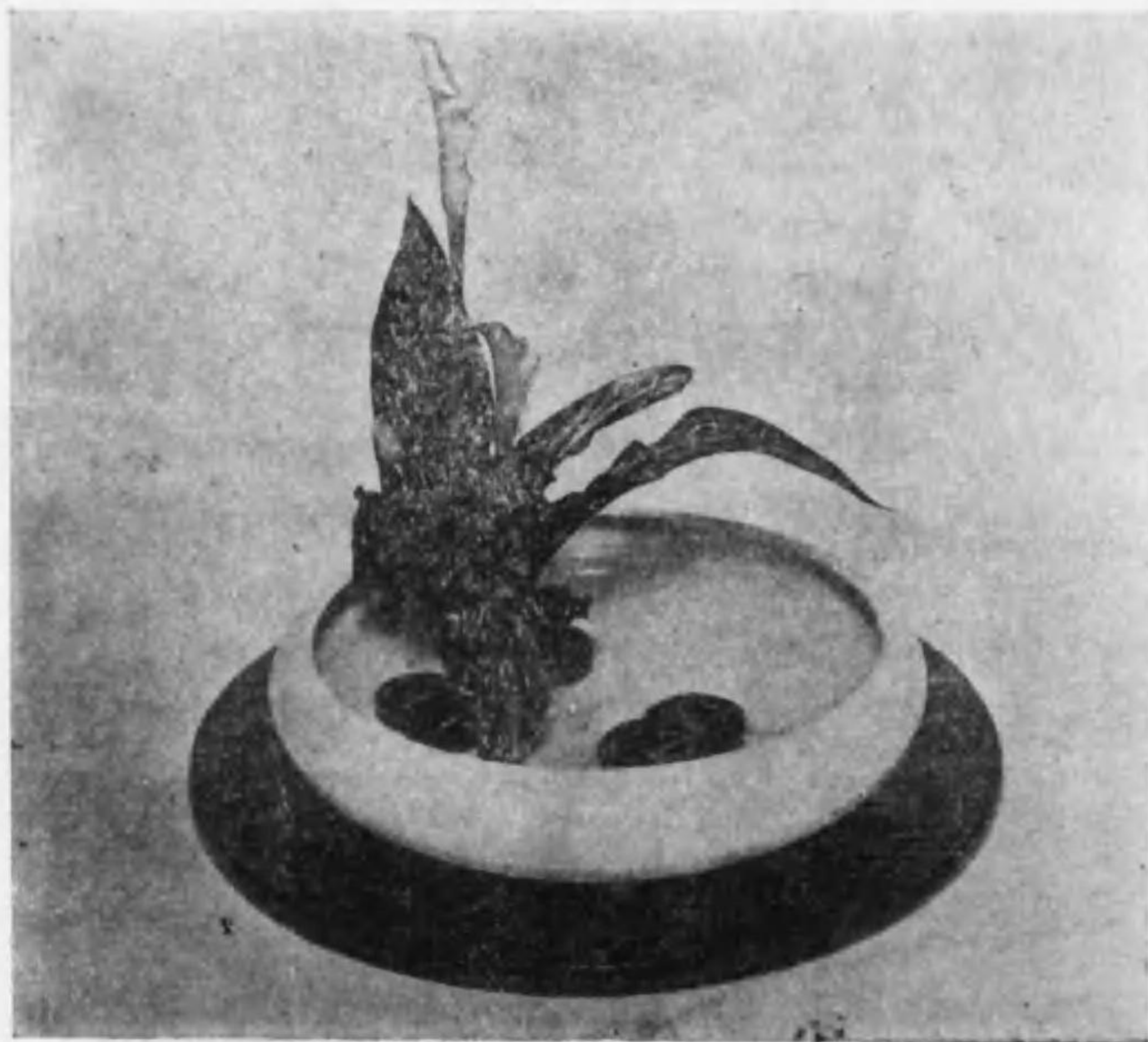
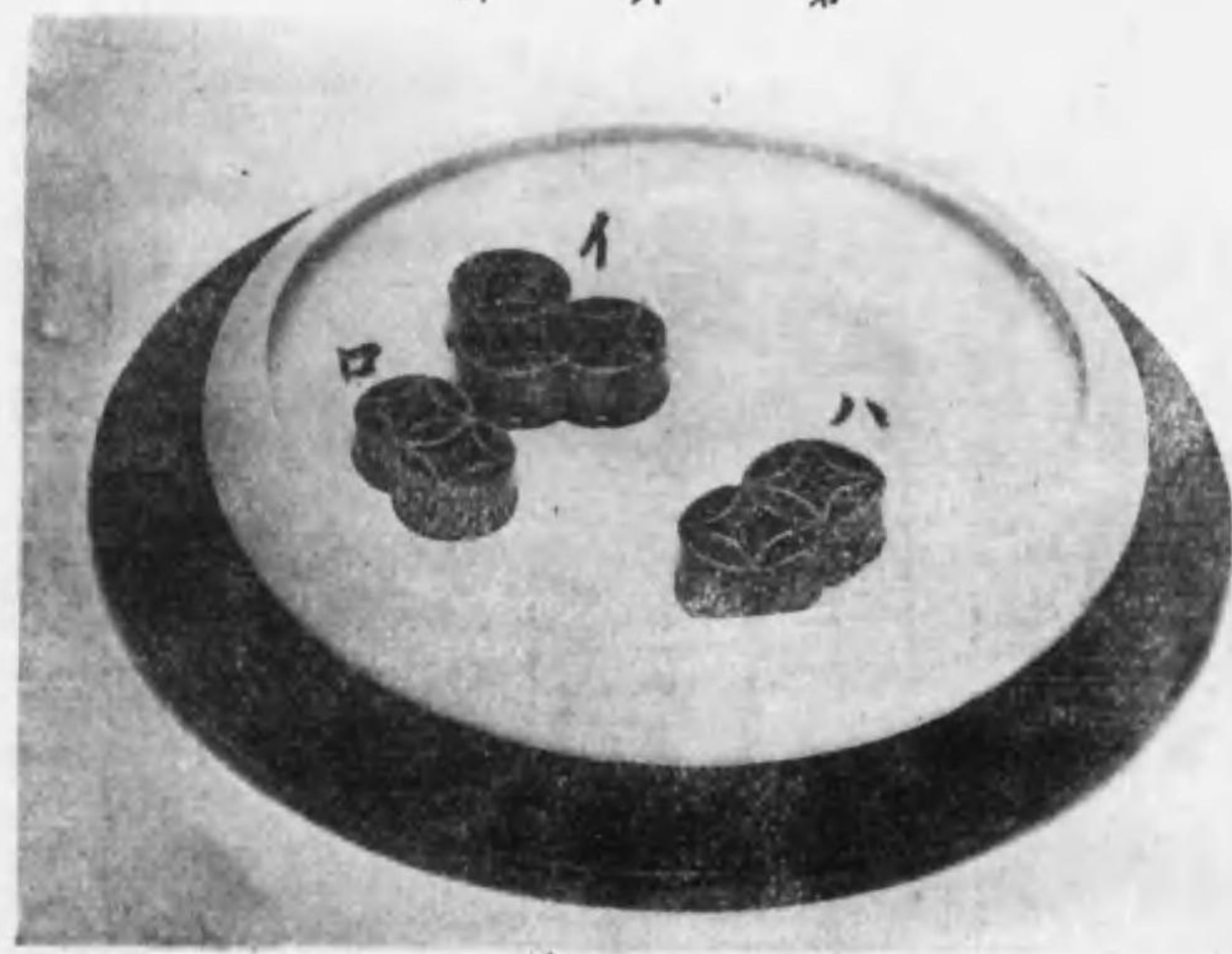
この海芋は種類が三種くらゐあります。一は花の大きい葉も大きいもの、二は黄色の海芋三は此講習に用ゐてある葉は白く(ふ入り)のものとの三

種です。水盤が大きくなれば一の葉の大きい花も大きい海芋を用ゐます。蕭洒に挿す時は黄若くば寫眞面にあるもので適當でせう。

これは花屋の方ではラツバ草と稱へてをります。原名は「カーラ」是れが原名です、そして當時は海芋と申してをります。挿方を記しますと、花首から根元まで九寸位、葉は前が一尺一寸五分、後が九寸四分位、花を中央に、前後に葉三つ、いつしよにして、イの花止の向つて左の後隅の縦の穴に直立體に挿します。

葉は七寸二分位に切つて今挿した右側

第六圖



第七圖

の方に挿します。次は花を花首から五寸位に切つて葉は八寸葉と花と同時に主を挿した前の縦穴に挿して花は右寄の方に出示します。

次は葉は一尺、葉七寸五分位のもの、と二枚をいま挿した花止の大きな穴を飛ばした右の穴に挿して下さい。これで主と中間が挿せたのです。なるべく葉は同じ方向に出さない様に注意して少しづつ、葉先が左右に向いた様にする事。

副の挿方

葉を八寸八分位に切つたもの一枚と八寸に切つたもの一枚との都合二枚を用ゐます。花は首から七寸位に切つて口の花止めの後の大きな穴にさします。葉は左前隅の方に傾斜體に挿し、花は直立體にさします。事前の通りです。中央に花前後に葉、長い葉が向つて左前隅に傾斜してゆくのです。次は葉を九寸位に切つて口



圖 八 第

の花止の前の大きな穴に挿します。これは皆さんの前に丁度葉先が下つて来た様に挿します。以上の葉でなるべく花止が隠れる様に挿すのです。これで副が挿せ終つたのであります。

客位睡蓮の挿方

睡蓮にも種類は澤山ありますがこゝに用ゐるのは白の花です。葉は三枚、花は一本、葉は軸を二寸五分位つけて、ハの花止



圖 九 第

の右後の横穴に一枚、同じ寸法で口の花止の右前隅の横穴に一枚、口の花止の左の端の縦の穴に一枚、都合三枚で花止を隠す様にして用ゐるのです。葉は何れも同じ寸法で結構です。花は二寸五分位に切つて、ハの花止の真中の縦の穴に右前隅の方に傾斜させて挿すのです。これで海芋と睡蓮の盛花は出来上つたのです。次は睡蓮三輪の盛花を講習いたします。

水墨で山水でも描いた細い掛物の前へ此盛花を置けば寔によく軸と花との調和が保たれ見るからに一層の涼味ある感じを與へます

睡蓮だけで挿す涼風湧き起る水物盛花

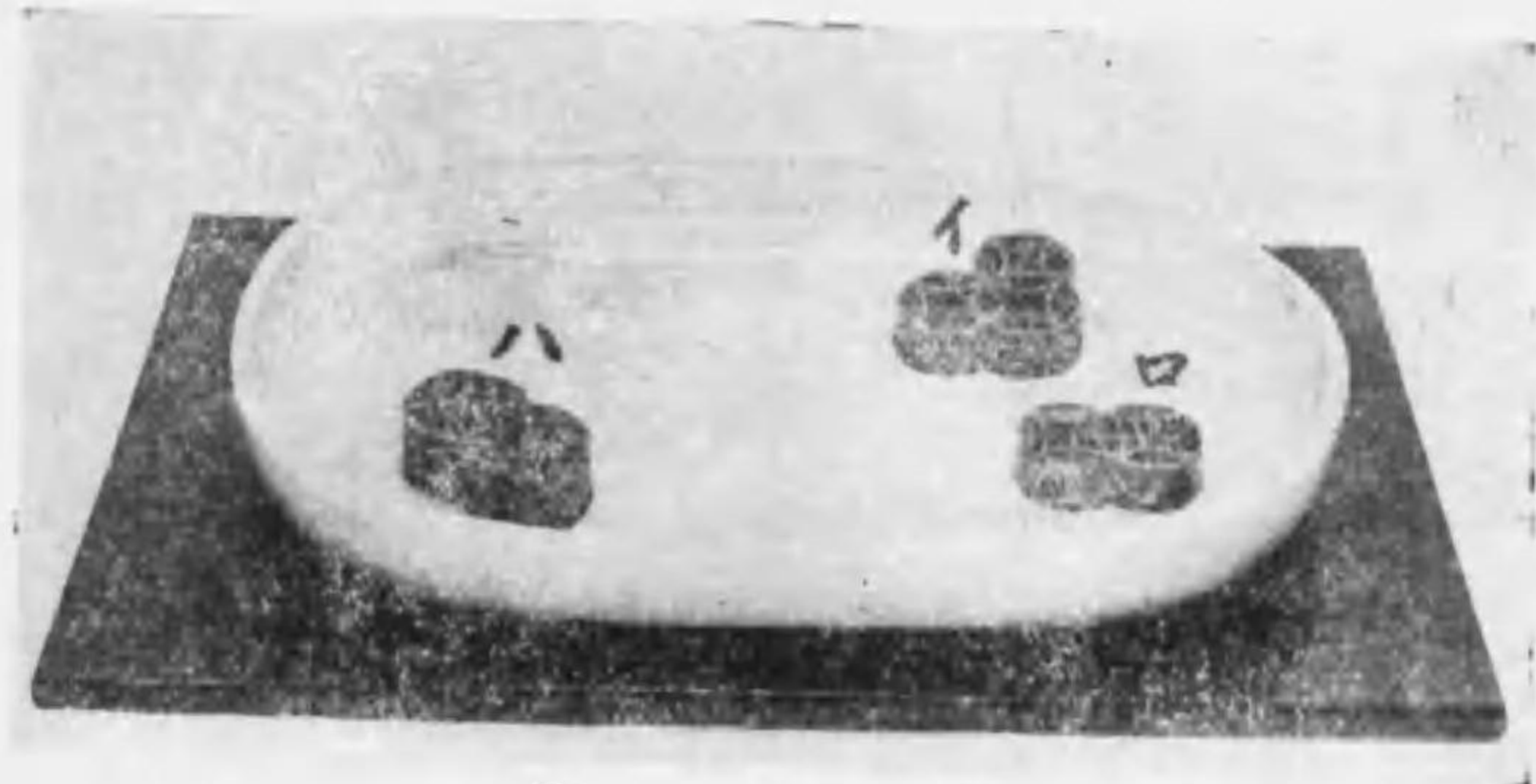
睡蓮三種挿方

花止めの置方

花器材料

小判型白磁の水盤
睡蓮三輪

今回は睡蓮一式の盛花を講習致します。この頃からの盛花は色彩物ですが、くしく美しいのもよろしいですが、それよりもヤハリ水物といつて水を十分に見せました盛花の方が見るからに涼味が満々として居て、夏のお座敷には一番よろしからうと思ひます。それで今回は此水物盛花としまして夢のやうに可憐な花を開く睡蓮を材料と致し氣も心も一見すがくしくなる様な花の挿し方を申し上げます。



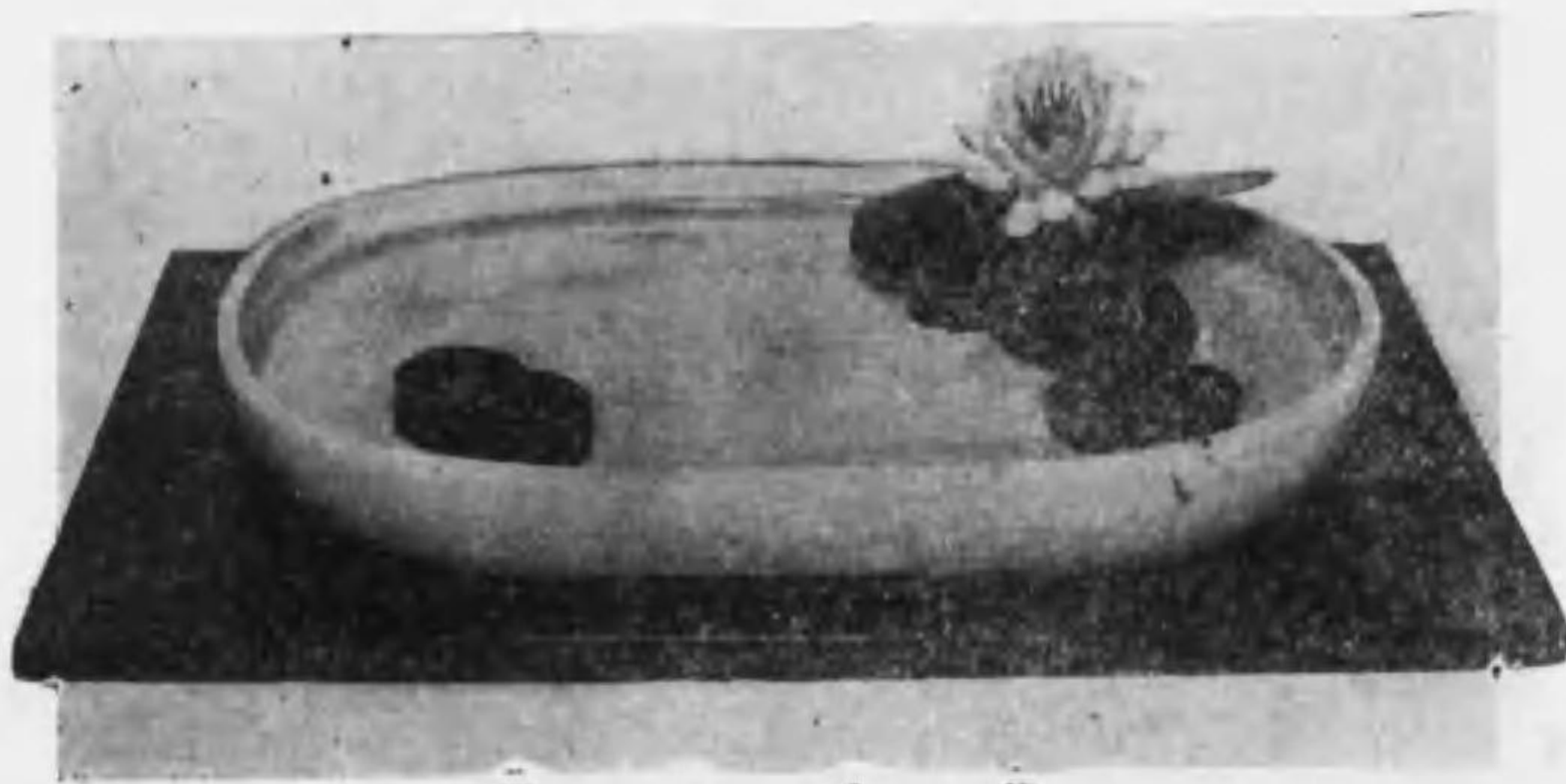
第十圖

花止めは三つ付七寶一個、二つ付七寶二個、都合三個を用ゐます。此盛花は完成の後には池の汀の氣分を看せるものでありますから、最初からそのお考へを以て、此盛花の礎ともいふべき花止めも寫眞の如く距離をあけて置いて頂きたいと思ひます。此花止めの置き方奈何は完成後の花に大きな關係を有つものでありますから、此講習を離れて皆様が假りに今後何か自分で勝手なものをおやりになる様な場合には、豫め斯うした池畔の風物とか、斯ういふ所の湖の一部をとかと、御希望のまに／＼プランをお立てになり、これに準じて花止をよき位置に配されるやうお心掛けが肝腎であります。

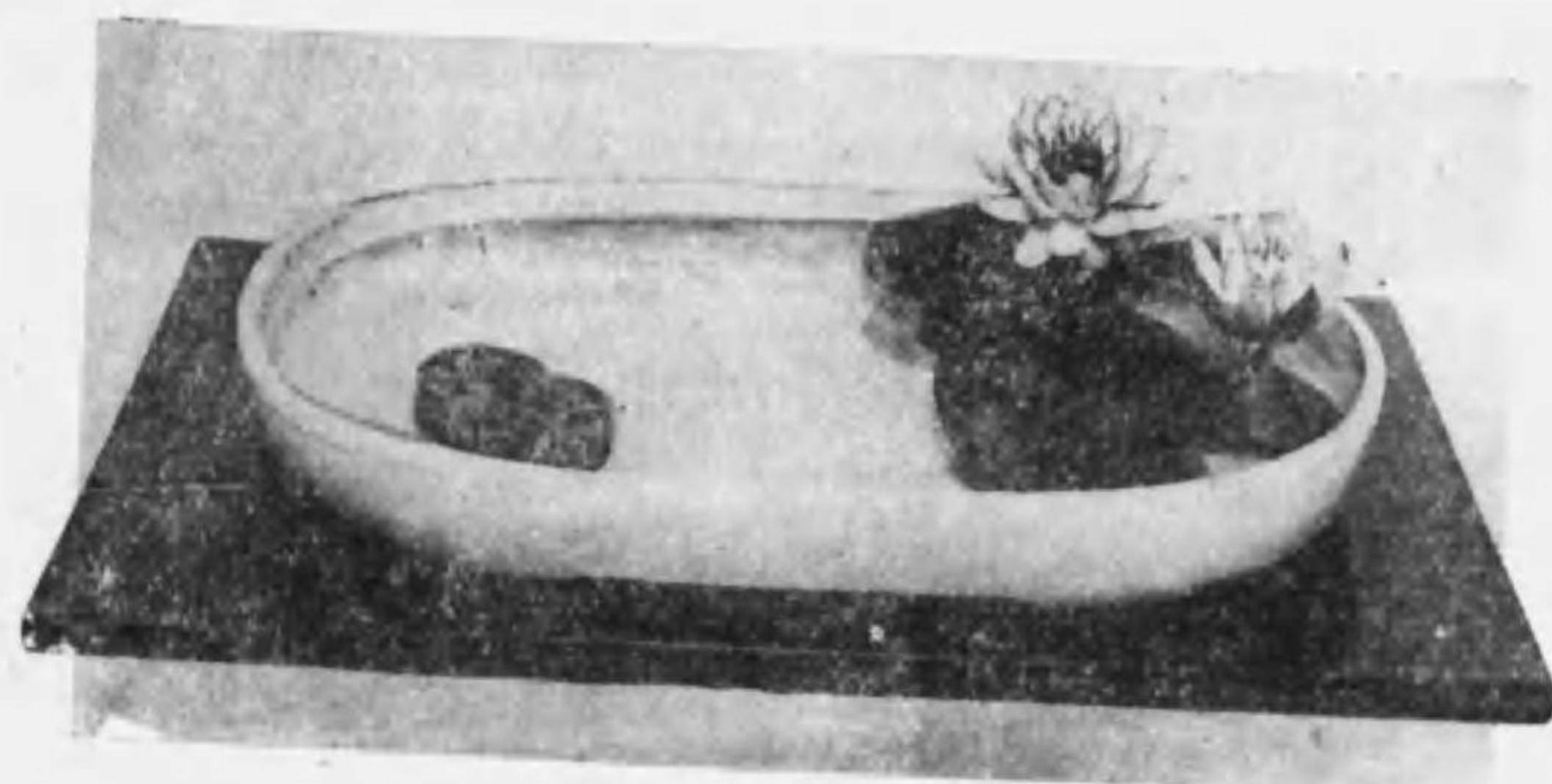
主の挿方

睡蓮は讀者も御承知でせうが、種類が種々あります。日本の睡蓮は花が小さく葉も小さい、野生の睡蓮といつて池に小さく咲いてゐる花があります。盛花に用ゐる事もありますが、葉花が小さい爲に用ひるのが困難であります。

此講習には外國種の睡蓮を用ゐる事にしたのです、只今は各方面にこの睡蓮が澤山に繁殖してをります、種類は白、桃色、赤、黄、紫、夜間咲き、これ位の種類があります。この夜間咲きは花も葉も大きい爲に小さな水盤に用ゐる事は困難です、一般に用ゐられるのは白、桃色、赤、黄、これ位の種類でせう。



第十一圖



第二十圖

紫はごく少い爲に。一般には用ゐられてをりませ
ん。

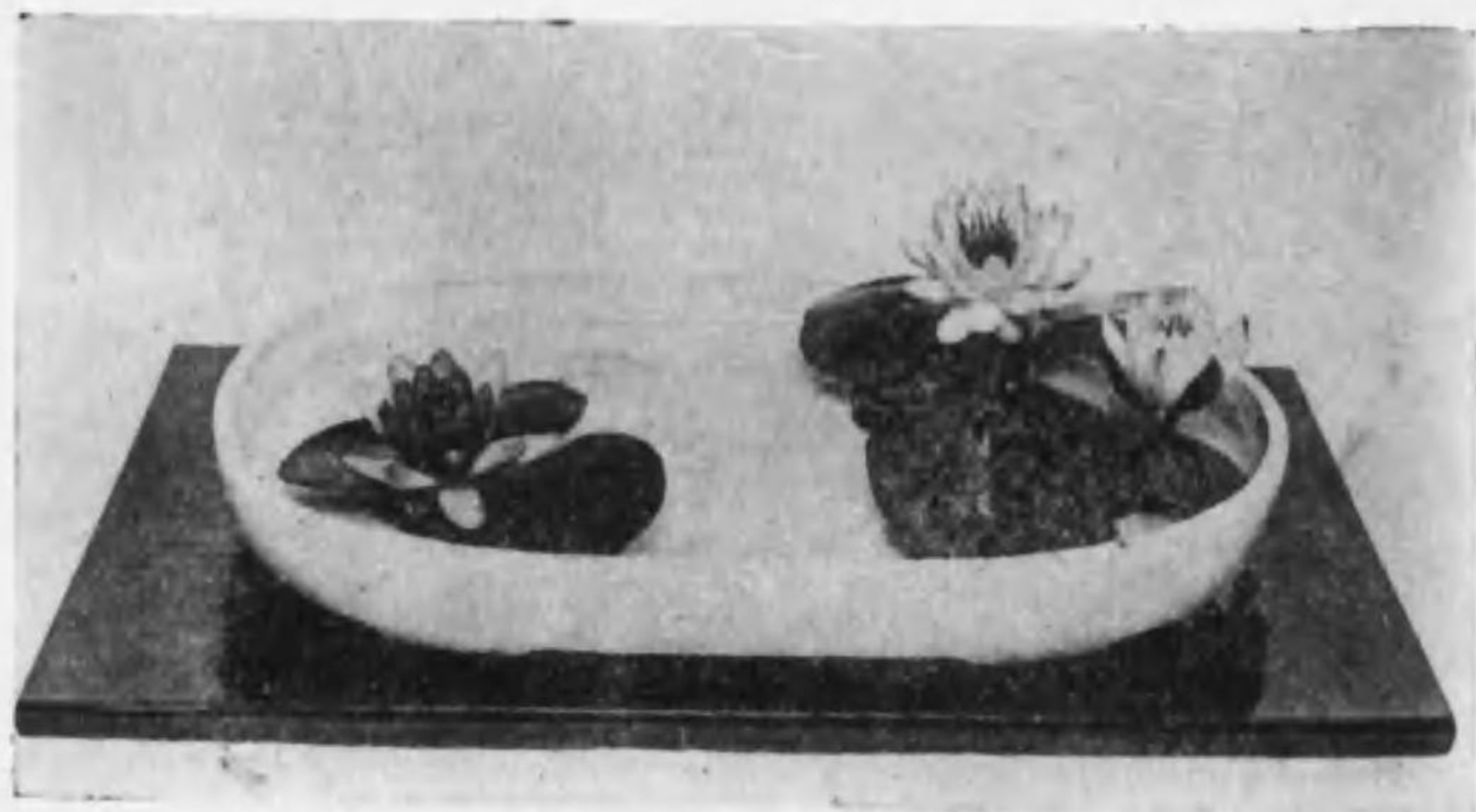
二四

睡蓮も根が土深くあるものは、軸が長い花は
僅かに水面に浮いて咲いてをります、また池の淺
い所のものは水面よりも花が高く延びてをりま
す。これは私の説明迄もなく一般に御承知の事
と思ひます、以上の様な自然に育つてゐる葉は直
徑が三寸五分の大きさの物に軸は二寸位をつけ
て一本挿します。次は直徑四寸位の大きさの葉
に、軸二寸五分位をつけてイの花止の右前隅の縦
の穴に挿します、三寸三分位な葉に、軸二寸位をつ
けて今挿した花止の左隣の縦の穴に挿します。

副の挿し方

副の花の挿方、葉は三寸位の大きさの物に軸
二寸位をつけて、口の花止の向つて右隅の縦の
穴に挿します、次は三寸七分位の葉に軸二寸五
分位をつけて口の花止の左横隅の縦の穴に挿
します。

花は軸二寸五分位をつけて、口の花止の右の
方の大きな穴に挿します、此場合花は右前隅の
方に出てまゐります様に工風して挿して頂き
たい、これで副の挿方は終りました、次は客位の
挿方です。



第三十圖

客位の挿方

客位はハの花止に挿してゆきます。葉は三寸一分位に軸を二寸位をつけて、ハの花止の右前隅の斜の小さい穴に挿して下さい。次は二寸二分位の葉に軸は二寸五分位をつけて、ハの花止の左後の横穴に挿して下さい。

次は二寸七分位の葉の大きさの物へ軸を二寸位つけて、ハの花止の左前隅の斜の小さい穴に挿すのです。花は軸一寸五分位をつけて、ハの花止の真中の小さい斜の穴に挿して花は左前隅の方に傾斜させて挿すのです。花の色は赤です。

丁度三輪の中で黒く寫つてゐるのが赤です。これで全部挿し終つたのです。葉の使い方を注意して出来るだけ花止を隠す様にして下さい。次は睡蓮五輪の挿方です。

睡蓮五種挿方

花止の置方

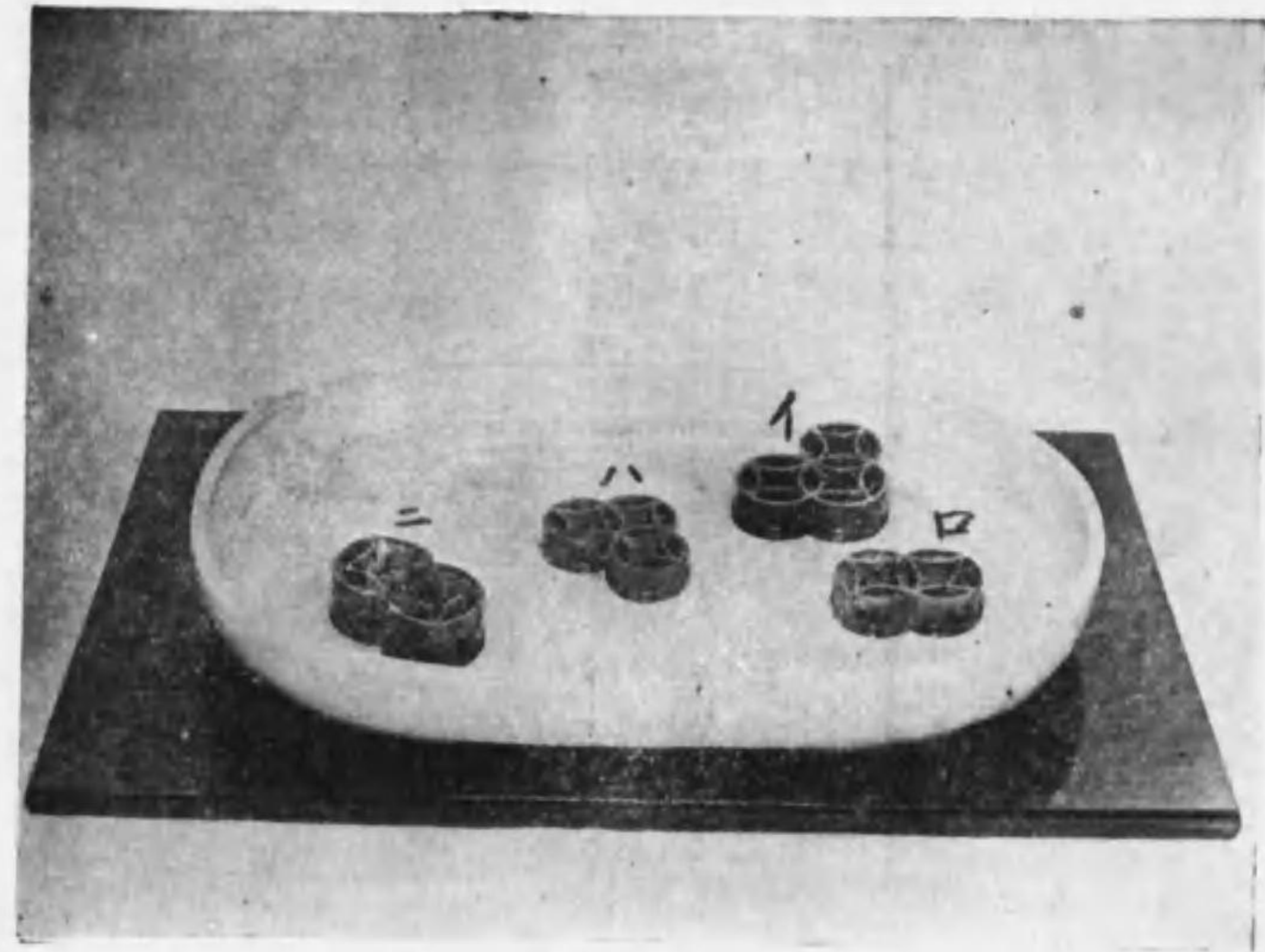
花器材料

白磁小判形水盤
睡蓮五輪

花止は四個用ゐます、三つ付七寶二個、二つ付七寶二個、都合四個である。

花止は圖の如く置いて下さい、花は増すにつれて花止も多少ふやしてゆきます。この度の盛花は白四輪と赤一輪になつてをりますが、もう少し先になりますと、各色を變へてみるのも美麗ですから、試みに變更してみして下さい。

白を主に副に黄、中間に桃色、中間に赤、客位に白、斯うした組合せでお使ひになるのも結構で御座います。次は主副の挿方



第四十圖

主副の挿方

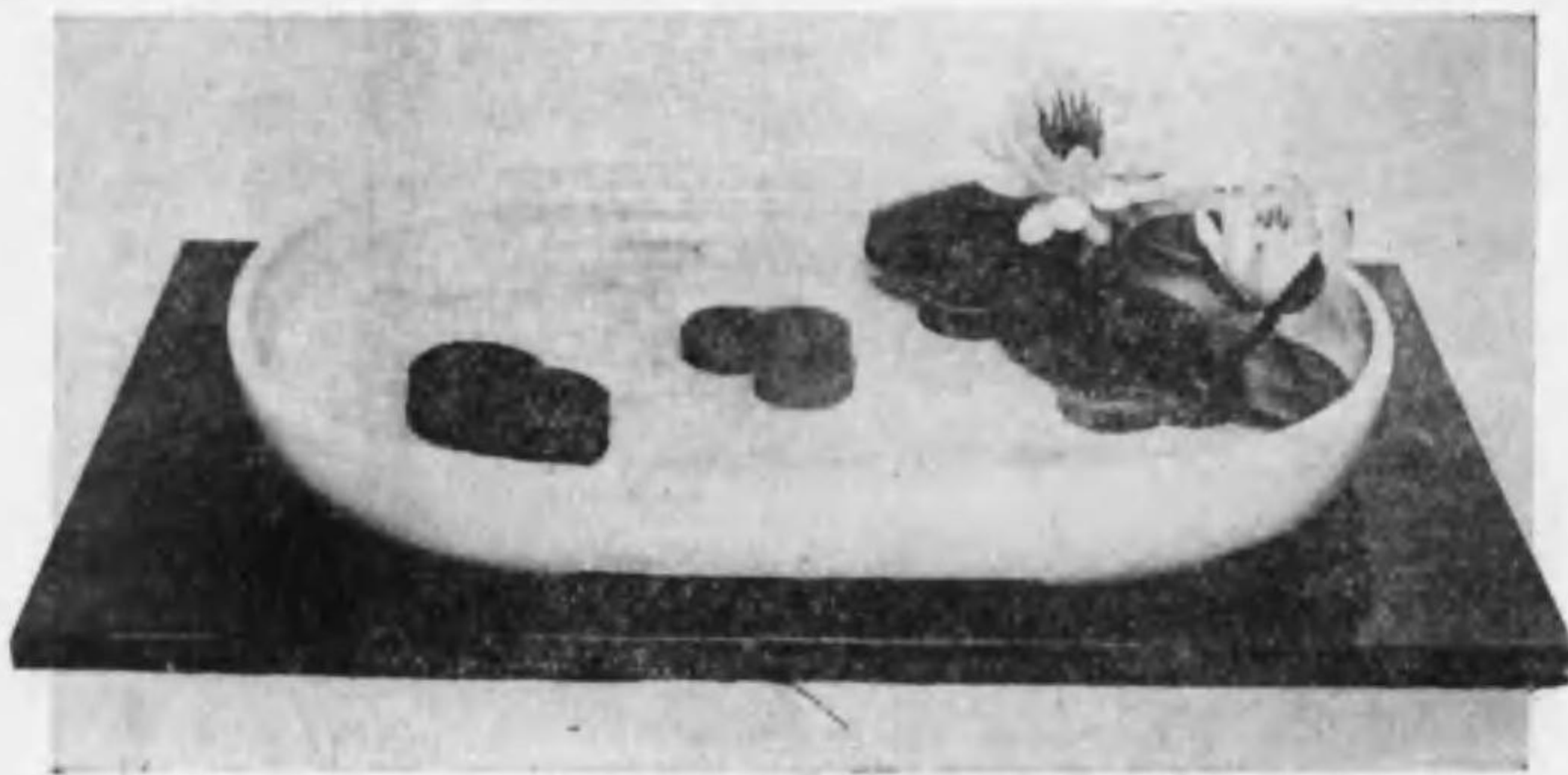
葉は直径三寸三分位のものへ軸を二寸五分位つけて一枚、イの花止の向つて左の後隅の縦穴に挿し三寸三分位の直径のあるものと二寸位な物とを一つの葉を挿した左隣の縦の穴に挿します。三寸二分直径のものに軸二寸五分をつけてイの花止の左前の大きな穴に挿します。花は軸三寸につけて、イの花止の一番後の大きな穴に挿します。花は左の方に傾斜させて頂きたい。

次は副の挿方、葉は三寸位なものをロの花止の右後の横穴に挿します。軸は二寸位、花はロの花止の右の方の大きな穴に、右前隅の方に二寸七分位に切つて、右前隅に花を出して挿します。色は主も副も白です。

中間の挿方

中間の葉は直径三寸七分位に、軸を二寸つけてロの花止の左横の縦の穴に挿します。花に軸三寸二分位つけて同じ穴に挿すのです。この花は寫真面には副と同じ様に見えてをりますが今挿す花の方が少し高く挿して下さい。

次はハの花止に直径二寸三分位の葉を、ハの花



第五十圖



第 十 六 圖

止に後の大きな穴に軸を二寸位つけて挿して下さい。次は二寸二分位な葉を今挿した大きな穴の隣の大きな穴に軸を二寸位つけて挿して下さい。次は二寸六分位な葉に軸を二寸位つけて今挿した大きな穴の左隣の縦の穴に挿して下さい

次は直径二寸八分位な葉に軸を二寸五分程をつけて今挿した前の横穴に挿して下さい。直径三寸一分位な葉に軸を二寸つけて今挿した右前の縦の穴に挿して下さい。

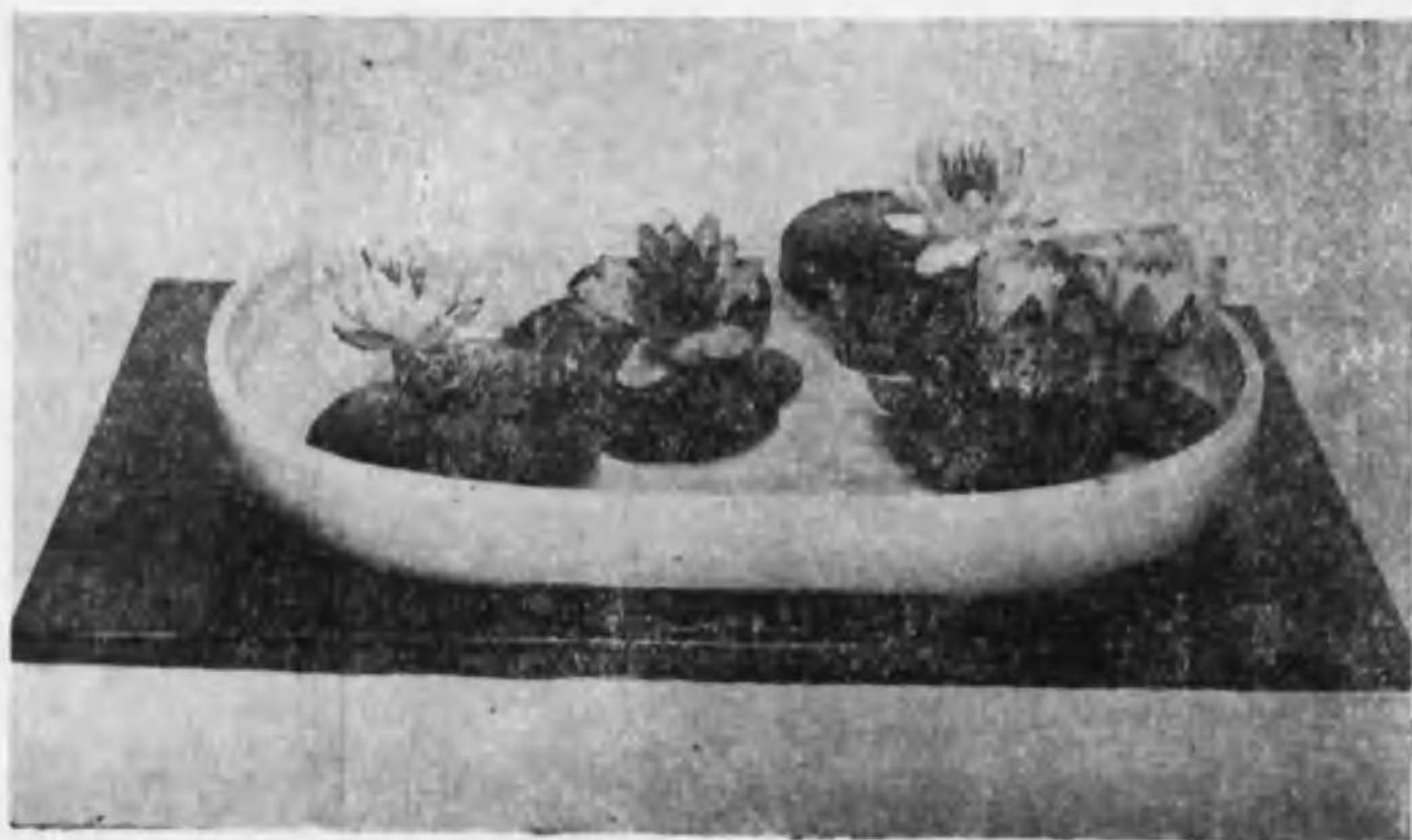
次は花、色は赤、軸は二寸位つけて、ハの花止の小さい縦穴が真中に二つ並んである其後の穴に挿して、花は前の方に少々傾斜させて挿して下

さい。これで中間二本は挿し終ったのです。

客位の挿方

直径二寸四分の葉に軸二寸をつけて、イの花止の右前隅の小さい穴に挿して下さい、直径二寸五分位の葉に軸を二寸つけて、イの花止の左後の大きな穴に挿します。直径三寸の葉に軸二寸つけて今挿した葉の左前の斜の小さな穴に挿します。

花は軸三寸つけて、ニの花止の真中の斜の小さな穴に挿して花は左前隅に向く様に挿します。以上で睡蓮五輪の盛花は挿せたのです、葉は出来得る限り水面にひたつた様に



第 十 七 圖

用ゐて置かぬと葉の先がよく枯れますから、なるべく水に浮いてゐる様に使つて下さい。

もしこの葉を水面よりか高く用ゐる時は、簡単な水揚法をして頂きたいのです。

水揚法に就て

水揚法は石灰水湯呑に一杯に水五杯を加へて、なまぬるにぬくめて水揚ポンプで軸から注入するのです。そうすると葉は五日位は大丈夫保ちます。花は、一對七の割で、薄めて花の軸から注入して置きます。

花には葉と同じ分量にした液體を注入すると、朝咲いて夕方にすぼむ睡蓮が夜になつても咲いてゐるといふ様な事がありますから、以前に申上げた、石灰水一に對して水七乃至十位に薄めた物を注入して下さい、若し石灰水が面倒な場合は、軸を同じ寸法にして紙を巻いて水道の口に當がひ水の漏

れない様にして水道の栓を廻せば葉も花も充分に水が入ります。それでも二日位は完全に保ちます。

これはごく簡単な水揚法です。これから先に讀者のよくお活けになる水物、其他の水揚法をお傳へする様にいたします。

水盤を置いて涼しい部屋になり

虹衣

睡蓮を活けて掛物かへて見る

虹衣

紫陽花を主に外二種の色彩本位の挿し方

三四

花止の置方

取合花器

紫陽花、デジ、イ、刈萱
出雲袖師焼丸水盤

此挿方は花止を四個用ゐます。三ツ付きの七寶を二個、二ツ付七寶二個都合四個であります。三ツ付七寶を、水盤の向へ右の後隅に即ち(イ)の置方二ツ付七寶を右前隅に即ち(ロ)の置方、又二ツ付七寶を中間として(ハ)の置方三ツ付七寶を向ふまん中位に(ニ)の置方。

此花止を部類分けにすると、イの花止は主、中間、ロの花止は副中間、ハの花止は中間、ニの花止は客位、中間に用ゐるので、見出しの三色の組合の内紫陽花、刈萱は其まゝ盛花にすると水が下つてしまふ事があります。

挿す時に規定の寸法に切つて、根元を二分前後左右に割つて、稀鹽酸に五分位漬けて挿すのです。然うするとよく水が上ります。水さへよく上がれば一週間位は持ちます。但し刈萱と紫陽花、デジ、イは其まゝでもよく水は上ります。

紫陽花、主、中間の挿し方

紫陽花のつぼみの様なもの一本、なるべく力の強さうなものを花首から八寸五分位に切つて、イの花止の向つて右の後隅の縦の穴に直立體に挿します。

次は開いた花を花首から四寸位に切



第十八圖

つて先に挿した花止に同じ様に挿します。花は向つて左側の方に出る様に挿して下さい。

次は花首から八寸位に切つてイの花止の前の大きな穴に右前隅の方に挿します。之れで三本の紫陽花即ち主、中間は挿せたのです。

副、中間の挿し方

紫陽花は花首から六寸五分位に切つて口の花止の一番右の豎の穴に右前隅の方へ少し傾斜し



第九十圖



第十二圖

た様に挿します。此花は中開き位が結構です。次は花首から三寸に切つて同じ穴に挿します。花は左の方に出します。

次は花首から五寸五分位に切つて、ニの花止の右隅の豎の穴に挿します。次は紫陽花の葉のなるべく元氣のよいもの三枚口の花止の花止を見えぬ様に後に二枚前に一枚都合三枚てきとうの處へ使つて頂きます。

次は、ハの花止即ち中間二つは花止の向つて右の後の豎穴に花

首から九寸五分位に切つて少し前の方に傾斜體に挿して頂きます、寫眞面にある。主の左隣に有る花がそれです。寫眞面では主は直立して居ります。

三八

今せつめいした花は前の方に傾斜して居る爲めに寸法は長くなつて居るので間違へない様に挿して下さい。之で副中間の紫陽花は挿し終つたのです。

中間 客位の挿し方

デジイイは寸法が複雑になつて居りますから、挿して行く方々に依つては五分や一寸はどちらになつてもかまひません。なるべく高低の多く付いた方が見て形が宜しい。デジイイを花首から八寸位に切つて二三本ツボミをそはして、ニの花止の、左前隅の大きな穴に左前隅の方に少し傾斜さして挿します。

次は花首から四寸位に切つたデジイイを今挿した右隣の大きな穴に皆さんと向ひあつた様に挿して下さい。次はデジイイを花首から五寸三分位に切つてニの花止の左前横の豎の穴に挿して下さい。次はデジイイを花首から八寸五分位に切つて、一番初めに挿した大きな穴の後に少し直立體に挿して下さい。次はデジイイの葉をそはして三寸八分位に切つてニの花止の後の大きな穴に挿して下さい。



第二十一圖

次は六寸位に切つて今挿した左隣の豎の穴に挿します、たほれた場合はツメをしてやゝ直立體に挿します。すべて花首をはぶいて寸法丈を云ふ事に致しますから其つもりでお挿し下さい。

次はデジロイを五寸五分に切つてニの花止の後の大きな穴に挿します、次はデジロイを八寸に切つてハの花止の一番後の横穴に直立體に挿します。次は五寸五分のデジロイを今挿した前の大きな穴に挿します。そして其前に蕾と葉の付いた六寸二分位のもを同じ穴に挿します。

之でデジロイは全部挿し終つたのです即ち客位、中間の挿し方です、次は中間としての刈萱の挿し方です。

中間刈萱の挿し方

刈萱は何れに用ゐても涼味を増す爲めに用ゐるものです、讀者も御存じの紫陽花デジロイだけを見たなれば薄色の色彩の盛花と云ふ丈けで何等



第二十圖

趣がありません。刈萱を用ゐますとデジロイ紫陽花がやさしく見えるのと同時に涼味が湧いて参ります夏の盛花として刈萱は重寶なものであります。

刈萱の挿方を申します。

寸法は垂れた長い葉先から二尺四寸位に切つてイの花止の一番左の豎の穴にやゝ直立體に葉は前後に垂れた様に用ゐます。次の一本は二尺二寸位に切つて(之れは

刈萱です)ハの花止の右後の豎の穴に、挿します葉は右左にたれた様に用ゐて下さい。

次の一本はたれた葉先より一尺八寸に切つてニの花止の左側の後の大きな穴に客位の上にかぶつた様に挿します。たれた葉は右左に使ひますそれで全部挿し終つた事になります、此盛花は赤なしで夏の色彩から見た盛花としては、もつとも適當なものであります。

風鈴のせわしないのを乳母と知り

古川柳

風鈴のじつとして居る暑い事

同

色彩から見た小間の花二種の挿し方に就て

花止めの置方

材料花器

薄黄オーム菊雁皮
瀬戸船型

小間の花と申しますのは文字通り小部屋に用ゐる花であります。随つて小さな床の間、若くは書齋等の書架の上などへ飾つてもよいものであります。

此花器は私の好みでした瀬戸釉の船型で小さな水盤です、小間の盛花としては適當な器でありますからこれを用ゐましたが、一般讀者の方々は、船型若しくは小判型の小さなものでおやりになれば結構です。

花止は三つ付七寶を一個用ゐるのです、之れは極簡単な盛花です。色彩

でもがん皮は洗ひ朱色です、菊はクリ
ム色の夏菊です、寫眞面にある通り
花止は向つて左横に置いて下さい
次は主、中間の挿し方を申します。

主、中間の挿し方

がん皮を七寸五分位に切つて花止
めの左前隅の豎の穴に少し傾斜體に
挿します。此挿し方は流の方では前
主の挿し方と申して居ります、主が前
の方に傾斜して行くのであります。
次はがん皮を三寸五分に切つて前
に挿した右隣の大きな穴に主の方に

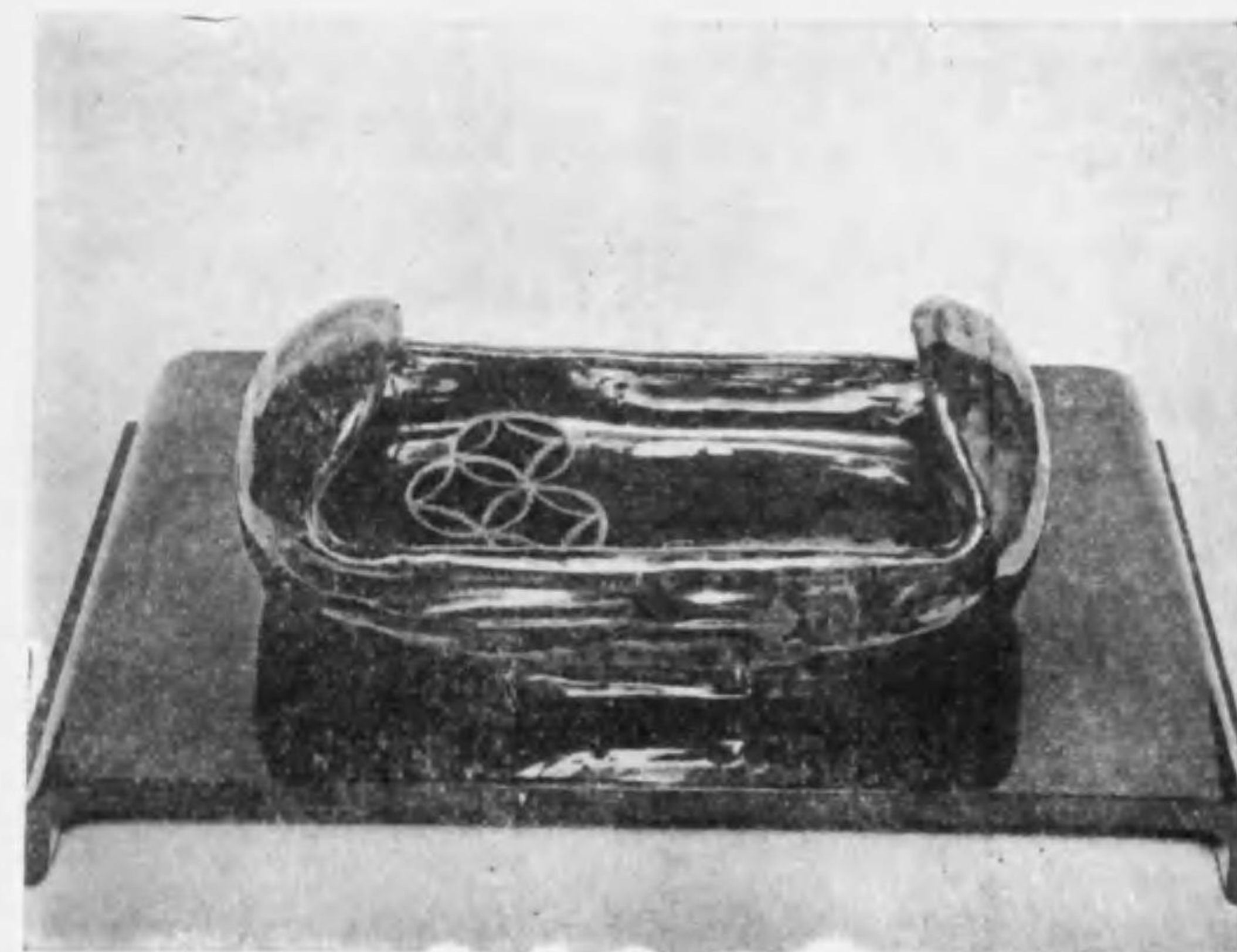


圖 三 十 二 第

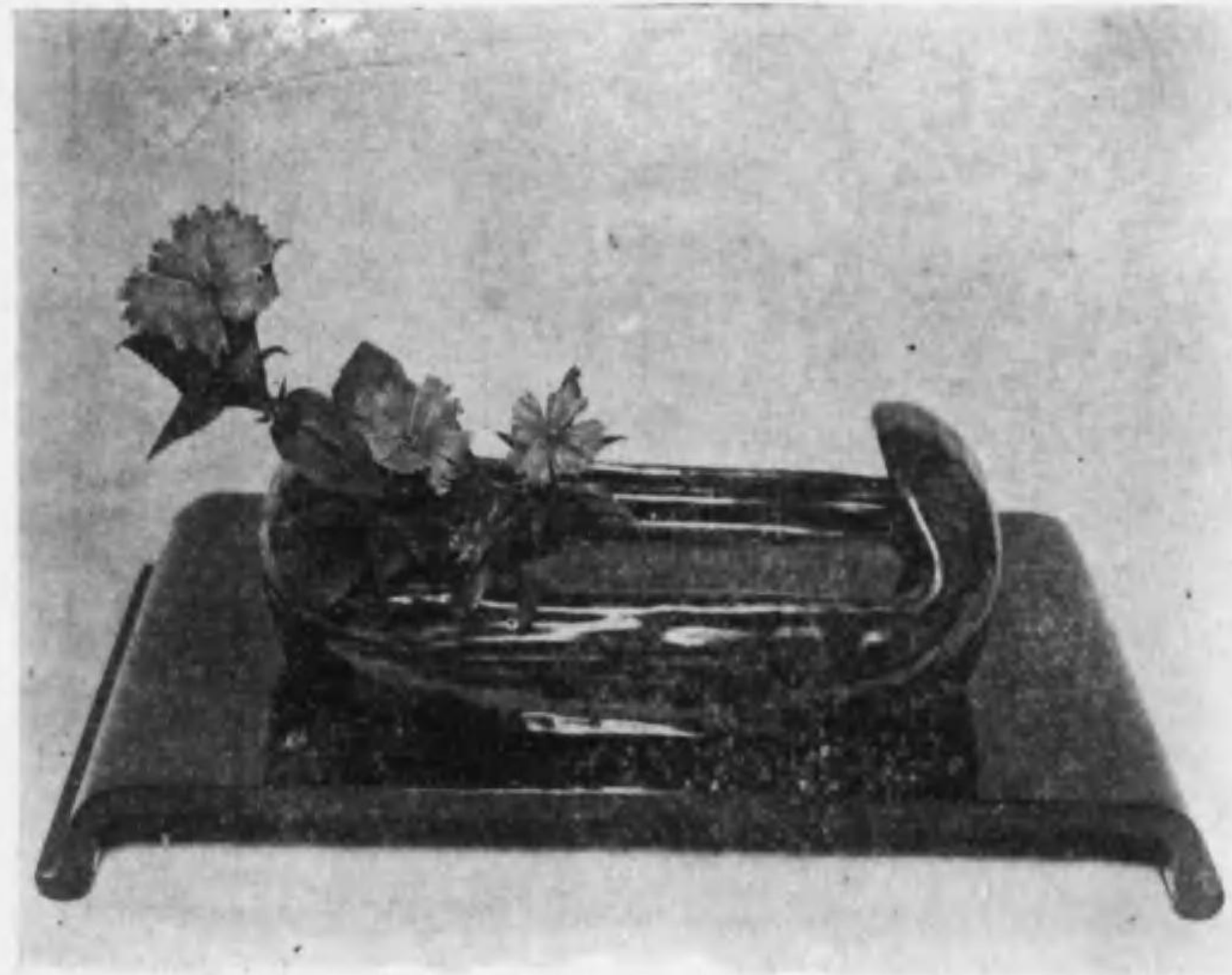


圖 四 十 二 第

寄せて挿します。次は四寸五分にが
ん皮を切つて同じ穴に挿します、あと
の二本は皆さんと向ひあつた様に挿
します。これで以上三本を挿した事
になります。

副中間挿し方

がん皮を四寸五分に切つて、主を挿
した後の豎の穴にや、直立體に挿し
ます。又がん皮を二寸五分に切つて
今挿した後の方に挿して花は右の方
に出た様に仕向けます。次はがん皮
を三寸五分に切つて花止のまんなか

の前の豎の穴に挿します。

此一本は寫眞面では主中間の時に挿してありますがお挿しになる場合は、副中間を挿して花止の見えない様にあとから挿した方が挿しよいですから、あとから挿して下さい。之れでがんで皮が六本使った事になります。

中間、客位の挿し方

夏菊は六寸五分に切つて花止の右側の大きな穴に少しな、め右より挿します。次は夏菊六寸に切つて、中



第 二 十 五 圖

央の後ろの豎の穴に前隅に少し傾斜體に挿します。

夏菊四寸に切つて其後に今一本挿します、之れは六寸と四寸と同じ穴に挿して行きます。之れで全部出来上りましたのであります。

十 皆さんはかうして御講習になりま
六 した花を御主人の書齋にでも晝の内
圖 にお飾りになつて置いて御覽なさい
夕方疲れて戻られた御主人の眼にそ
れがどんな風にうつり一日のお疲れ
をすつかり取戻して元氣なお姿にな
られる事と存じます。



斯く實用に供されてこそ初めて此盛花の効能は益々我々の實生活に切り離す事の能きぬものとなつて來るのであります。

扱て次ぎは刈萱、夏はぜ、桔梗、唐糸草、齒朶の五種からなつた自然の盛花挿方を講習致します。

小間の花に就て

小間の花にもいろいろの挿し方がありますが、水盤以外筒形の瓶を用ゐたものもありますが併しこれまで抹茶家の間に行はれて居ります、茶花とはその趣を異にして居ります、けれどもこれを茶席に使用する事もその材料の組合せによつて差支へはありません。

唐糸草、夏はぜ、桔梗、外二種の自然の挿し方

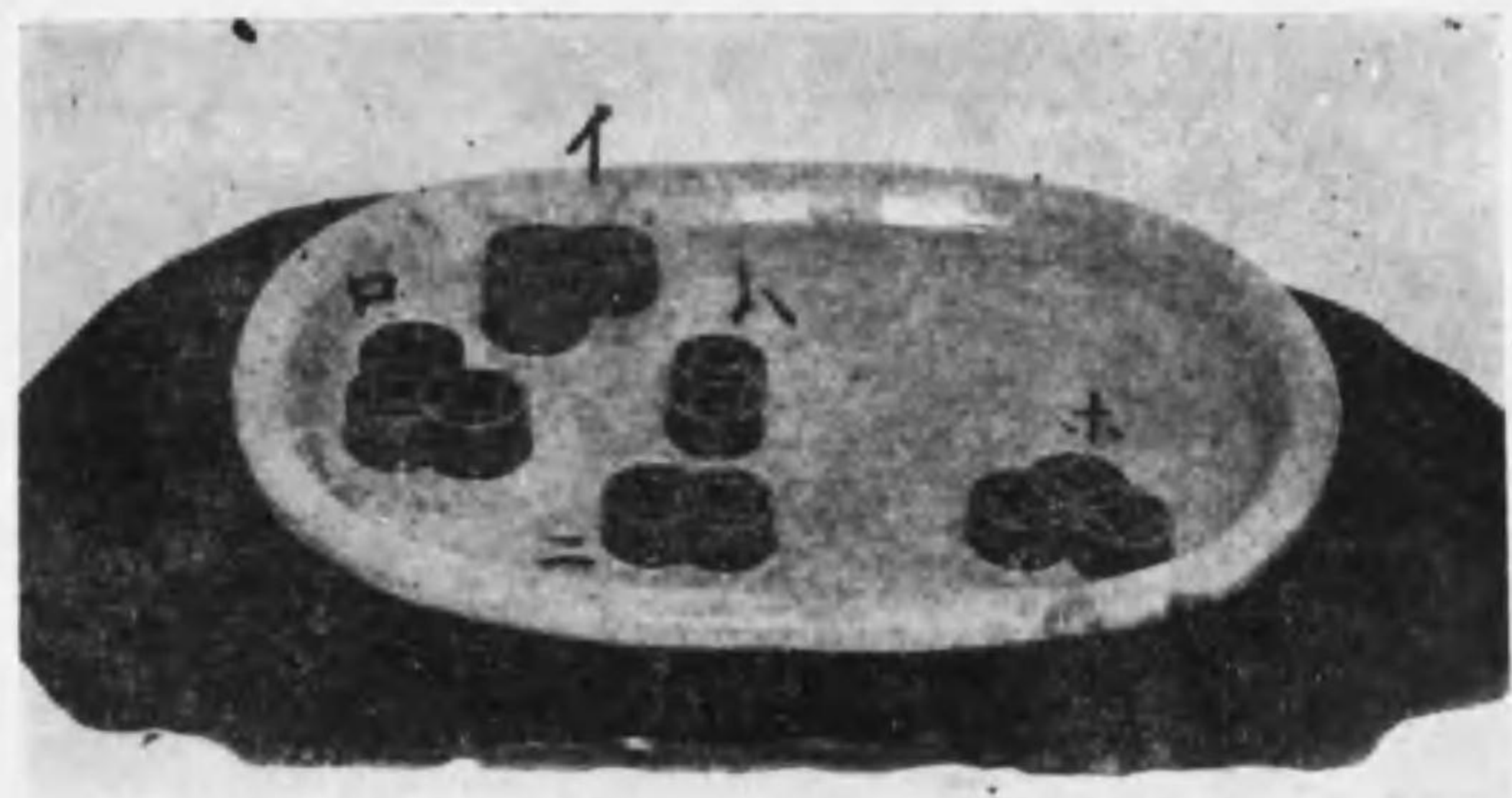
花止の置き方

花器取合

京焼吹墨小判型水盤
唐糸草、夏はぜ、桔梗、刈萱、齒朶

小間の花を終へましたので、今回は可なり廣い床、若くは床脇の地板乃至は洋室等の隅に置かれた卓上等に飾つてもよい様な自然から見た盛花の挿し方を講習致します。

此花止は中間に齒朶を用ゐます爲めに都合五個用ゐる事になつて居ります。(イ)は三ツ付七寶を圖の如く置きます。(ロ)は三ツ付七寶を圖の如く置きます。(ハ)は二ツ付七寶を圖の如く置きます。(ニ)は二ツ付七寶を圖の如く置きます。(ホ)は三ツ付七寶を圖の如く置きます。



第 二 十 七 圖

以上、三ツ付七寶を三個、二ツ付七寶を二個都合五個置くのであります。水盤の大小に依つて花止と花止との間隔が接近する事がありますが、それは讀者がお用ゐになる水盤によつて形よく、接近さしてお使ひになつても宜しい。

主、中間の挿し方

此盛花の挿し方は、本勝手になつて居ります。(イ)の花止の向つて左豎の穴に五本挿してゆきます。たゞへば、真中に、刈萱を何寸、後に夏はぜを何寸と、いつた様な説明に致します。

刈萱は垂れた葉先から二尺五寸其前に刈萱二尺一寸位のものを挿す。後に桔梗七寸五分

を一本、但し右側の方に同じく唐絲草を一尺五寸、右側に唐絲草の葉一尺同じく右側に、之れ丈けが前に指定した花止に全部挿すのであります。

次は右隣の豎の穴に夏はぜ一尺一寸に切つて寫眞面にある様に挿して下さい。次は(イ)の花止の左前の豎の穴に桔梗一尺二寸を後に、其前に唐絲草の葉七寸五分此葉は左後の方に出て居ります。唐絲草の葉八寸位、之れは左横の方に出て居ります。

次は唐絲草、花は一尺三寸六分のも、一本唐絲草一尺五分のも、一本、以



第 二 十 八 圖

上指定した花止に挿します、之れで主に中間が挿せた事になるので、次は副中間の挿し方を申します。

副中間挿し方

第十二 副と中間との挿し方を申します(ロ)の花止の向つて左の前隅の豎の穴に夏はぜの一尺四寸位のものを一本挿します。これは左前隅の方へ少し傾斜體に挿して頂きます。

次ぎには桔梗を挿します。桔梗の寸法は七寸五分位のものを選びます。而して夏はぜを挿した後に挿します。



第十二 圖

又夏はぜ一尺七寸位のものを一本を桔梗の後に又挿します。

次ぎは三本の夏はぜを同じ穴に挿して行きます。これで副中間の花が挿せたのであります。

客位の挿し方

(ホ)の花止の向つて右の前隅の穴に、刈萱一尺六寸位のもの一本、桔梗六寸八分のもの一本、刈萱一尺四寸五分位のもの一本、都合三本を同じ穴に挿して客位と致します。

此刈萱の使ひ方は前の刈萱は葉を



第十三 圖



第 三 十 一 圖

左右に後ののは前後に葉をたらしして使ひます。すべて客位は右前隅の方に傾斜體に挿して行きます。以上で主、中間、副、中間、客位、中間を挿し終つたのであります。

五四

齒朶の使ひ方

齒朶は大小がありまして軸も三四寸位づゝついて居ります。齒朶は全體の花止を、かくす爲めに用ゐるので、すから初めは主の根元に同じ方向に二枚葉を重ねて、軸を三分位付けて寫眞面の右側の方に挿してまゐります。

次は同じ様に二枚重ねて軸無しで置いてゆきます。次は二枚重ねて軸三寸位付けて左側の方に使ひます。齒朶は同じ様な方法で水盤全體に使つてゆくのでありますから、主の根元に花止のある所は軸を付けて挿します。

花止の無い所は軸無しで置いてゆきます。

次は副の根元を同じ様にして使つてゆきます。中間の(ハ)(ニ)は齒朶軸付軸無し之二種で齒朶丈けで挿してゆくのです。それが挿し終りましたら根元を同じ方法で挿してゆくのであります。

齒朶を全部使ひ終つてから齒朶の、軸三、四寸付いたもの一枚、主の右側に又一枚同じ寸法位のを左後隅の方に、副の根元の右側に同じ寸法位のもの一枚、中間に又一枚、此一枚は(ハ)(ニ)どちらでも結構であります。

若し(ニ)に用ゐれば又一枚は(ハ)に用ゐます。それがすめば客位の左側の方に又一枚同じ寸法のものを使ひます。すべて軸の長い齒朶は齒朶を使

五五

はない先に、葉先のよい、あまり大きくないものをより出して別に置いて置く必要がありません。

齒染は取り合せの材料により又其使ひ方によつて寔に面白くその全部の花を見せます、自然にも、色彩にも使はれるもので、盛花の材料としては實に工合よく作られたものです、野山に自然生えになつて居るものを見ますと頗るツマラヌものゝやうですが一度小原流によつて水盤に盛られますとスツカリその品位をさへ高めて來ます。

ギボシに薄黄菊ボンくダリヤの挿し方

花止の置方

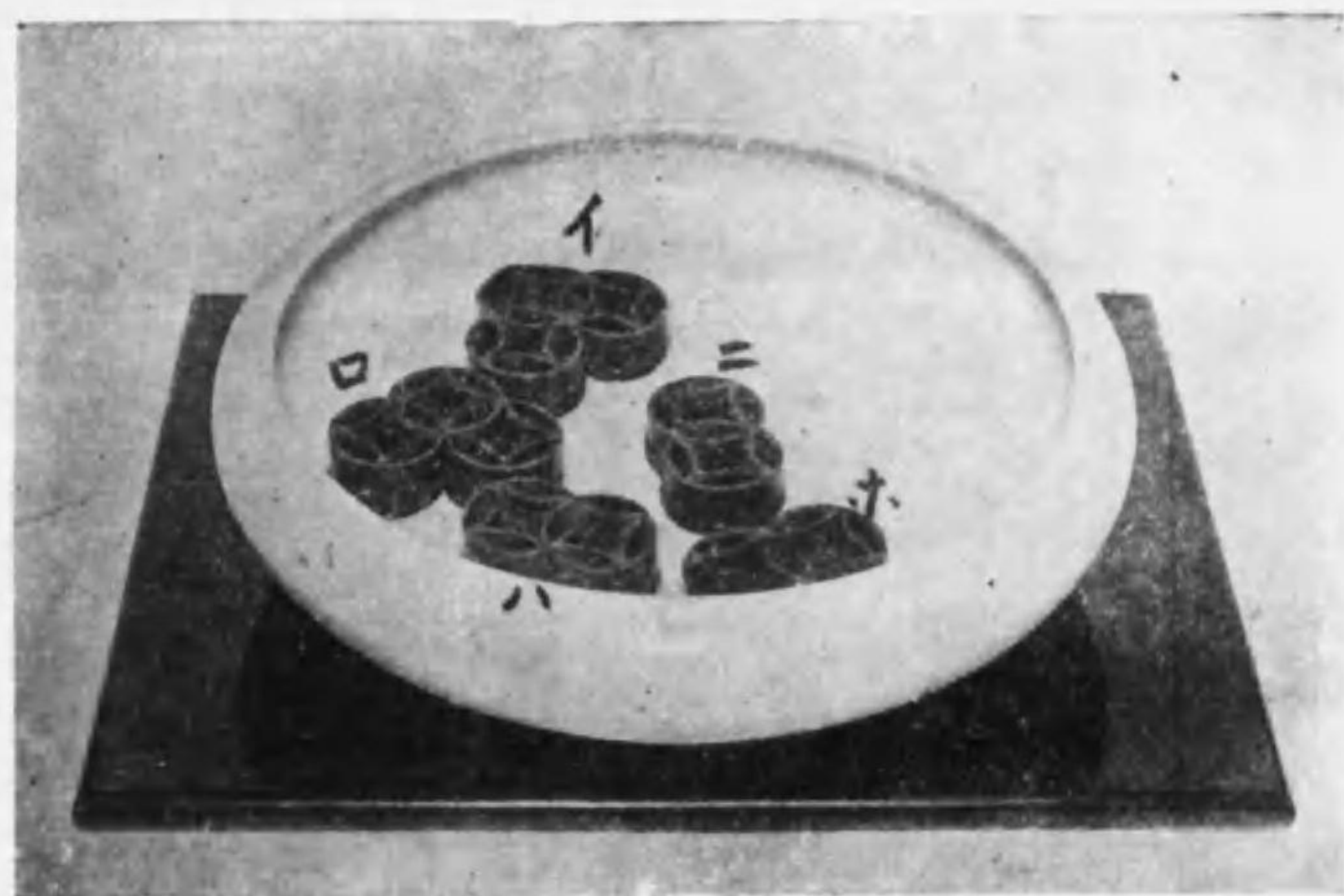
花器取合

白磁丸水盤
ギボシ、ボン

くダリヤ、薄黄菊

此花止は三つ附二箇、二つ附三箇、都合五箇用ゐるのです、勝手は本勝手です。水盤の向つて左後隅に規定の通り三つ附を一箇置いて戴きます。次は三つ附七寶を少し斜に置きます。此置場所は向つて左の前隅に置きます。

次は二つ附七寶を横に置きます。次は二つ附七寶右前隅に少し斜に置きます。次は今置た花止の丁度後に豎に置きます。都合五つです、すべて花止は用ゐる材料によつて、一箇用ゐて挿す時、又二箇用ゐる時、三箇若しく



第 三 十 二 圖

は四個或は、今回の如く五個用ゐると云ふ事は先に記した花の種類に依つて讀者諸氏の御考へによつて用ゐて貰ひたいのであります。

寫眞面にはイロハの印を用ゐてありますから、花を挿す場合にはイの花止に若しくはロの花止と指定した場所に挿して戴き度いのであります。

主の挿し方

挿し方を説明する前にギボシに就て少し申して見たいと思ひます。ギボシには葉の小さいものと又葉が少しく大きくて

花の長いもの又斑入りのもの、以上三種位あります。こゝに用ゐてあるものは葉の大きい花の長いものを用ゐて有ります。此ギボシは時候によつては花屋にもなく又地方にない處があるかもわかりませぬ。その代りに、玉のかんざしがあります。此花は花が白くて用ゐてあるギボシの葉によく似て居ります。之は七月の末つかたに市場の花屋に有ります。ギボシの無い場合には此玉のかんざしを寫眞面にある、主、副に用ゐて中間にボン／＼ダリヤ、中間客位に夏菊、此夏菊は、色は白若しくは黄が結構です。



第 三 十 三 圖

本題にもどりて、主にギボシの葉を三枚花一本を用ゐてゆきます。之れは花を標準に前後の葉の寸法を定めて、同じ穴に挿して行くのです。挿して行く穴は、(イ)の花止の向つて左の後隅の豎の穴に花一尺三寸位に切つて其穴の真中に、後の葉は一尺二寸位、前が九寸、向つて右後横に八寸の物一枚此一枚は寫眞面では少し見え難い様ですが寫眞では少し葉先丈が見えて居ります。

次は七寸五分の葉を先に挿した豎の穴の右隣の大きな穴をとばして小さい豎の穴に一枚、圖の如く挿して下さい。之れはのちには中間になる葉です、以上四枚を以て花を真中にすべて直立體に挿して行くのであります。之れで主三枚、中間一枚は挿せ終つたのです。

副、中間の挿し方

次に(ロ)の花止の左後の斜になつて居る小さい穴に花九寸、花の後ろへ葉



第三十四圖

一枚八寸五分位葉は小々左前隅に倒斜させます。花はやゝ直立體に今挿した隣の大きな穴に七寸五分位の葉を一枚、前隅の方に倒斜させて使つて行きます。花を真中に、葉を前後に使つて行くのであります。之れで副は挿せたのです。次は中間の挿し方です。花を六寸五分位に切つて、前後の葉は八寸と七寸五分の二枚(イ)の花止の主を挿した前の豎の穴に挿して花は主、副の中間右の

方に葉、花を出すのです。次は葉八寸五分に切つて副を挿した後の斜の小さい穴に挿して葉先は左前横の方に向つて出るのです。此葉は寫眞面では副の花の軸を見切つてゐる葉です。

中間の挿し方

中間のボン／＼ダリヤ、若しボン／＼ダリヤの無い場合は普通のダリヤの花首のかたいのを用ひてもかまゐりません。すべてダリヤは指定した寸法に切つて切



第 三 十 五 圖

口を二分位前後左右に割つてアルコールの中にひたして挿して行くのです。すると比較的日數ももちます之れは簡単な水揚法です、ボン／＼ダリヤを七寸位に切つて、主を挿した穴の隣、云ひかへれば一番後の横の小さい穴にツメをしてやゝ直立體に挿して下さい。寫眞面では、二輪同じ様な寸法に出て居る様に見えますが此一本は中間高く前の方に挿したものですから、之れから説明してゆく内に八寸五分と云ふダリヤが出て来るのは即ち二輪同じ様な花の前のものです。

此七寸の一本を挿して根元が見へる場合は適宜に葉を短くして花止をかくす様にするのです。次は(イ)の花止の主を挿した穴の右隣の大きな穴をとばしてギボシが一本挿してあります(之れは主を挿した寫眞面を御覽になればすぐわかります)其挿してある穴の前の豎の穴に四寸五分位のもの一本花は後が赤なれば四寸五分のものは白の縁とりのものが適當です、次は(ロ)の花止の向つて右前隅の豎の穴に八寸五分のダリヤをやゝ直立

體に挿します之れは桃色が結構です。次は(ハ)の花止の左後隅の斜の細い穴に六寸五分のダリヤを一本之れは水盤に倒れた様に花を用ゐます。色は先に申した如く同じ色のものをならべない様にします。

次は今挿した穴の右隣の大きな穴に、四寸位のダリヤ一本前後に葉を使つて花止をかくすのです。之れで中間のダリヤは全部挿せたのです。

ダリヤは之れで五本であります。

中間客位の挿方

菊は讀者も御承知の通り指定した寸法に切つて根元を二、三分前後左右に割つてハツカ油に漬けて置けばよくもちます。菊は一本七寸五分のもの、七寸のものとの都合二本を(ホ)の花止の向つて右隅の豎の穴に少し傾斜體に挿します。

次は五寸に切つて菊を(ホ)の花止の左隅の豎の穴に挿します此花も前の



第三十六圖

方に傾斜させて挿します。次は七寸に切つた菊を(ニ)の花止の一番後の横穴にやゝ直立體に挿します。倒れる場合には左右にツメをして置きます。

次は五寸五分に切つた菊を(三)の花止の右後の豎の穴に挿します、次は菊三寸五分に切つて今挿した前の豎の穴に挿します、次は菊四寸七分に切つて(三)の花止の今挿した隣の大きな穴をとばした左前隅の豎の穴に挿します。以上で全部挿

せ終つたのであります。

花止の見えた場合はなるべく菊の葉を應用して花止を隠す様に挿して置くのがお手際です。

斯ういふ取合せの盛花は洋室の卓上にも實にふさはしいものです中央の卓に置くよりもソファアールなどと並べて壁際へ寄せて置かれた花臺の卓に載せて見るのが最もよからうと思ひます、無論日本室の床の間正面若くは脇の地板などもよい事申すまでもありません

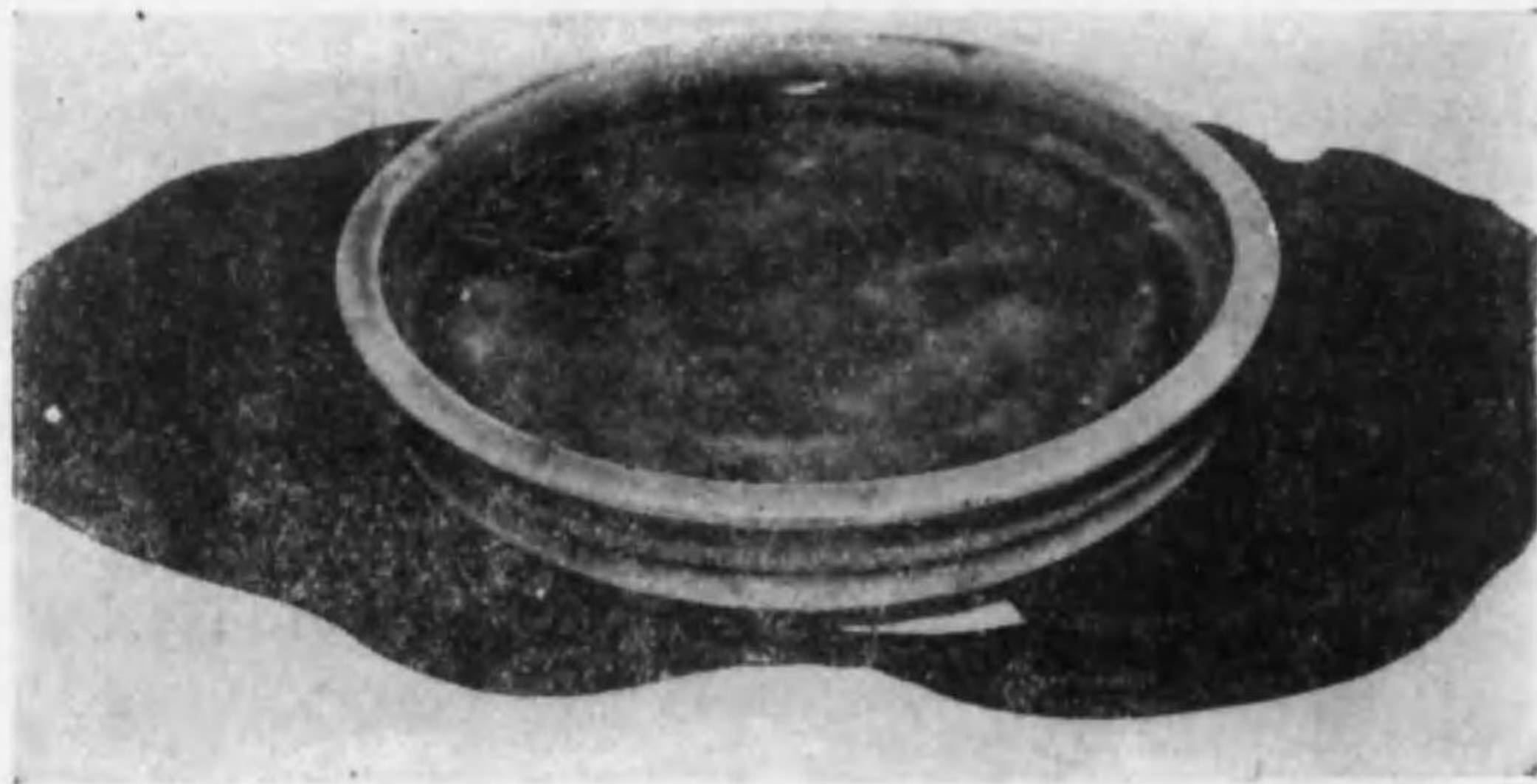
白菊の花と刈萱を水盤へ

色彩から見て挿す

花止の置き方

花器材料 均窯丸水盤
白菊刈萱

此盛花の挿し方はずうつと初めに、詳しく説明致しましたが即ち大暑の盛花の挿し方でありませぬ。大暑の盛花は出来得る丈け水を多く見せるのが大暑の挿し方です、斯うした盛花の時には花止を多く用ゐない方がよろしいのです。それで花止は三ツ付七寶を一個用ゐるの



第七十三圖

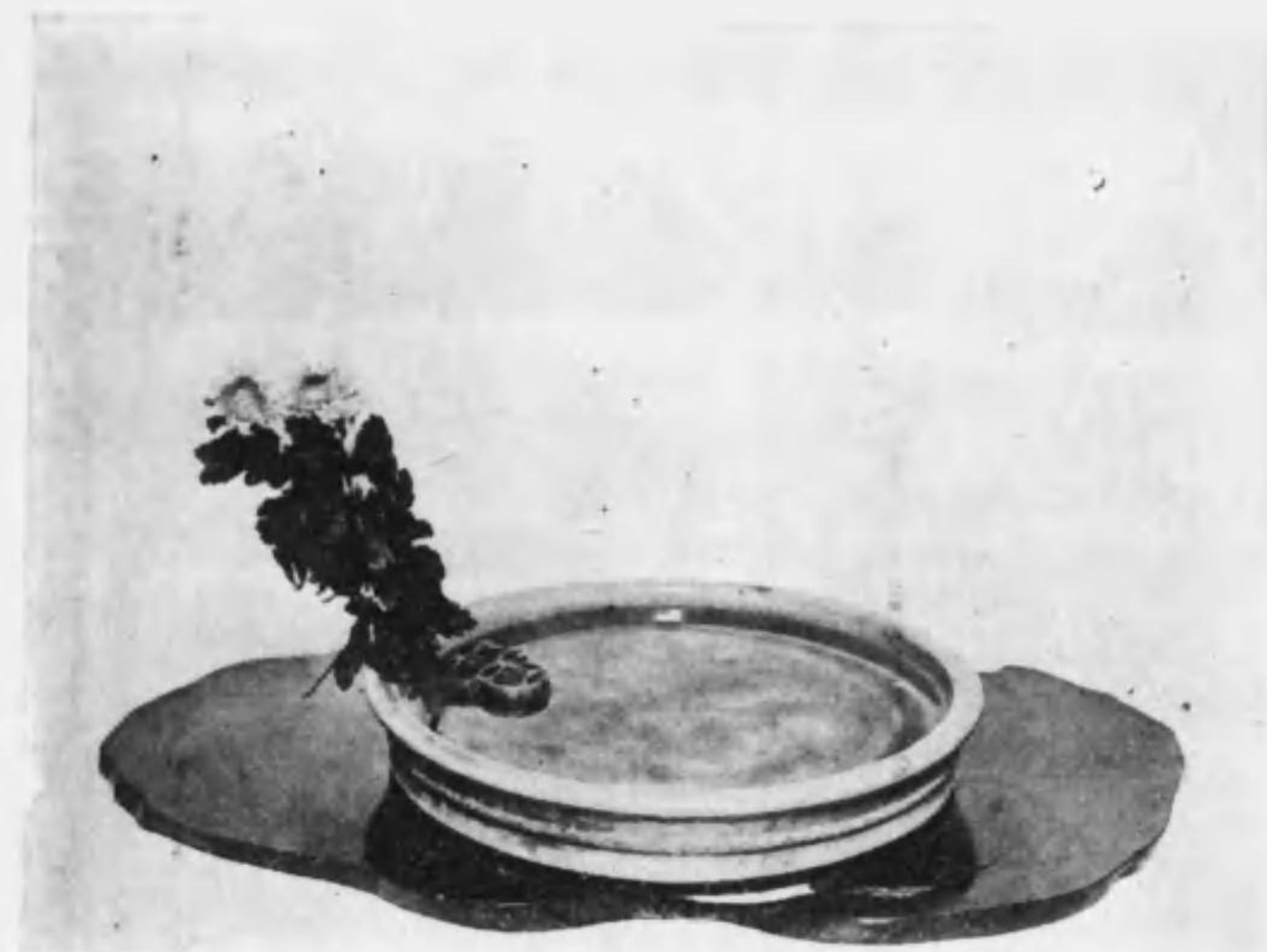


圖 八 十 三 第

六八
 です。水盤は白青磁均窯海鼠色斯う
 した水盤を用ゐられるならば層一層
 涼味を増してよいと思ひますのでこ
 ゝに一言注意をして置きます。

主の挿し方

此盛花は主が前隅に少し倒斜した
 挿し方になつて居ります。此挿し方
 を前主の挿し方と申して居ります。
 白の夏菊を一本一尺三寸に切つて三
 つ附七寶の向つて左前隅の竪穴に少
 し左前隅に倒斜させて挿して行くの
 であります。此一本は花が二輪附て

居ります。之れで主は挿せ終つたの
 であります。

副中間の挿し方

一尺位に切つた菊を先に挿した後
 の斜の小さい穴へ直立體に挿します。
 次ぎには八寸位に切つた菊を主と副
 との挿してある真中の横の方に少し
 前へ傾斜させたやうな氣味で挿して
 頂きます。之は中間です。これで此中
 間は挿し終つた事となり次ぎは客位
 中間の挿し方に移ります。

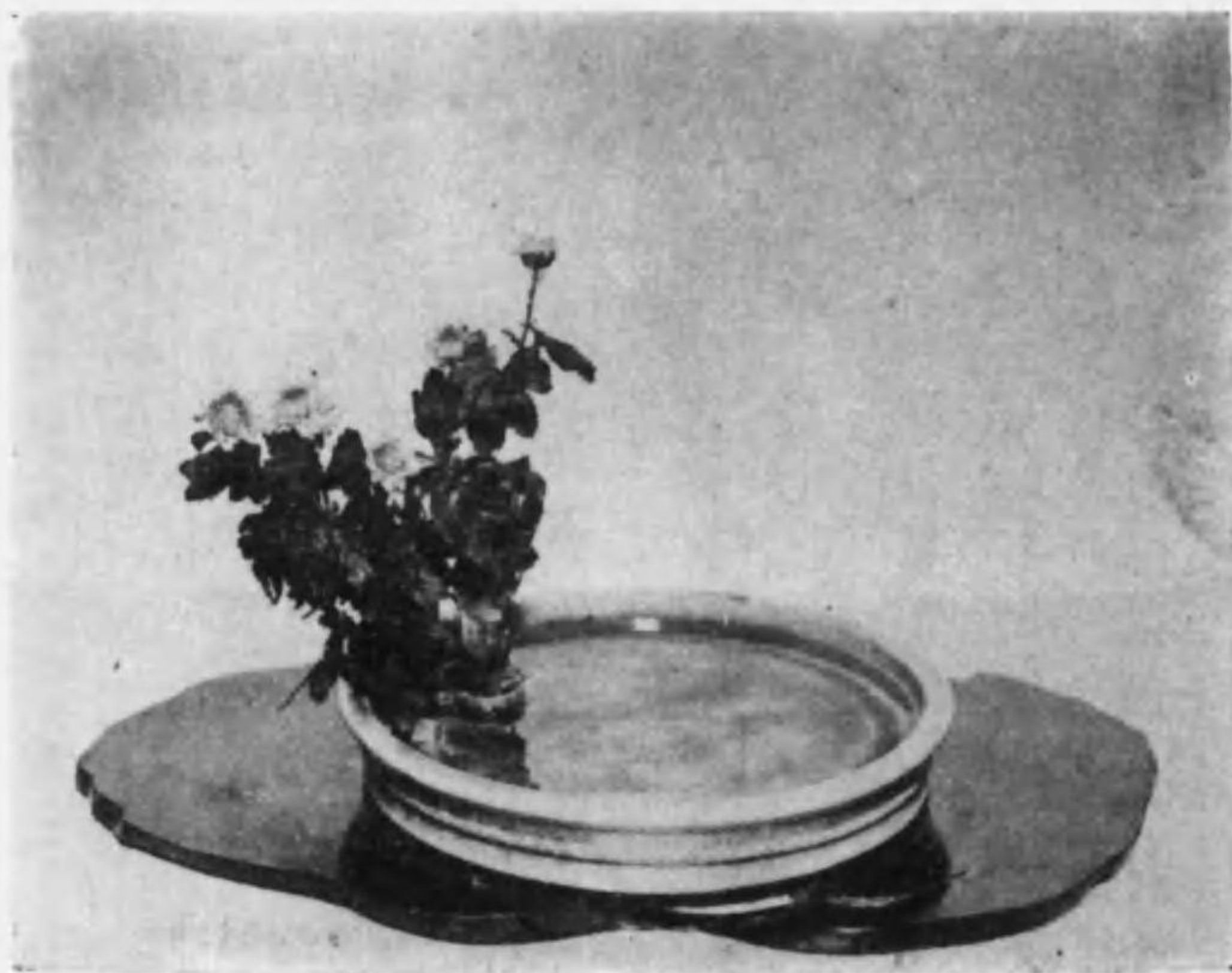


圖 九 十 三 第



第十四圖

客位中間の挿し方

七〇

菊の花を九寸に切つて花止の向つて右前隅の大きな穴に右前へ倒斜させるやうに挿します。次ぎは左隣の大きな穴に七寸に切つた菊を正面に倒斜させて挿します。

これで菊の花は全部挿し終つたのであります。これだけでもいゝやうなものですが夏の盛花としては涼味もなく又とり合せも妙でありませぬので、刈萱を中間に挿して行くのであります。

刈萱の挿し方

刈萱は規定の寸法に切つて稀鹽酸を附けて挿して行くのです。刈萱二尺に切つて主の後に一本葉は前後に垂らして左前隅に倒斜體に挿します。次は同じく刈萱を一尺七寸に切つて、副の左側に葉を前後に垂らして挿して行きます。

次は刈萱一尺五寸に切つて客位の後に右前隅の方に倒斜した様に挿します。刈萱の挿し方は紫陽花の盛花の時の説明に詳しく申して



第十四圖

七一

ありますから此度は省略して置きます。
之れで全部挿し終つたのであります。

水盤の選び方

水盤には陶器金属といろ／＼ありますが普通には陶器物が一番需用が多いやうです。これ種類も澤山あり、その釉の色も白釉を初めソバ釉、飴釉十錦式の釉から鐵砂、朱泥、備前、南蠻など數へ切れぬ程であります、又染付けなどにしたもの吳州風のものなどもあります、總てその用ゐる花の材料の組合せによつてその色合を選ばねばなりませんし、又用ゐる場所即ち飾り場所によつても多少の考慮が要ります、出づ入らずは白磁物クリーム色等です。

白竹と燕子花とを

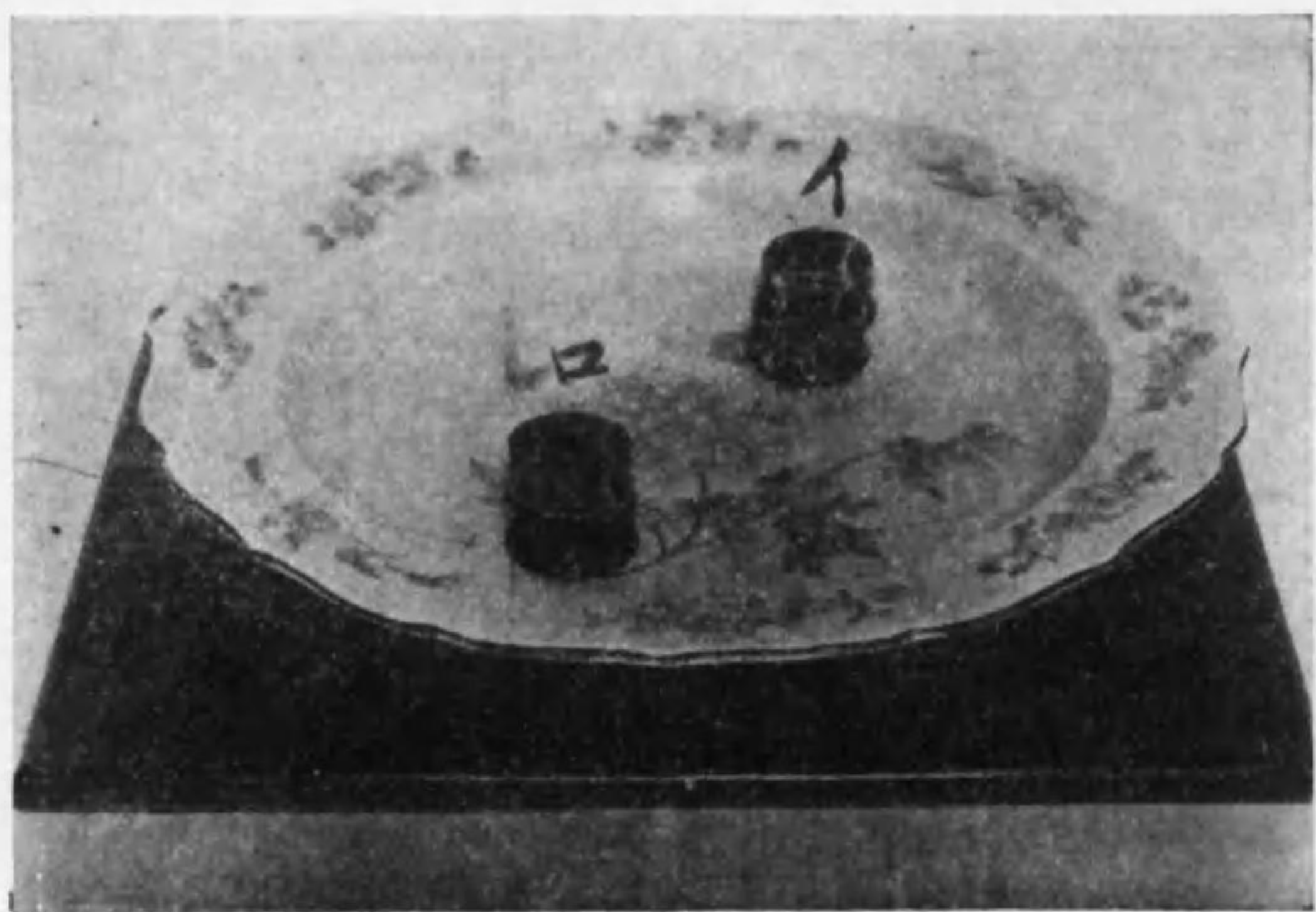
寧窯の皿へ挿す

花止の置き方

花器材料

寧窯模様入血
白竹燕子花

此盛花は花止二ツ附二個を用ゐます。勝手は左勝手です、之れは水もの、盛花の花止の置き方です、花止は成るべく正角に置いて頂きます。置き方は二ツ附七寶を右後隅に置きます。今一個は左前隅に置きます。都合二個、寫真面にイ



■ 二 十 四 第

口の印を付けて置きます。

主、中間の挿し方



圖三十四第

此白竹は陸草ですが編入りの葉が涼しさうに見えるので水物の組合せに之れまで用ひる事になつて居ります。

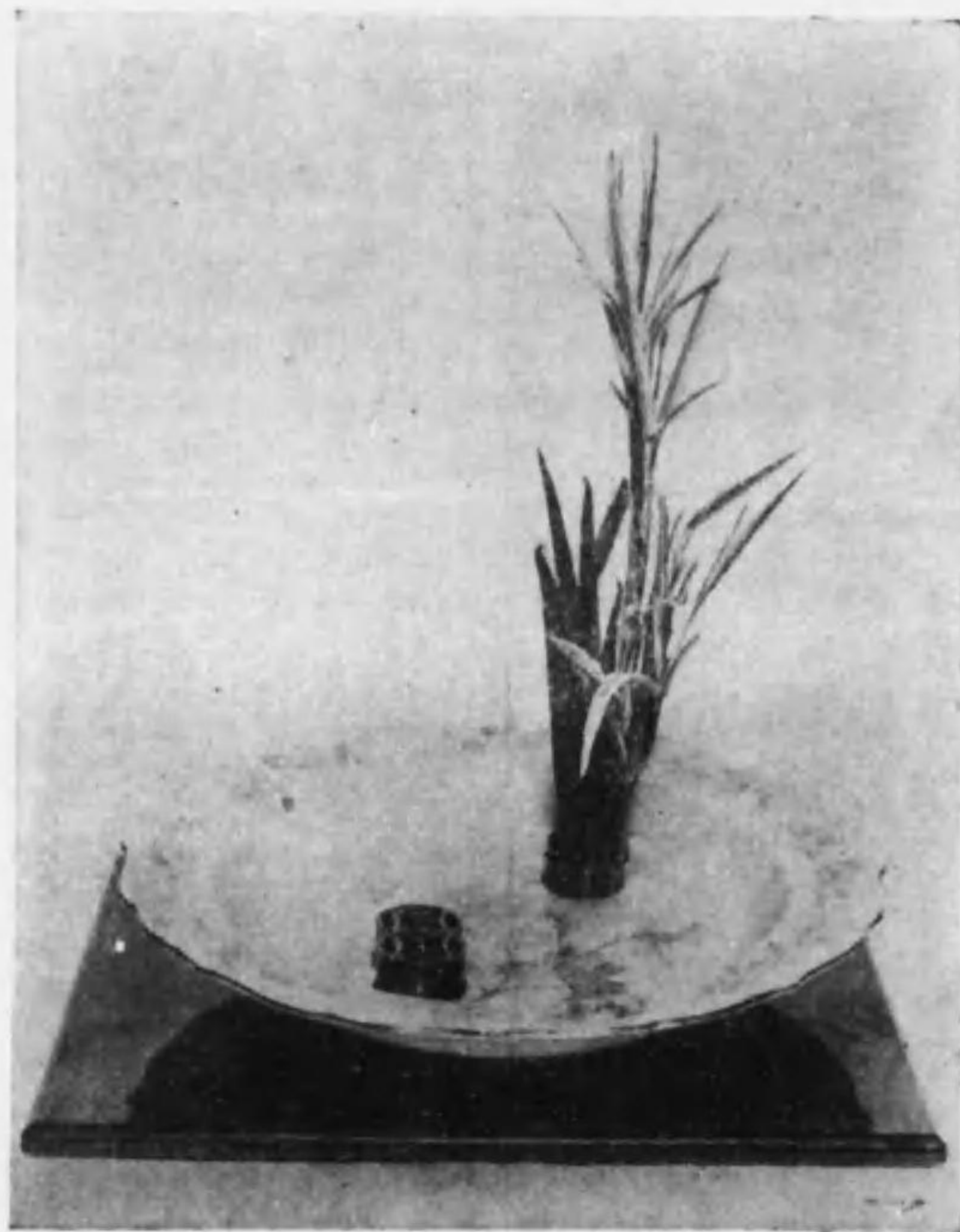
此白竹を規定の寸法に切つて根元に稀鹽酸を附けます。白竹の寸法を先づ一尺四寸に切つて(イ)の花止の後の大きな穴に直立

體に挿します之れは挿した根元にツメをして直立さすのです。

次ぎに一尺に切つた白竹を今挿した前の小さな横穴に向つて右の方に少し先を倒した様に挿します。之れで主、中間が挿せた事となります。

中間の挿し方

白竹を一尺五分位に切つて(イ)の花止の向つて左前隅の豎の穴に右前隅の方に倒蕨させて挿します。之れが即ち副であります。次は燕子花、燕子花の葉組は春の時に詳細説明して置きました。が夏の燕子花の葉組は前三



圖四十四第

枚組、後二枚組にして用ゐるのです。

花高く葉を低く用ゐるのが夏の燕子花の挿し方です。中間の燕子花の前の葉は向つて左を高く右低く三枚組、但し裏を前に出します。三枚組寸法は長い葉が七寸五分、次は六寸五分、真中が五寸五分都合三枚であります。次は花が六寸五分、挿す場所は(イ)の花止の一番前の横穴に挿します。次は二枚組、此葉は皆様の方へ表が出る様に挿します、二枚組寸法は長い葉が八寸五分、短い葉が七寸五分の二枚組です、挿す穴は今挿した穴の後の大きな穴に挿します。

いづれも花を真中に葉を前後に用ゐて挿します。之れで副中間の挿し方が終りました。

客位の挿し方

燕子花の葉三枚組、裏を前に出します。此葉も左を高く右を低く用ゐま



第四十五圖

す。長い葉は一尺五分、次は八寸五分、真中が七寸三分の三枚を用ゐます。挿す穴は(ロ)の花止の一番前の横穴です。

其後に花を八寸五分に切つて、同じ穴に挿します。葉は寫眞面に現はれてゐる様に少し前後に垂れてゐる様に挿す方が宜敷い。

次の葉は二枚組、向つて右を高く左を低く寸法は長い葉が一尺一寸五分、短い葉が一尺、但し前の方に表を出します。挿す穴は(ロ)の花止の大きな穴に挿します。

之れはいづれも花を中央に葉を前後に用ゐてあります。次は二枚組二葉組は向つて左を高く右を低く寸法は長い葉が八寸、短い葉が六寸五分の枚組です、挿す穴は今挿した小さい横穴に挿します。

葉は表を前に、次は二枚組、向つて右を高く左を低く寸法は七寸と六寸挿す穴は一番後ろの横穴に挿します。表を前に用ゐます。之れで客位は全部挿せた事になります。

此盛花には燕子花の花二本を用ゐて有ります。餘り多く花を用ゐるより此位の花を用ゐる方が涼しさを添へて好く見えます。

青楓 河原撫子、齒朶の三種を

白の大水盤へ自然から見えて挿す

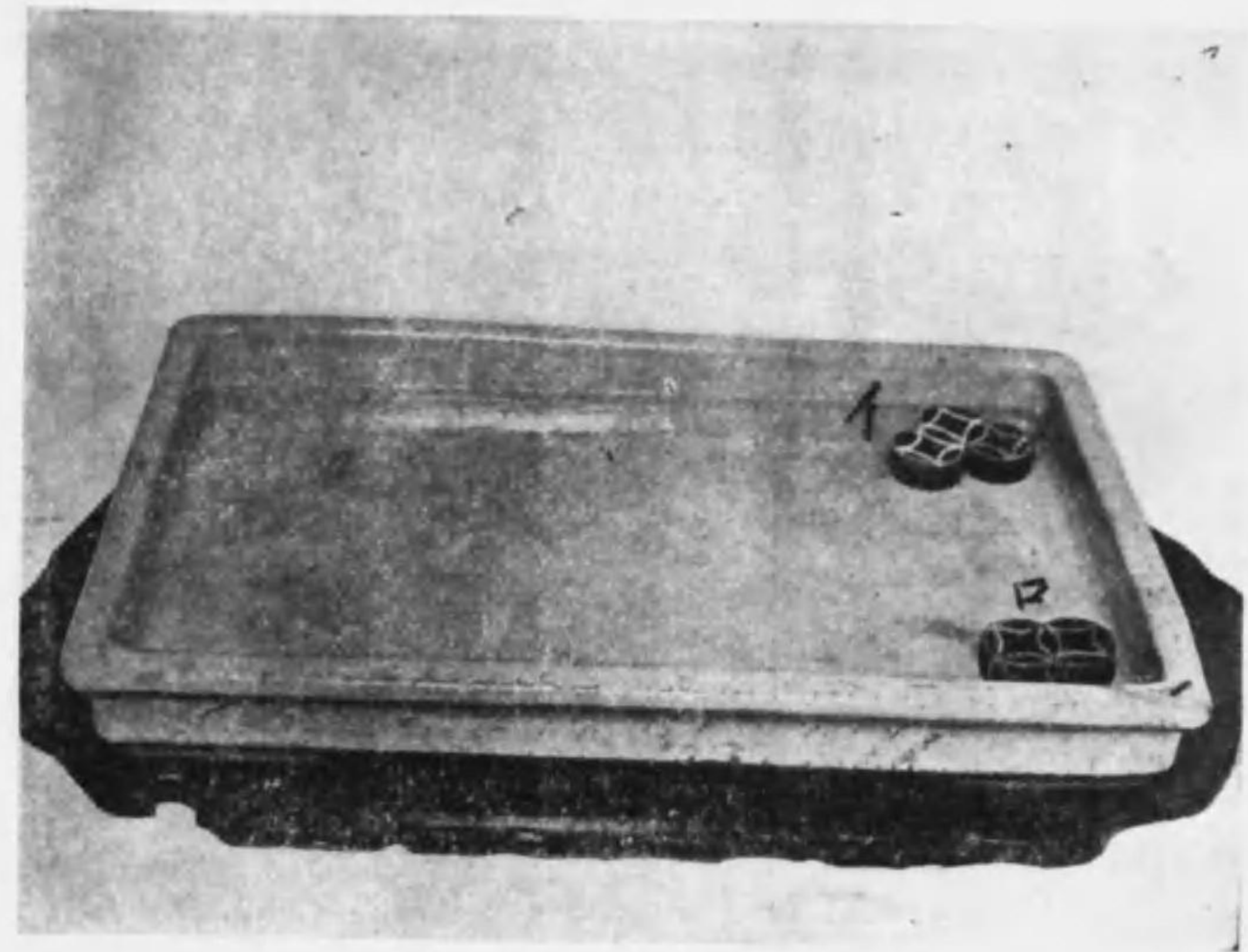
花止の置き方

花器材料

白交趾長角大水盤
青葉楓 河原撫子、齒朶

この盛花の挿し方は主が後隅の方から前隅の方へかけて倒斜したやうに挿すのであります。大暑の盛花としては最もふさはしいものです。

斯うした涼味満々たる盛花を飾る床に瀑布の軸でも掛けて調和させましたらそれこそキツト見る人々にいゝ感じを與へる事と思ひます。此青楓に一寸霧でも吹いて置きますれば、さながら瀑布の飛沫のかゝつたやうにも思はれませう。



第十四圖

これに用ゐる花止は三つ付七寶を二個使ひます、申し遅れましたが此盛花は左勝手の花です。

置き方は三つ付七寶を圖の如く向つて右後隅に一個、右前隅に一個を置きます。

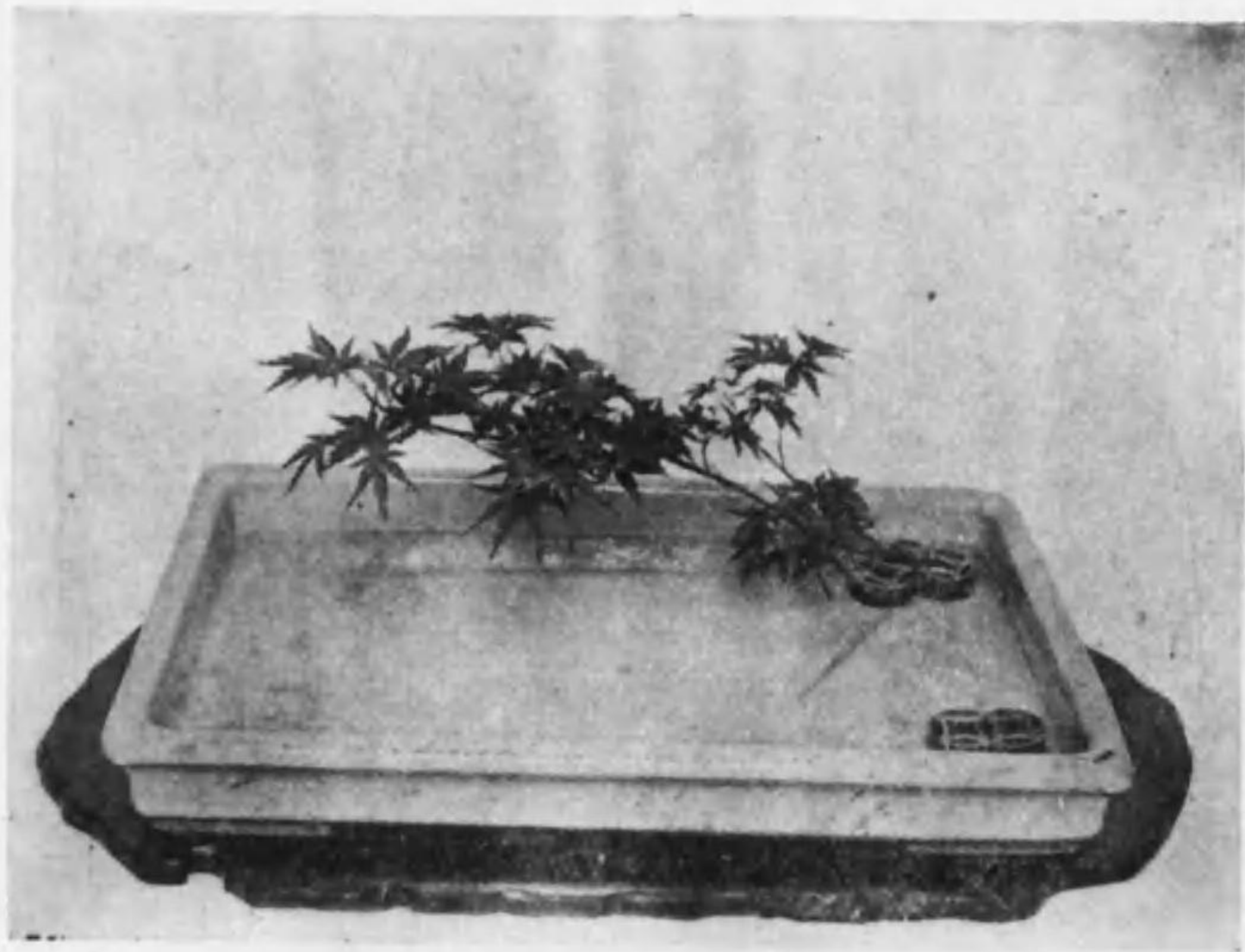
此盛花の挿し方は水盤の三分の一に、挿し残る三分の二に水を見せるといふやり方で萬斛の涼趣を呼ばうといふ意匠です。では挿し方に移ります。

主の挿し方

青葉楓の傾斜體のもの一本長い葉

先から二尺二寸に切つて(イ)の花止の右前隅の大きな穴に挿して左前隅の方に傾斜にさすのです。此一本が全體を通じての一番肝腎なものなので、すから枝振に注意をして挿して頂かないと、變なものが出来上ります。

たとへば直立體のものを傾斜體にするると、枝先が全部力がぬけますから、初めから此一本は充分傾斜したものを選ぶと云ふ事が大切な事でありま



第十四圖



第 四 十 八 圖

副中間の挿し方

次の楓は葉先から根元迄一尺七寸のものを(イ)の花止の右後の斜の小さな穴に挿します。此枝は一本で副中間を代表する様なものを用ゐてあります。斯うした時に數本を用ゐて副中間にすると云ふ事は面白くありません。出來得るなれば一本で副中間に見立る様な枝を用ゐて頂き度いのであります。それは何故かと申しますに全體を一本の楓の木

を見る様に見せるのですから、數本寄せると斯うした風に見せる上に破綻を生じるからであります。

中間の挿し方

楓を一尺三寸に切つて挿す。穴は(イ)の花止の前隅の斜の小さな穴に挿します。葉先を右前隅の方に出る様に入します。楓丈で見ると此枝が客位になる枝であります。

楓の水揚は枝を切つて直ぐ根元を一寸位薄皮をむいて前後左右に



第 四 十 九 圖



第五十圖

割つて挿しても一週間位は完全に持ちます。又根元を割つて重曹をつけて十分位カラ活をした後に水を注いでもよく持ちます。

之れで楓の挿し方は終りました。

客位、中間齒朶撫子の用ゐ方

河原撫子の五寸五分位のもの一本(ロ)の花止の一番前の大きな穴に向つて右前隅の方へ傾斜させて挿します。次の一本は、四寸位に切つたものを(イ)の花止の一番短い楓を挿した根元に挿します。

次は齒朶の用ゐ方です。齒朶は度々説明をして居りますが、花止を隠すのが目的ですから花止の有るところは軸を三分ばかり付けて挿すのです。葉は二枚宛同じ方向に重ねて用ゐます。花止の無いところは齒朶の軸を付けないで置いて行きます。

斯うした盛花にはあまり多數に用ゐない方が結構です。精々(イ)(ロ)の花止が、かくれる程度位が適當です、又所々へ齒朶に軸三寸位をつけて挿します。之れを挿すと齒朶の高低はひとりで附きます。以上で此盛花は終ります。

桔梗刈萱爲朝百合を海鼠の面盆へ挿す

八六

花止の置き方

花器材料

海鼠面盆
桔梗刈萱爲朝百合

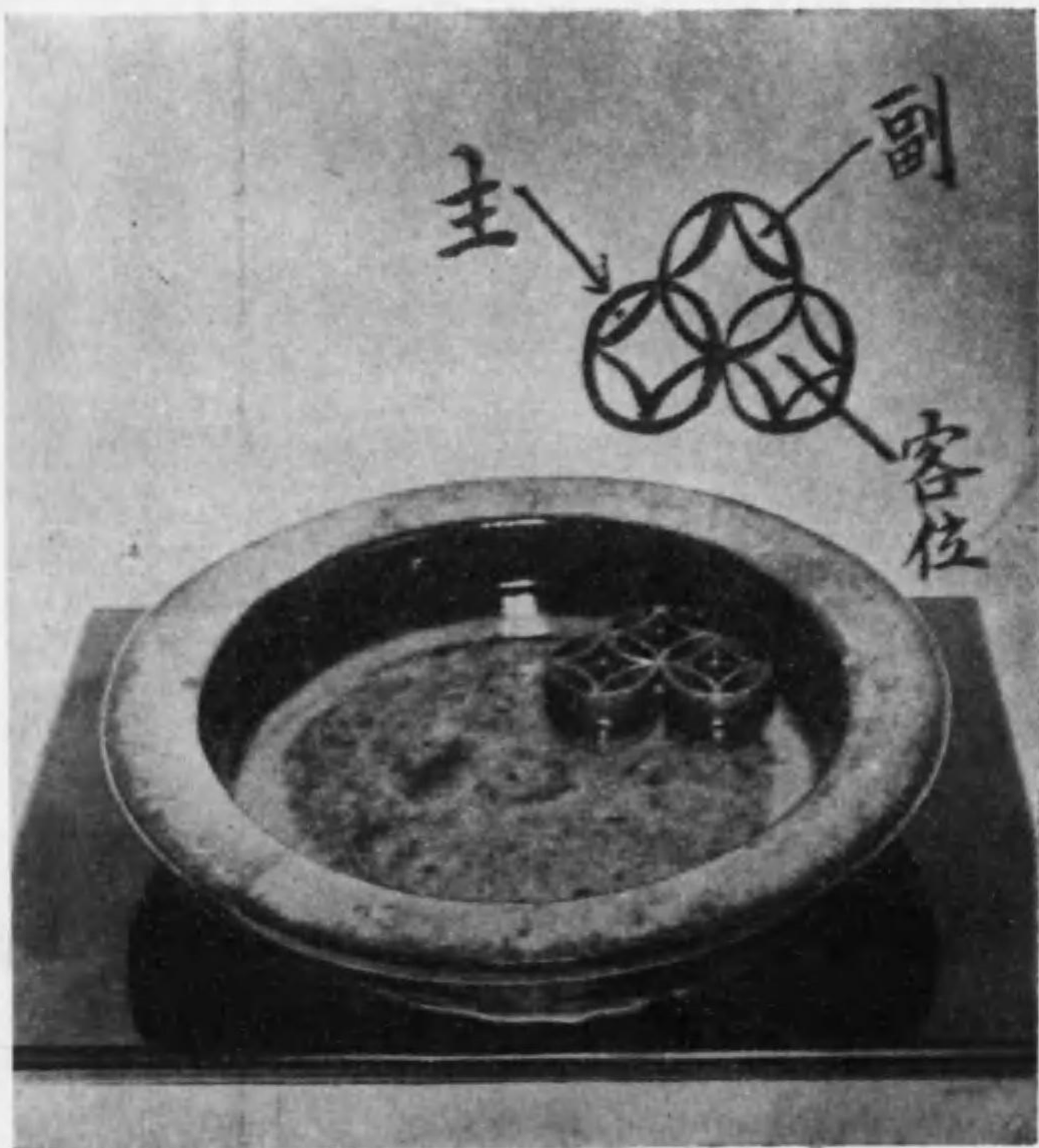
此盛花は小間の盛花と申した方が適當でしやう花止は三つ附七寶を用ゐます。置き方は、水盤の向つて右後に、大きな穴を三角形の様に置きます。いつもの置方とは少し變つて居りますから、寫眞面を注意して見て下さい。

主、副の挿し方

爲朝百合を主、副に用ゐます。此百合は大阪を中心として爲朝百合と呼ばれてゐますが、關東方面では單に山百合と申して居ります。地方に依つ

て多少名稱が變つて居るかも知れません。百合の種類は讀者も御承知の通り、多數ある中でも花が一番大きく香りの高いのが此爲朝百合です。

斯うした百合を盛花として用ゐる時に、本數を多く用ゐますと、花が大きいために、花と花とが重なつて見苦しい形になります、而已ならず



第一十五圖

八七

八八

多数の花が咲きますと、香りの高いために氣持を悪くする事が有ります。夫れに反し一輪位咲いて居りますと、寔に馥郁として氣持のよいものです。それで態と僅かに二本を用ゐる事に致します。



■ 二 十 五 第

この爲朝百合は水の下つた時には生灰をその根元に付けて挿しますと勢ひよく水が揚つて來ます。ではこれから挿し方に就いて申上げます。

百合の咲いたものを一尺一寸位に切ります、而して花止の向つて右側の前の斜の小さい穴に挿して水盤の向

つて左前隅の方に少々傾斜體に致して置きます。

次ぎの一本は八寸位に切つて一番後の斜の穴に直立體に挿します。これで主と副とが挿せたのであります。

中間客位挿し方

桔梗を客位、中間として用ゐます。桔梗はよく水を下げますものですから、規定の寸法に切つて稀鹽酸につけて挿します。

桔梗を九寸に切つて花止の置き方の時に指定してある穴即ち向つて右の



■ 三 十 五 第

前隅の大きな穴に、向つて右前隅の方に少し傾斜した様に挿します。次は桔梗六寸五分に切つて其左隣に挿します。

次は桔梗七寸に切つて又左へ挿します。以上三本は同じ穴に挿して行きます。次は桔梗一尺一寸に切つて三本挿した大きな穴の左後の斜の穴にやゝ直立體に挿します。

桔梗八寸に切つて三本挿した右後の斜の穴に挿します。以上で桔梗は五本であります。之れで中間客位は挿せたのであります。之れ丈けでは尙少し涼味に乏しい爲めに刈萱を用ゐます。

中間刈萱の挿し方

寫眞面には刈萱を用ゐてありますが、之れは必ず刈萱を用ゐなければならぬと云ふ事では有りません。刈萱のかはりに用ゐるものを二、三記して置きます。



第五十四圖

一、アスバラカス、二、姫あし、三、すゝき、四、早咲きの萩

以上を中間としてお用ゐになつても宜敷い何れも一色を用ゐてゆくのです。では刈萱の挿し方を申します。

刈萱二尺三寸に切つて主、副の百合の中央にやゝ直立體に挿します。葉は前後に垂れる様に挿します。次は刈萱一尺七寸に切つて中間客位の桔梗の中央から、客位の上に少し傾斜した様に而して葉先が左右に垂れる様に挿して行きます。

先に記した刈萱の代りのものはアスパラカスなれば二本、姫芦なれば三本、薄なれば二本、荻なれば二本位が適當でしやう。

總て斯うしたものは涼趣を添へるあしらひに使ふものでありますから、お挿しになる場合にもそのおつもりで涼味を含ませてお挿しを願ひます。假りに風でも少しあたりますと刈萱やアスパラカスの葉は直ぐとその風に答へてゆれますそのゆれる際に他のとり合せの花に涼味あるいゝ影響を與へ、見る人に涼し氣な感を抱かせるからであります。

自然本位に白蓮と睡蓮

花器は萬曆赤繪の鉢

花止めの置き方

花器材料

萬曆赤繪鉢
白蓮睡蓮

此花器を選んだのは季節柄赤繪ではあるが模様には浮草鯉鯰其他色々な魚が描いてある爲めに、特に此器を選んだのである。花止は、三ツ付七寶二個、二ツ付七寶一個、都合三個を用ゐたのである。置方は少し趣が變つて居りますが、三ツ付七寶を向つて左の後隅に圖の如く置きます。

即ちイ、次は三ツ付七寶を右後隅に圖の如く置きます即ちロ、次は二ツ付七寶の花止を向つて右前隅に圖の如く置きます。以上三個。

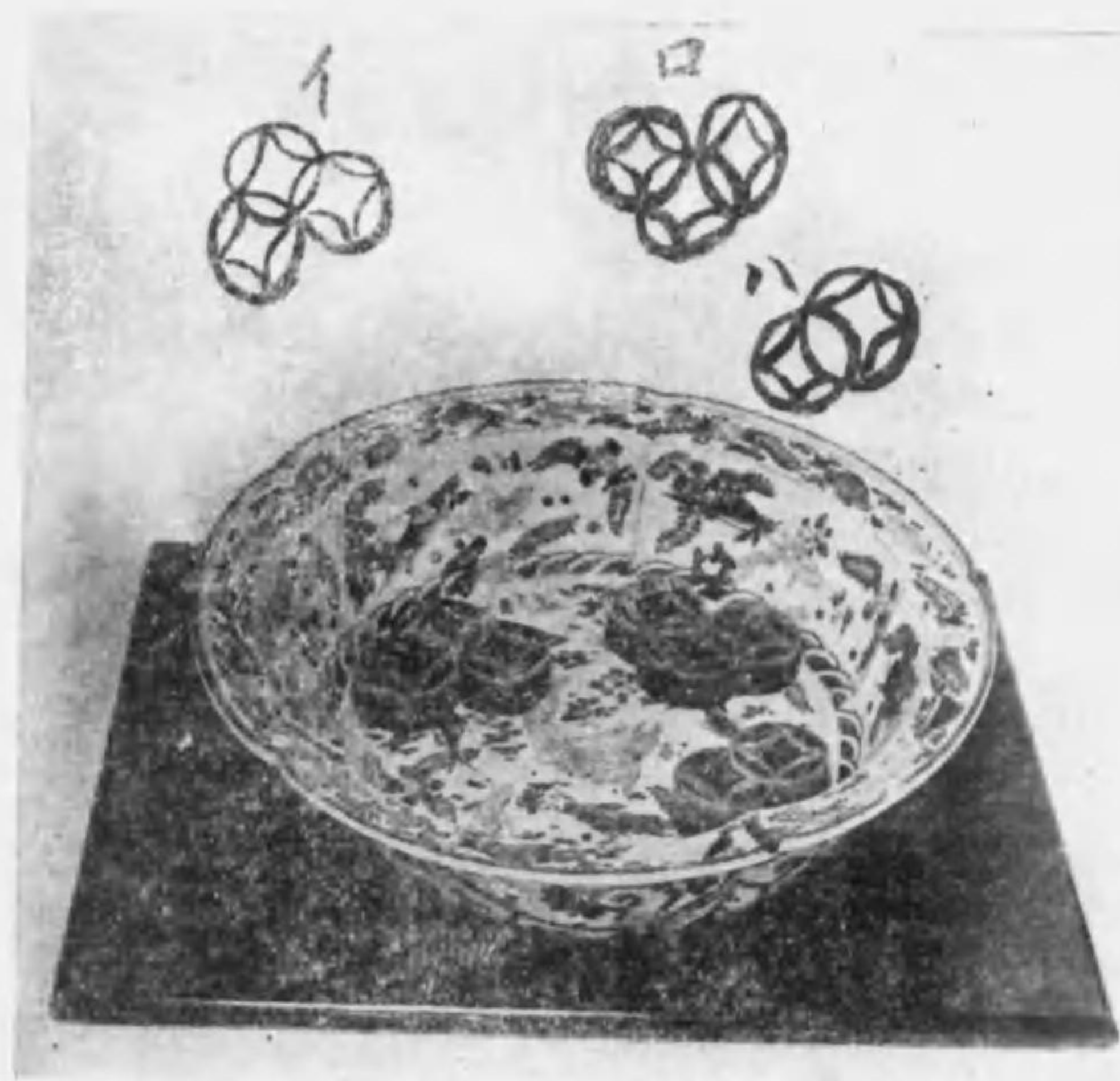
二ツ付七寶はハ、寫真面のイ、ロ、ハは少し模様と同じ様に見えますから記

事をよく讀むだ上で花を挿して下さい。

主の挿し方

附蓮の水揚法

主の花と葉を挿す前に水揚法を少し申し上げます。蓮の水揚法に就いては、既に讀者の内には御存じの方もおありでしやうが念の爲め申し上げます。此水揚法の傳授だけでも人により料金を多額に取ると云ふ習慣がありそして此水揚法が果



第五十五圖

して完全でありや否哉と云ふ事が疑問である一例を記すと朝早く蓮池に行つて色々の薬品を用ゐて水揚をする。

第二は夕ぐれに蓮池に行つて、同じく水揚をすると云ふ様な式であるが之れは男子なれば出来るが若し女子にして朝早く若くは夕ぐれ時に然うした蓮池に行くと云ふ事は非常な困難な事である。

然うして其薬品が焼明礬其外の薬を用ゐて水揚をするのである。斯うした事では、恐らく水は揚らない。又蓮池でローソクに火を付けて蓮の根を焼切ると云ふ方法を見受けた事もある。此方法などは現代としては少し遅れて居る様に思ふ。

何故なれば其日に無風であればローソクの火も保つが、若し朝風の吹いて居ると云ふ時にはローソクの火が消えて大狼狽をすると云ふ事があると思ふ、又時間も多くかゝるだらうと思ふ。

茲に簡単な水揚法を記すと、蓮は花屋に申付けて葉に成るべく疵のつか

ない程度で取寄せ、家庭で水揚をするのである。蓮の葉は池の淵に出来て居る成るべく黒味のある葉を取つて水揚をする。

池の中央にある青味が、つた葉は萎れる事がありますから、可成り古い葉を用ゐるのが得策です。

水揚げに用ゐる小さなポンプをお持ちであれば結構です。此ポンプは近頃非常に簡単なものが出来て居ります。ポンプさへあれば蓮、河骨、睡蓮の水揚に用ゐられるのですから、一つ位お求めになつて置く方が便利ですよ。

水揚をする薬品は、石灰水を用ゐます。之れは薬屋に賣つて居ります。一瓶十二三錢のもので、其石灰水を蓮の葉數に依つて分量を増減します。葉數の多い時には多量を用ゐ、葉數の少い時には少量を用ゐます。湯呑みに一杯の石灰水を水五杯の割で薄めます。

而してそれを女持の金盃に入れ火に掛けて八十度位の温度に暖め(斯う

した水揚に一々寒暖計を用ゐるのは面倒ですから指を入れて少し熱い位で結構です)其まゝポンプに入れて軸から葉先に向つて押し、而して蓮の葉のまん中を押さへて注入しないとそこから液體は出てしまひますから、其の中央を押さへて注ぐのです。

すると葉の纖維に液體は充分に行き届きます。あまり液體が多くはいつた場合には葉に水ぶくれの様なものが出来ます。それが出来るといけませんから、出来ない様に注入して下さい。全部注入が出来ましたならばバケツにひや水をくんで置いて其中につけて置きます。そしてお挿しになる水盤若しくは花瓶に石灰水一に對する七の割で水を入れて挿します。すれば三日間位は完全に水揚の出来たものを用ゐる事が出来きます。

又一日位なお客の時に此蓮を用ゐられる時には、普通の水で十分持ちます。永らく保たす時には先に申述べた方法を用ゐて貰ひたいと思ひます。以上記しました水揚法は、講師が實驗したのでありますから間違ひはあり

ません。時候物ですから一般
 讀者は此水揚法を實驗して頂
 き度いと思ひます。では主の
 挿し方を説明致します。

主の挿し方

白蓮花一本花首から一尺一
 寸三分位に切つてイの花止の
 左後隅の斜の細い穴に直立體
 に挿します。其後ろの横穴に
 卷葉を一本、葉首から七寸二分
 位に切つて、圖の如く直立體に
 挿します。卷葉も花も先に記

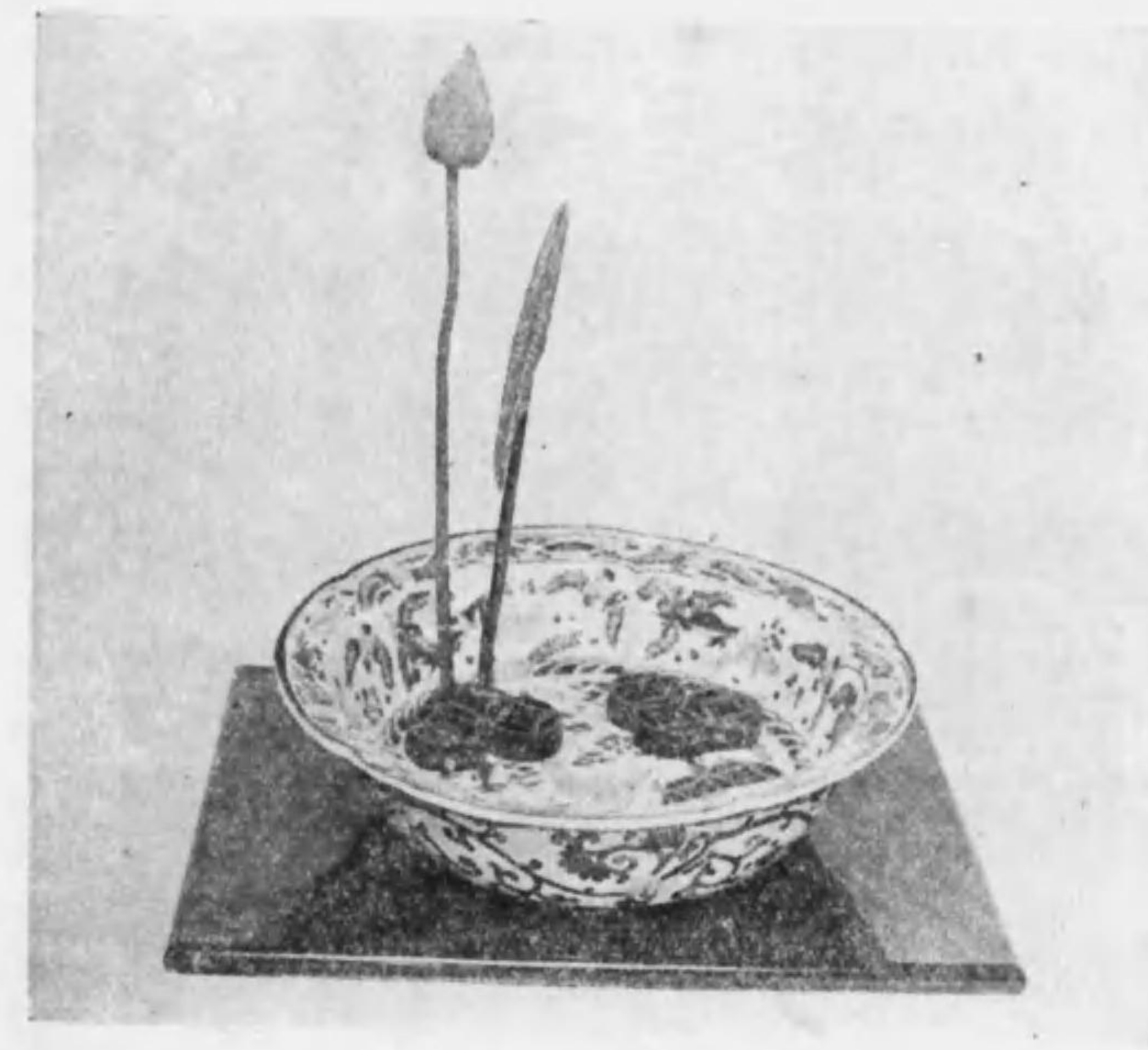


圖 六 十 五 第

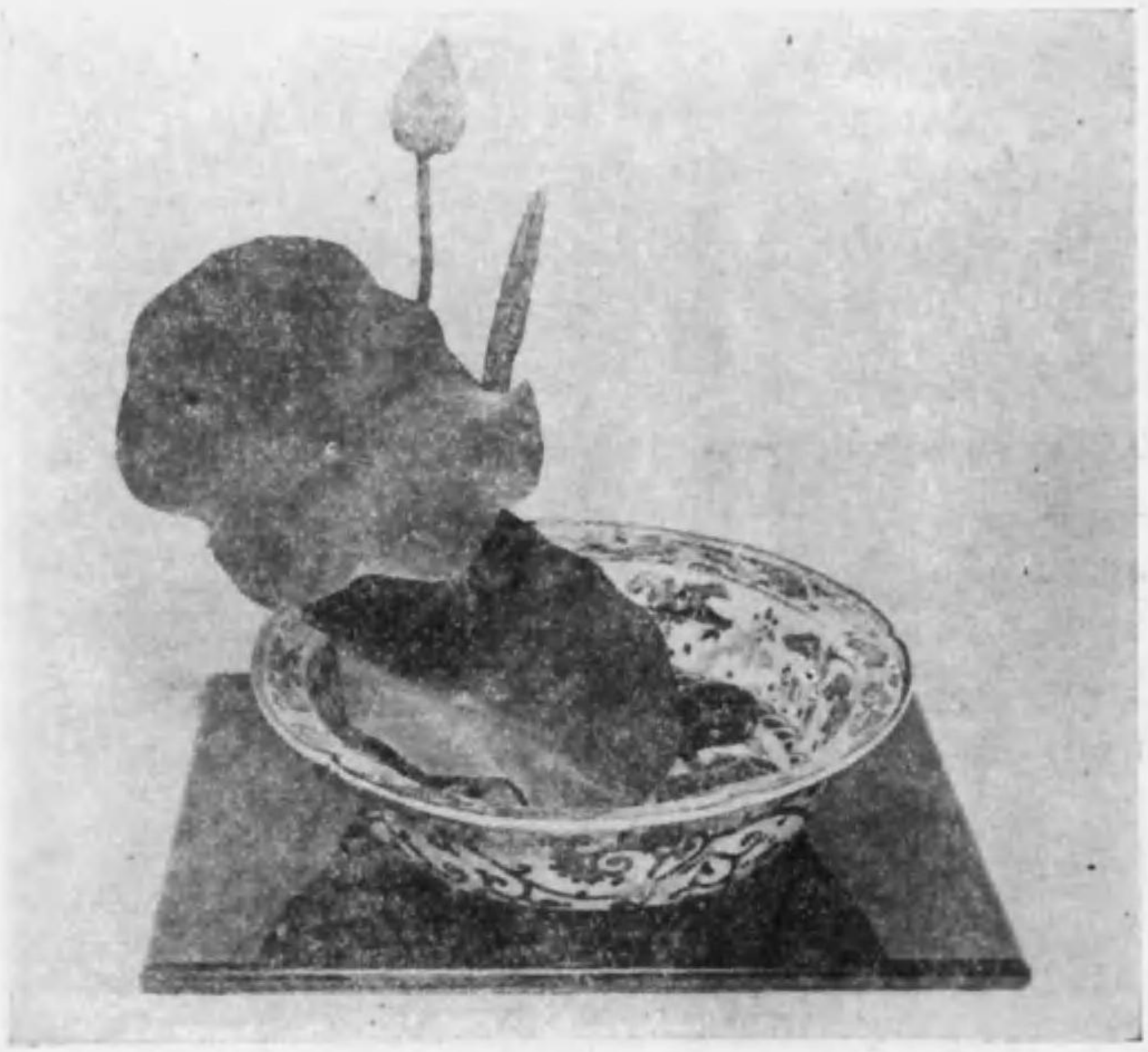


圖 七 十 五 第

して置いた水揚を用ゐて頂き
 ます。

副中間の挿し方

開葉を一枚、葉首から七寸に
 切つてイの花止の左前隅の大
 きな穴に少し前の方に傾斜體
 に挿します。次は葉首から二
 寸五分に切つて今挿した大き
 な穴の右前の小さい穴に挿し
 ます、但し此葉は寫眞面にある
 様に水盤の中に傾斜させます。
 あと一枚は浮葉として(可成

小さい葉が結構です、今挿した後の立つて居る巻葉の下に浮かして下さい。此葉は寫真面には現はれて居りません。以上で副中間は挿せ終りました。白蓮の花一本巻葉一本、開葉三枚都合五本になります。

中間客位の挿し方

次はハの花止に、花首より三寸八分に切った白の睡蓮花一本を二つ七寶の中央の斜になつた小さい穴に挿して右前隅



第五十八圖

にやゝ傾斜體に致します、又同じ穴に巻葉一本を二寸七分に切つて挿します。

葉は軸一寸位を付けて左右の大きな穴に一葉宛挿します。水盤の都合で後の方へも一枝挿しても宜敷い、次はロの花止に赤い睡蓮を花首から二寸七分に切つて向つて左後隅の斜の穴に少し前の方に傾斜して居る様に挿します。

寫真面で花が半分見えて居ります葉は軸一寸を付けて前後左右四枚位用ゐても宜敷い、水盤が小さければ二枚若しくは三枚と致します。

睡蓮の葉の挿し方は先に詳しく申して有りますから、略して置きます。之れで全部出来上りましたのであります。次は蓮一種挿、花二本巻葉二本開葉十一枚の大活であります。

大水盤に白蓮の大活

1011

花止の置き方

花器材料

白交趾大水盤
白蓮

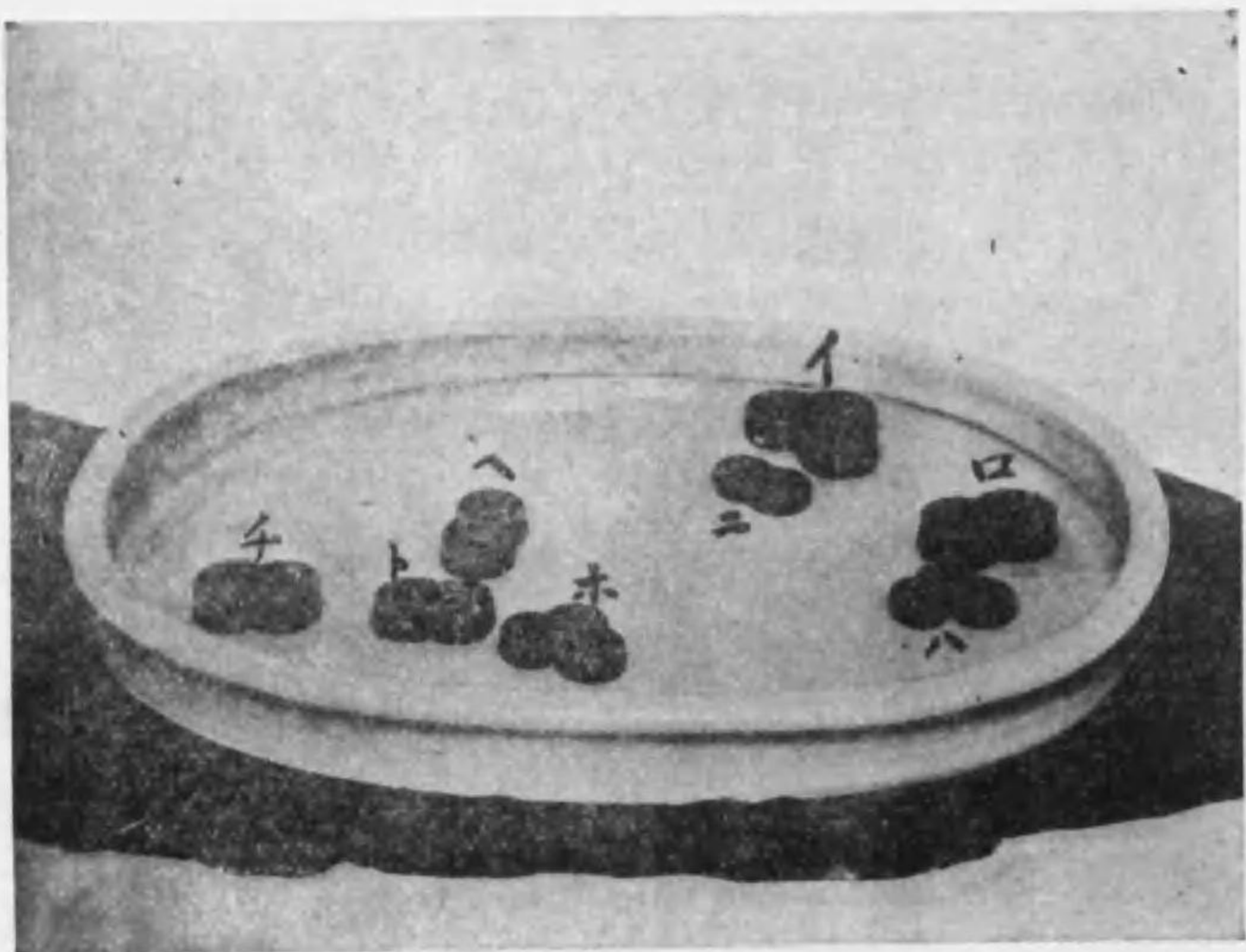
斯うした大活けの蓮を挿す場合には、花止は随分多く用ゐます、中間を挿してゆく時に二ツ付七寶若しくは三ツ付七寶に葉一枚挿して置く時が澤山あります。夫れが爲めに花止を多數に用ゐるのです。

今回の花止は、三ツ付七寶を三個(大小取まぜ)二ツ付七寶五個(大小取まぜ)此盛花は左勝手の花です。花止は向つて右後に三ツ付を一個右前隅に二ツ付七寶一個、其前に三ツ付七寶一個、初めの三ツ付七寶の前左寄りに二ツ付七寶一個。

次に三ツ付七寶一個、次に二ツ七寶を豎に一個、其前に二ツ付七寶を横に一個、左前隅に二ツ付七寶一個、以上八个を用ゐます。此盛花は出来得る丈け大きな長角又は小判形の水盤を用ゐられる方が適當です。

主中間の挿し方

蓮の開葉は餘り大きなものを用ゐますと澤山な數が用ゐられませんが、讀者のお考へで中位な葉を選んで頂き度いのです、と申して餘り小さい葉のみを選ぶと貧弱で蓮としての價



第五十九圖

1011



第六十圖

値が乏しくなりますから注意して頂き度いのです。

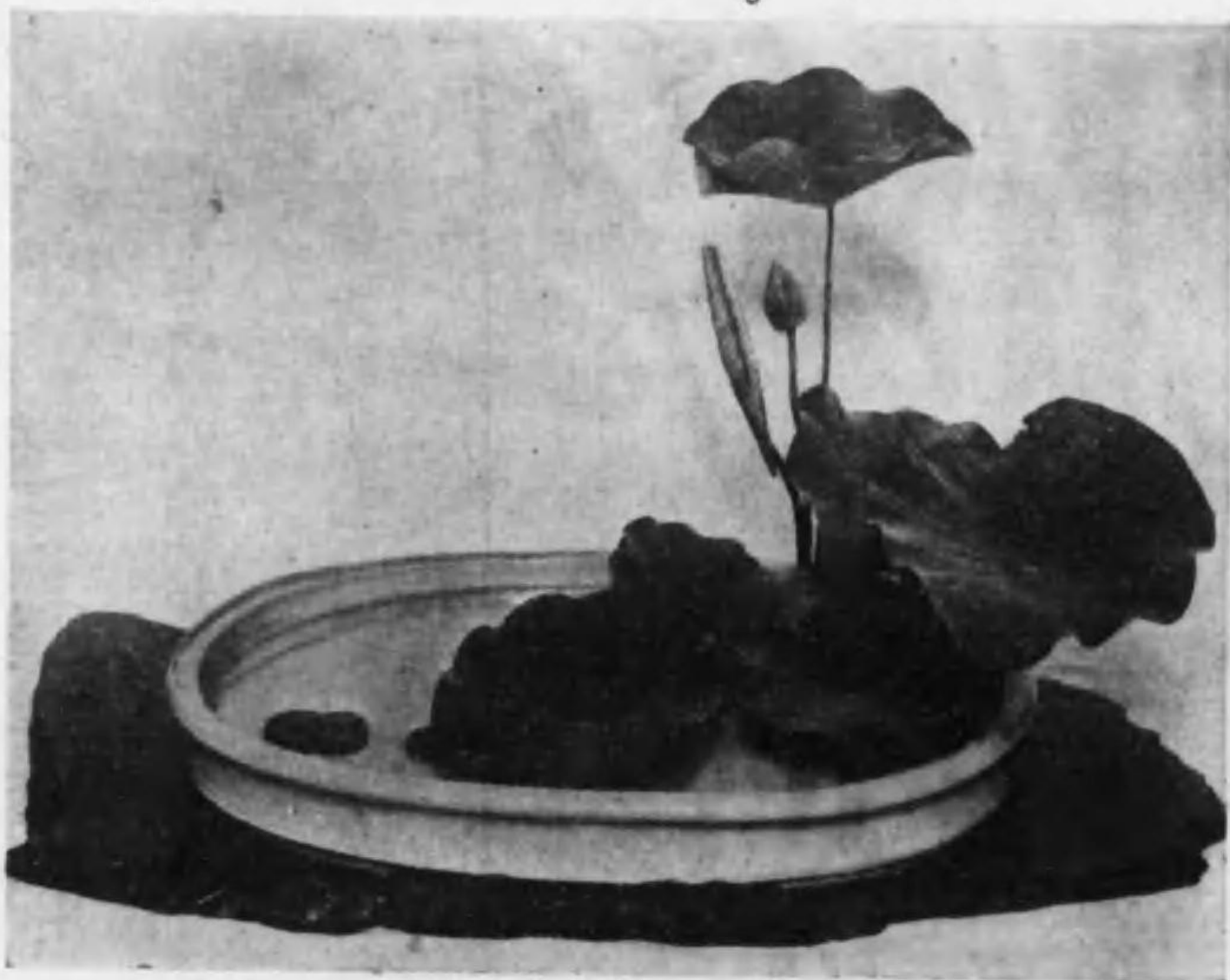
葉花すべての寸法は葉首花首からの寸法を申すのですから其つもりでお挿し下さい。開葉一尺四寸三分イの花止の向つて右の前隅の豎の穴に直立體に挿します。次は其後の穴に花一尺二寸七分卷葉一尺三分位に切つて同じ穴に挿します。

花卷葉は向つて左側に出る様に挿すのです。次は開葉七寸に切つてイの花止の一番前の横穴に寫眞面にある様に少し前の方に傾斜させて挿し

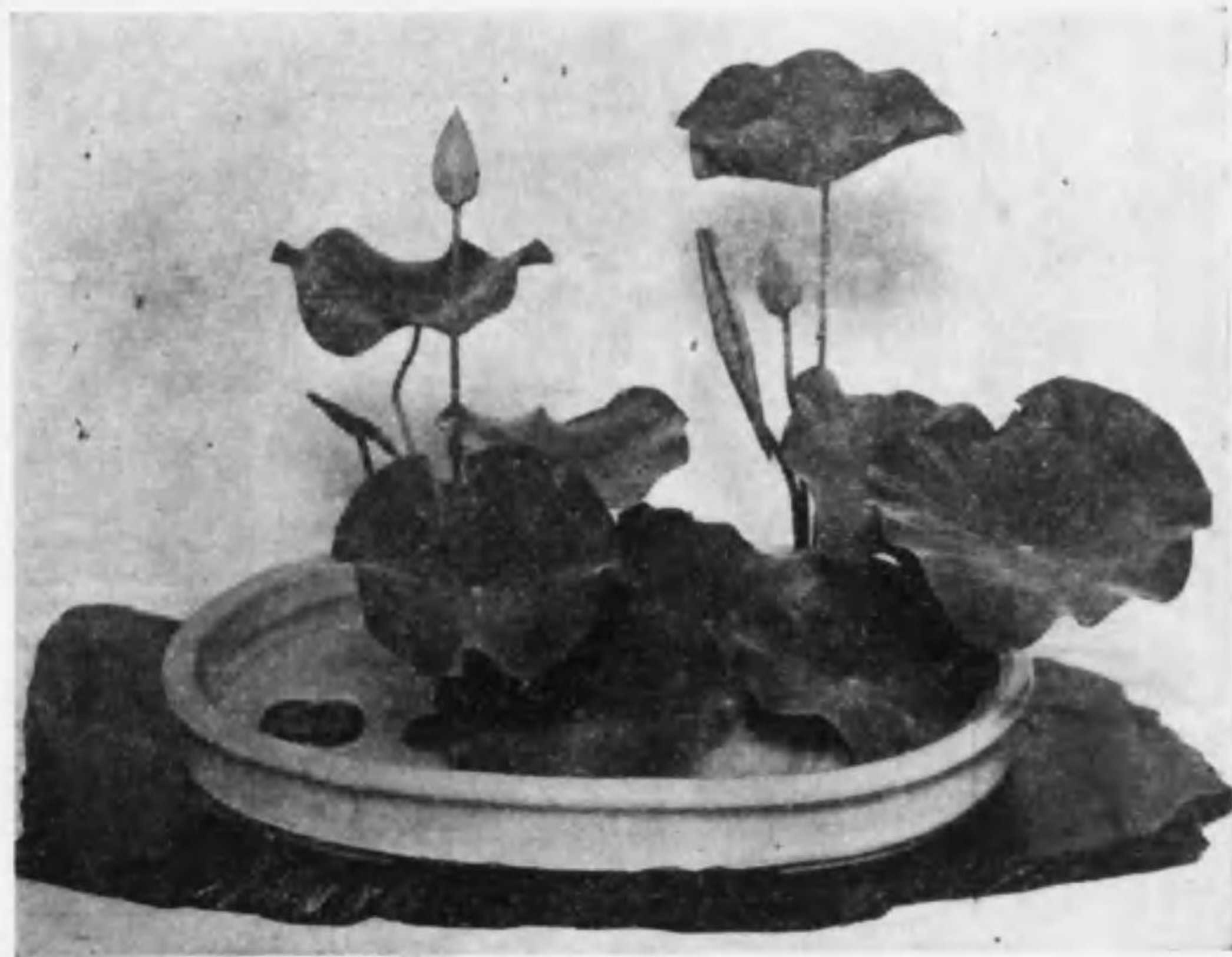
ます。

副、中間の挿し方

次は口の花止を用ゐます開葉の寸法は九寸五分に切つて、右後横の斜の穴に前の方に傾斜した様に挿します。次は開葉二寸五分に切つてハの花止の後ろの大きな穴に短く挿します。次はニの花止に二寸に切つて前の方に傾斜した様に挿します次はホの花止に二寸三分に切つて右後の斜の穴に前の方に傾斜した様に挿します。以上副中間四枚の葉は挿し終りま



第六十一圖



第 六 十 二 圖

した。

中間の挿し方

への花止の左前横の豎の穴に開葉一尺一寸花一尺五寸二本を同じ穴に直立體に挿します。其右隣の大きな穴に巻葉一寸二分位に切つて葉先が左横に出てくる様に挿します。開葉六寸五分に切つてへの花止の一番後の横穴に直立體に挿します。

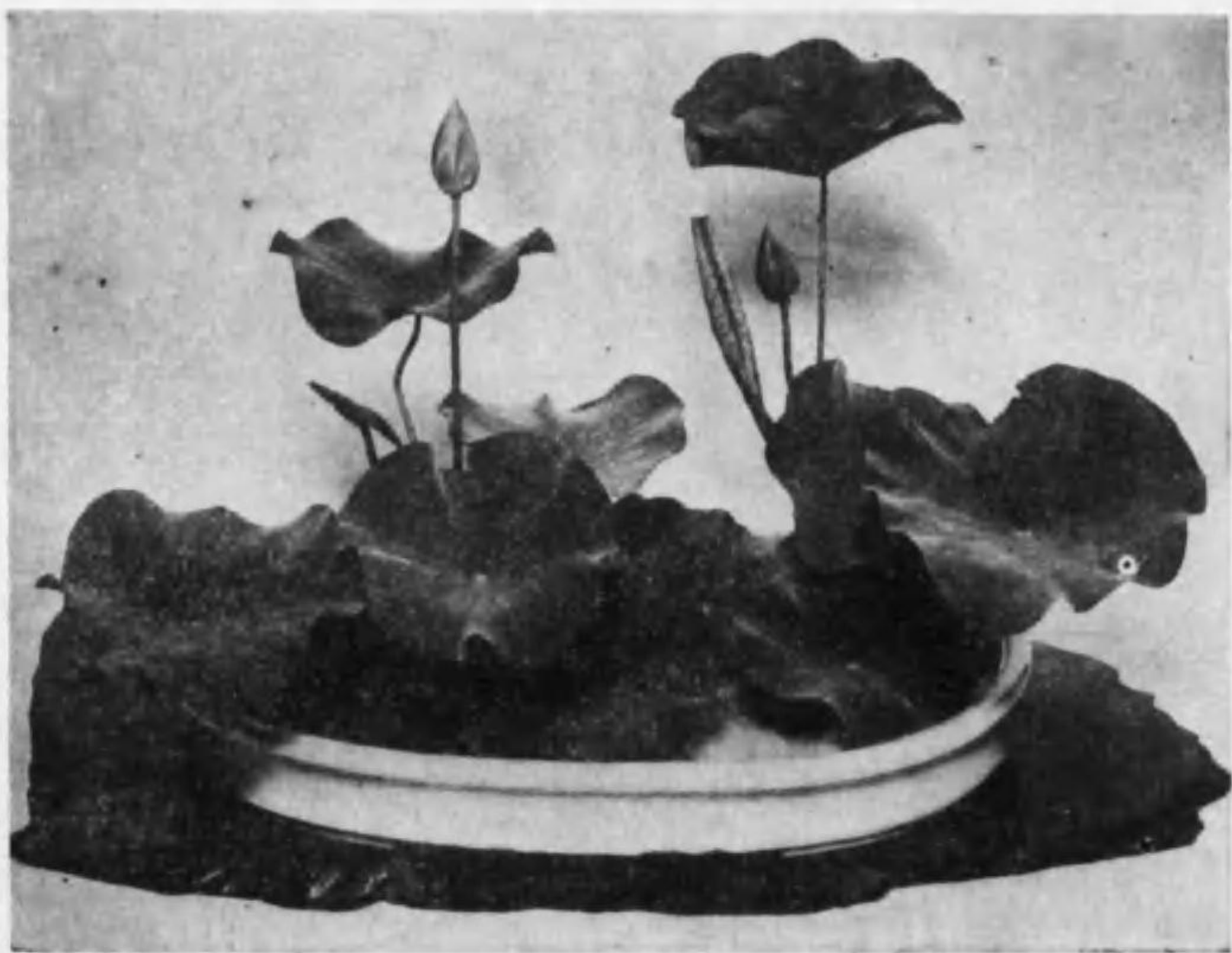
次は下の花止の右横の豎の穴に開葉六寸五分に切つて少し前の方に傾斜體に挿します。以上で中間の花一

本巻葉一本開葉三枚は挿し終りましたのです。

此中間の挿し方が中間花高くの挿し方になつて居ります。之れは蓮池へ讀者が望まれたなれば斯うした蓮の自然は澤山にありますから實地について研究せられるのもよからうと思ひます。

客位の挿し方

チの花止に開葉七寸に切つて左横の斜の小さい穴に圖の如く傾斜體に挿します。次は一尺八寸の開葉をチ



第 六 十 三 圖

一〇八
の花止の右横の豎の穴に挿します。斯うした葉は自然によくある浮葉を人工に依つて作った低いものであります。之れで全部出来上つたのであります。

此の盛花をする時に一言注意して置きます。開葉の軸の長いものを澤山に用ゐますと根元の花止をかくすと云ふ事に非常な困難を來たします、其たためになるべく低い葉を澤山に用ゐて花止をかくすと云ふ事に注意をして頂き度いのです。之れが此盛花の一番注意する處です。

寫眞面を御覽になつても花止は一つも見えて居りません。以上で此盛花は終ります。

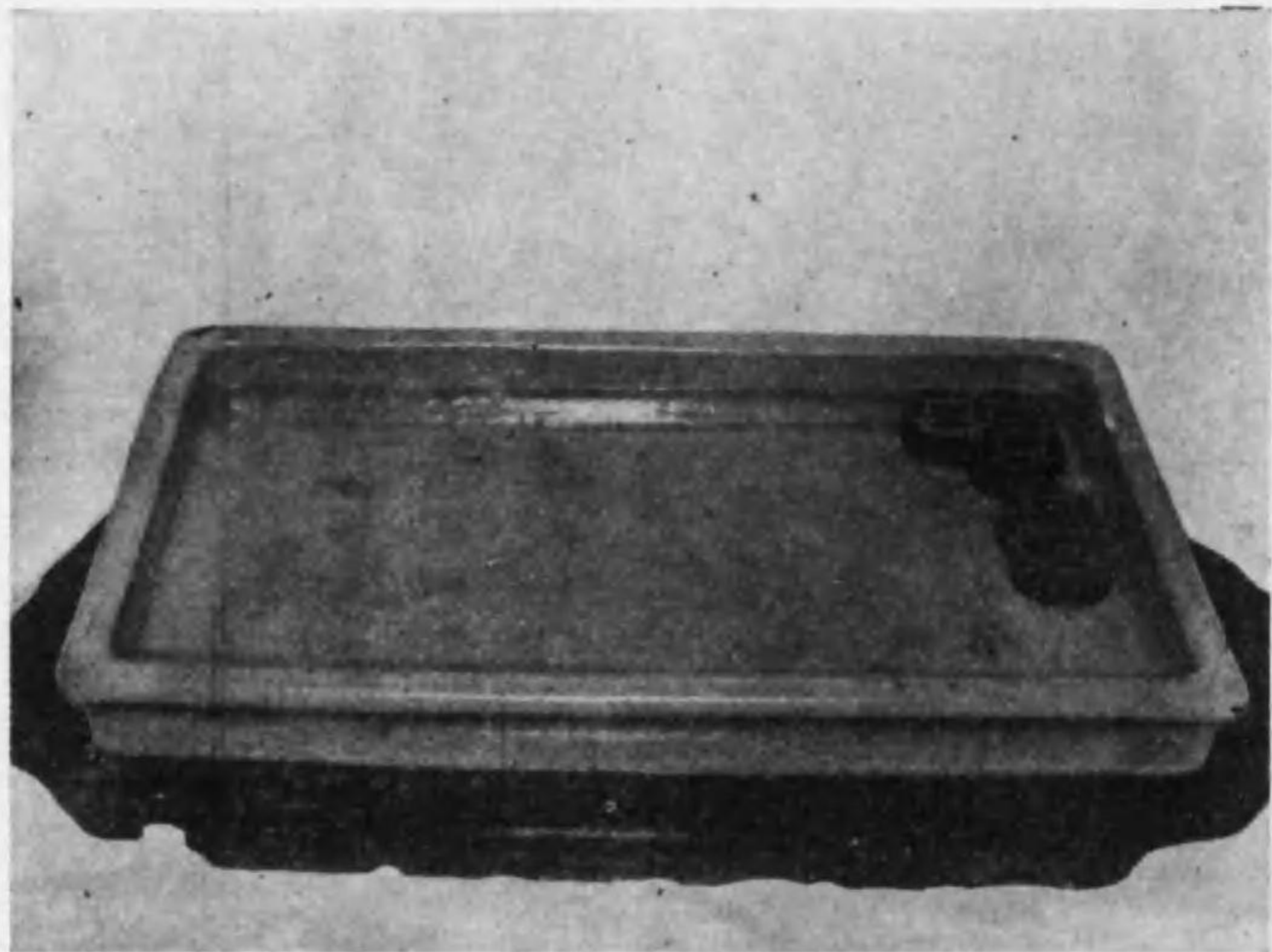
松、河原撫子、齒朶 白交趾の角水盤へ

花止の置き方

花器材料

白交趾水盤
松、河原撫子、齒朶

この盛花は大暑の盛花であります。小松三本、河原撫子二本、齒朶を用ゐて海岸の氣分を表す盛花です。花止は三つ付七寶一個、二つ付一個、都合二個を水盤の向つて右後の方に圖の如く置きます。なるべく花止は水盤の端



第 六 十 四 圖

の方に寄せて置いて頂きたいのです。

主の小松挿し方

小松は枝振が種々に變つて居りま
 第 一 ずから、寫真にある枝と同型のもは
 六 少いかも分りません。出來得れば、後
 十 右隅から右前隅の方に少し傾斜した
 五 様な枝を用ゐて頂きたい。

其の枝を三つ付七寶の向つて左側
 の大きな穴に挿して全體を少し左前
 隅の方に傾斜體に挿すのです寸法は
 一番長い處から根元まで一尺四寸三
 分位に切つて挿すので、之れが主です。



副の挿し方

小松を一本や、直立體のものを見
 立て、長い枝先から根元まで九寸に
 切つて今挿した主の右隣の大きな穴
 にや、直立體に挿すのです。

以上二本の小松を挿して海岸に汐
 風にもまれてゐる二本の老松を見る
 様な氣分を表現するのです。

中間小松の挿し方

この小松は二つ付七寶の後の大き
 な穴に圖の如く右前隅の方に傾斜さ



第六十六圖



第六十七圖

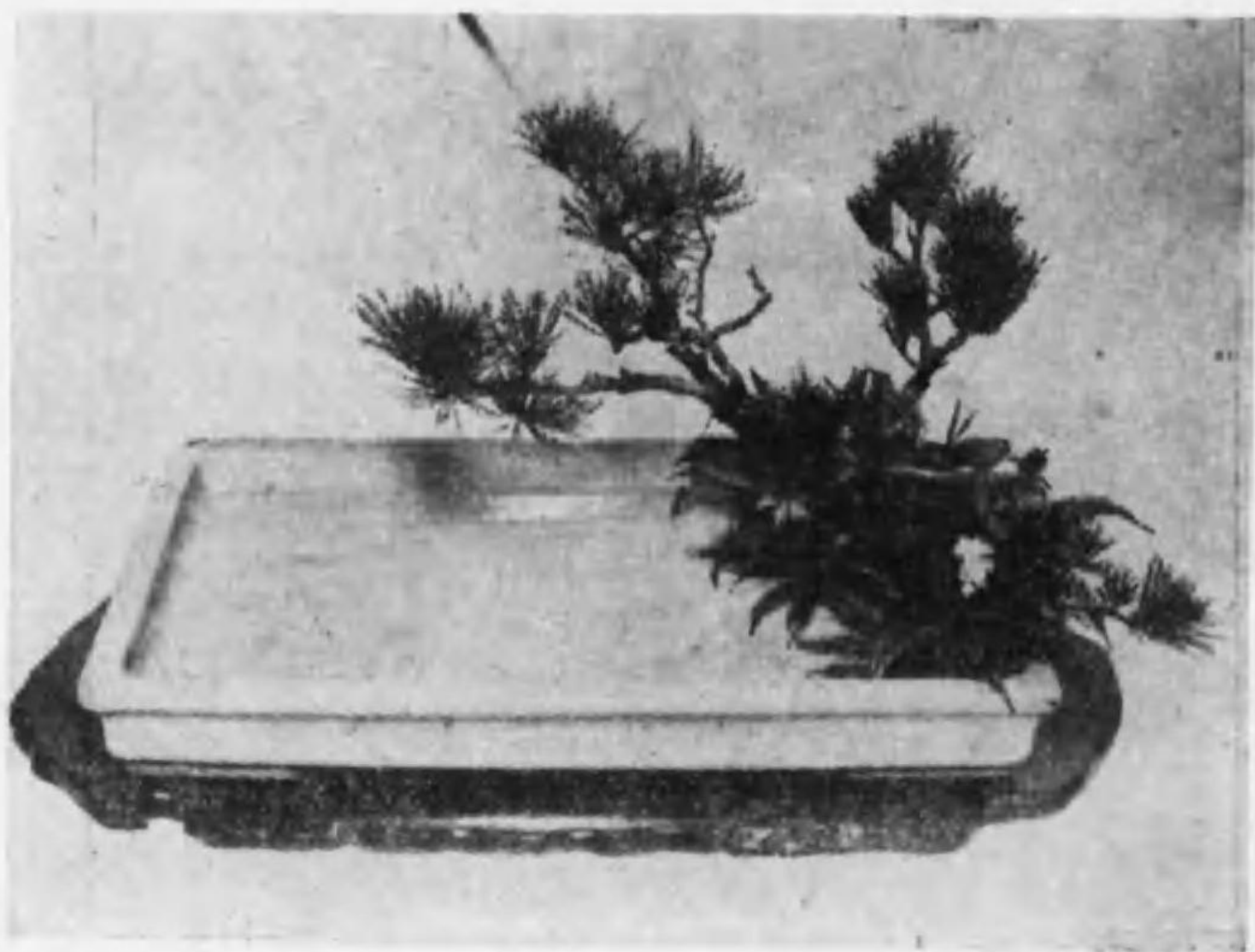
二二
せて挿すのです。もし傾斜體の枝の無い時は、直立體のものでも結構です。この場合は寸法を少し短くするのが適當です。其の寸法は七寸位寫眞にある傾斜體の枝ならば一尺一寸位にするのです。これが中間です。

中間客位、撫子、齒朶の挿し方

河原撫子は四本用ゐてあります。三寸位に切つて二つ付花止の右前隅の豎の穴に右側に傾斜した様に一本挿すのです。次は副の根元に二寸八分位に切つて一本挿します。次は主の根元に二

寸五分位に切つて左側に花が向いた様に一本挿します。残りの一本は中間の松の根元に二寸三分位に切つて一本挿します。これで都合四本を挿したのです。

齒朶の使用法は度々講習して居りますから本數と用ゐる場所を指定します。主副中間、客位の根元に二十本若しくは二十五本用ゐます。葉はなるべく小型のものを選んで頂きたい。大きな葉を用ゐると一、二枚で盛花の面積を廣く潰しますから、その邊は注意して頂きたいのです。



第六十八圖

この盛花の特長は、なるべく挿してある面積を狭くして水の見える場所を広くするといふのが、主眼ですから、その積りに挿して頂きたい。實習をする時に小松の枝振をよく選定して海岸の氣分といふ事を本位にして頂かないと、たゞ小松三本、撫子、齒朶を用ゐると流れ川の片邊りを見る様な盛花が出来上りますから、くれぐれも注意をして置きます。

總て自然から見た盛花の場合にはその初めに 現しやうと考へた場面の氣分を強く現はすやうに心掛けなければなりません。その爲めに材料の選擇をおろそかにしてはなりません。

蒲河骨睡蓮の三種を

自然本位に大水盤へ挿す

花止の置き方

花器材料 均窯大水盤 蒲河骨睡蓮

此盛花は本勝手の挿し方になつて居ります。花止は三ツ付七寶三個、二ツ付七寶二個、都合五個用ゐます。初めは三ツ付七寶を一個向つて左の後隅に圖の如く置きます。此花止がイです。次は左前隅に三ツ付七寶を置きます。此花止がロであります。

次は三ツ付七寶を水盤のやゝ中央に圖の如く置きます。之れがハの花止です。次は二ツ付七寶を其前に圖の如く豎に置きます。即ちニの花止

です。次は二ツ付七寶を向つて右前隅に少し斜に置きます。之れがホの花止です。以上で花止の置き方は終ります。

主、中間の挿し方

蒲は御承知の如く前後に葉が出て中央に實が出来ます。此盛花をする時には實を真中に前後左右に葉を用ゐます。實の長さは二尺二寸に切つて葉の長いものは一尺八寸五分位に切つて葉数は前後左右に九枚位程用ゐます。葉の長さは見計らひで一番

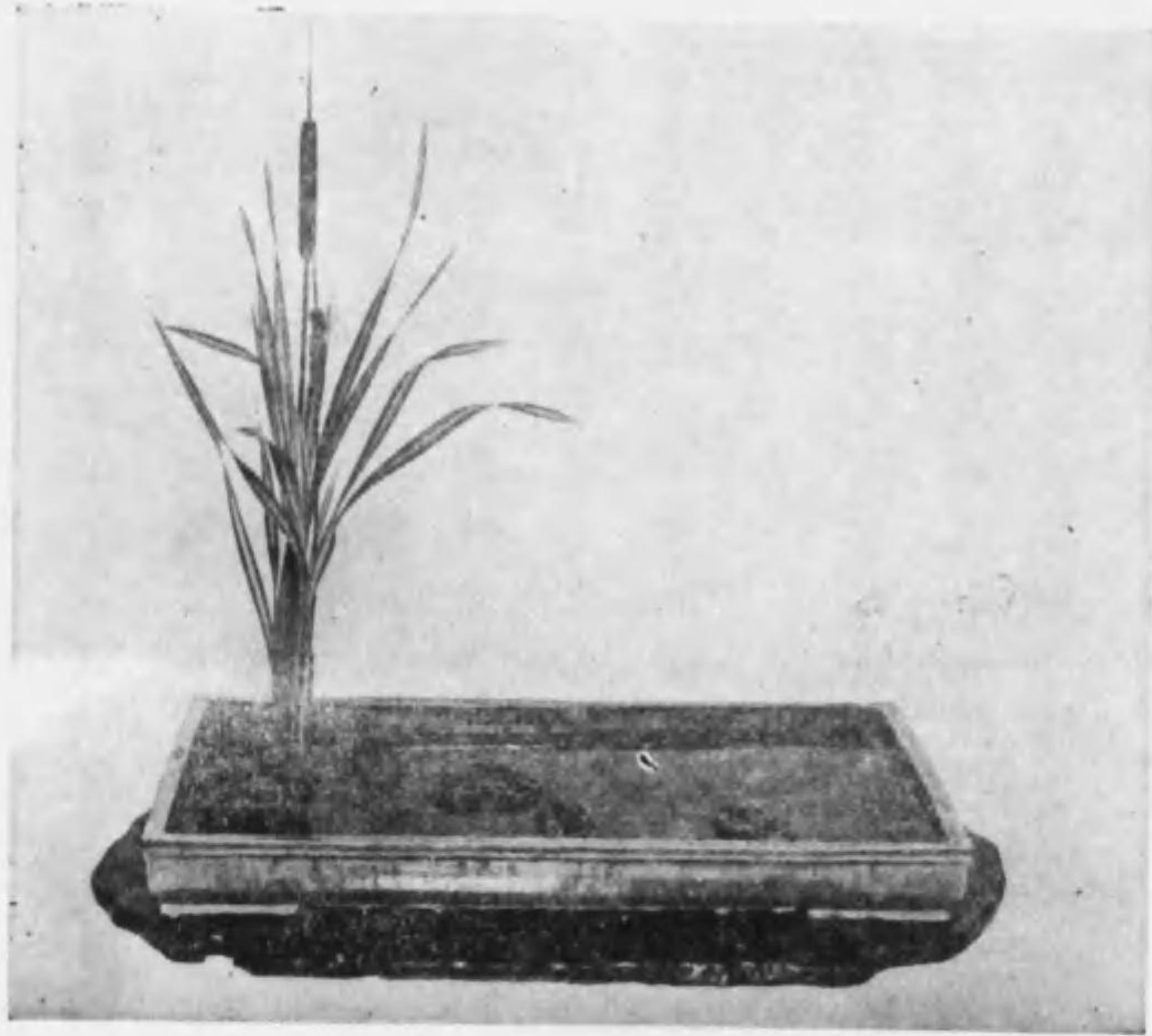


圖 十 七 第

長いものは先に申した寸法位に挿してゆく。

次はイの花止の左後の大きな穴へ直立體に挿します。次は其前の大きな穴に實の長さ一尺六寸五分長い葉一尺七寸五分葉数は八枚位用ゐて挿します。少々葉と葉が交叉してもかまひません。成可く寫眞面の様に挿して下さい。

副、中間の挿し方

ロの花止の後の大きな穴に

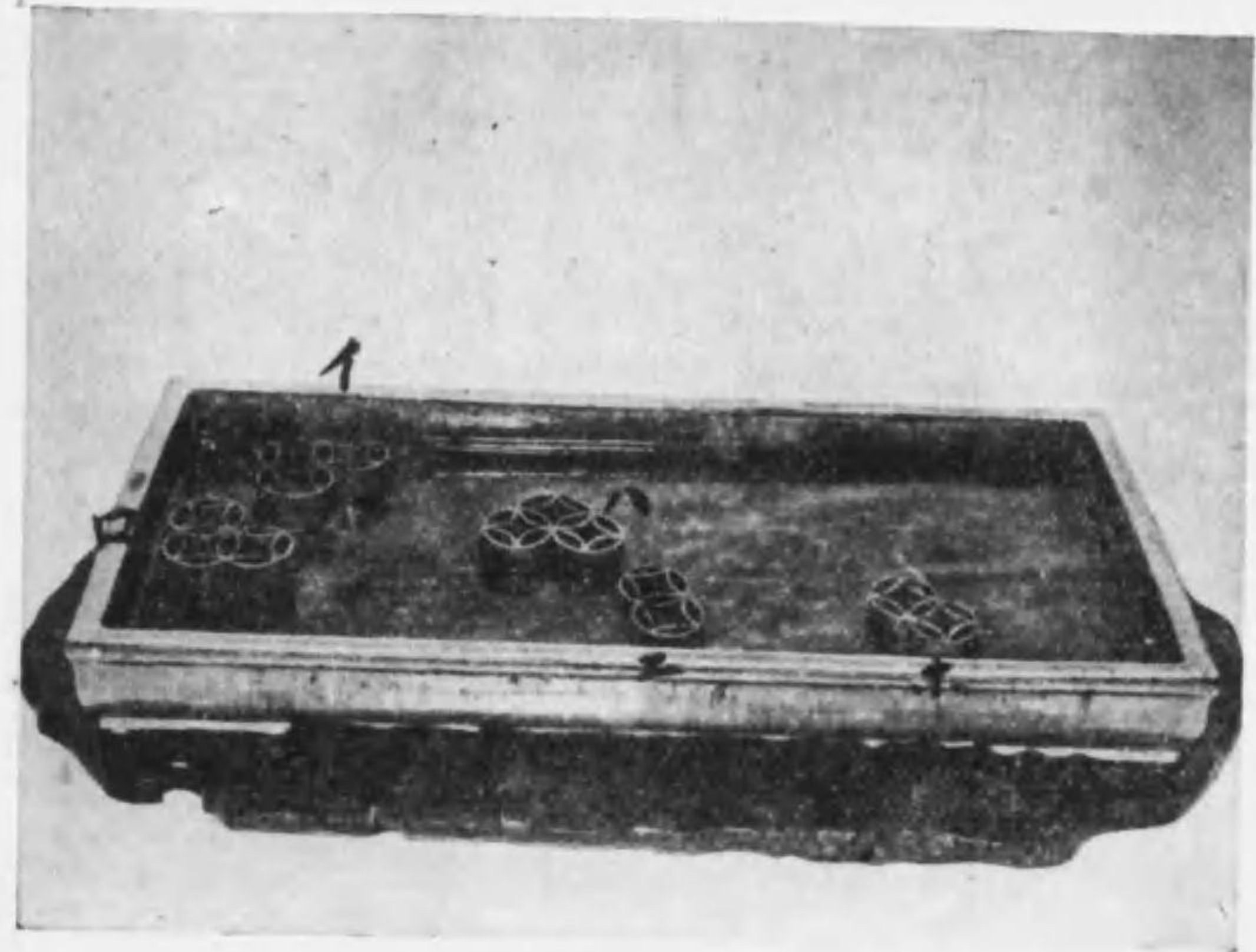


圖 九 十 六 第

實の寸法一尺八寸五分、長い葉の寸法一尺六寸八分、葉數七枚位少し前の方に傾斜した様に挿します(但し實は直立體)

次は河骨、葉を六寸五分に切つて一枚、七寸に切つて一枚、此二枚をイの花止の主を挿した右の豎の穴にやゝ直立體に挿します。

次は其右隣の大きな穴に、葉四寸五分、花八寸、二本を同じ穴に向つて右前隅の方に挿します。



第七十一圖

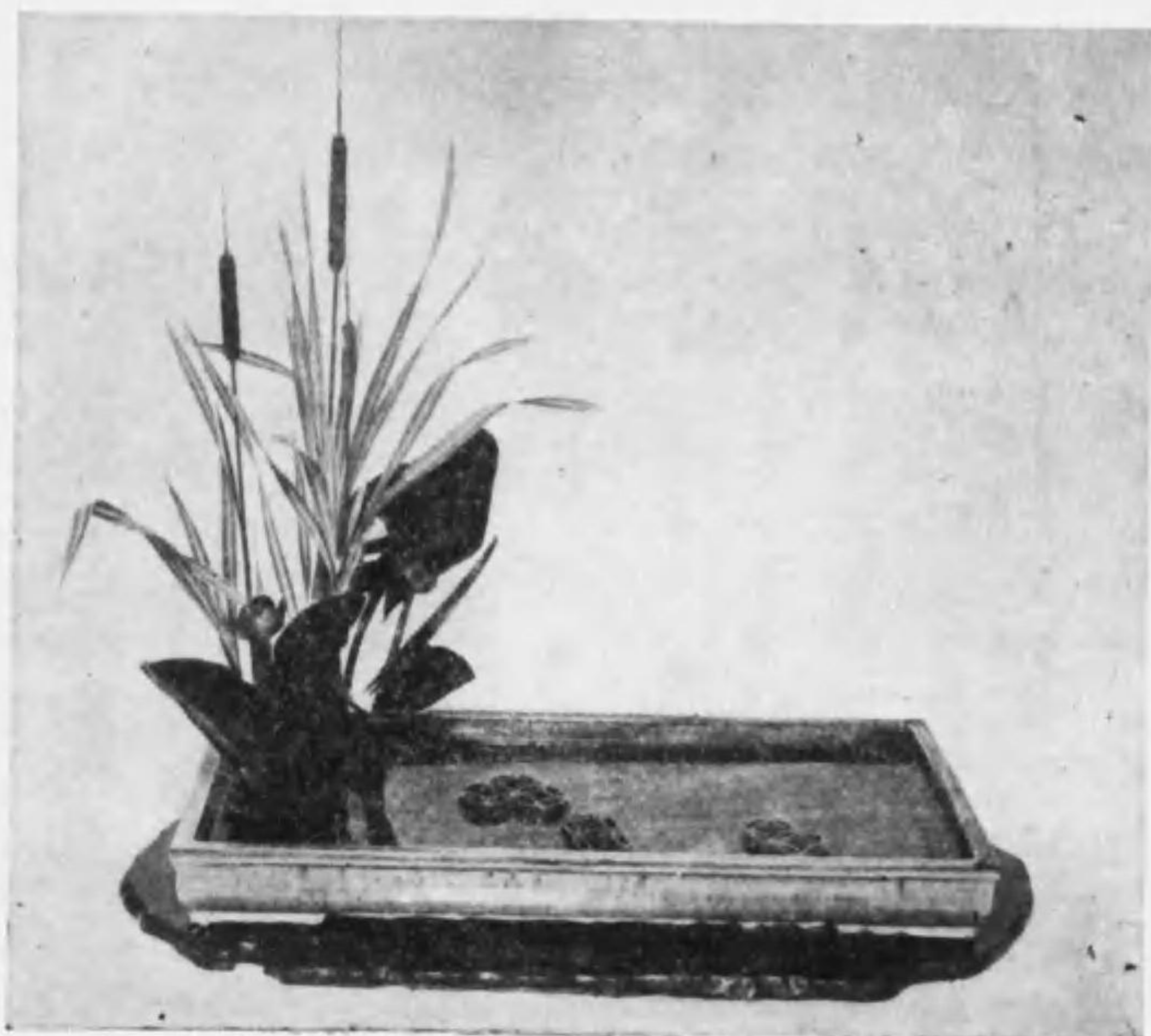
河骨の葉三寸三分に切つて今挿した右隣の豎の穴に葉先を前の方に傾斜させて挿します。之れで副中間の河骨は挿せたのです。
河骨は二株になつて居りますが二株同時に寫眞に寫しますと少し複雑になりますから、中間河骨として一株にして説明致します。

中間の挿し方並に水揚法

ロの花止の眞中の小さい豎の穴に、花六寸五分、葉四寸三分、葉後花前に同じ穴に少し前に傾斜させて挿します。次は葉三寸に切つて、今挿した左隣の大きな穴に葉先を左前隅に出た様に挿します。

次の葉はロの花止の右前の大きな穴に葉二寸四分に切つて、前に傾斜した様に挿します。以上で中間河骨は挿し終りましたのです。

河骨も澤山挿してゆく場合には寸法の短いものを用ゐて花止をかくすと云ふ事に注意をして挿してもらひ度いのです。



河骨の水揚は蓮の葉と反對になるべく若い葉に水揚をすればよく水が葉先迄行届きます。古い葉は葉の半分位しか液体が這入りませんから自然葉先が卷く恐れがあります。

第十七 又液体を注入する時に無暗にポンプを押すと軸がやはらかい爲に軸が割れて液体のこぼれる事がまゝありますから注意して頂きます。

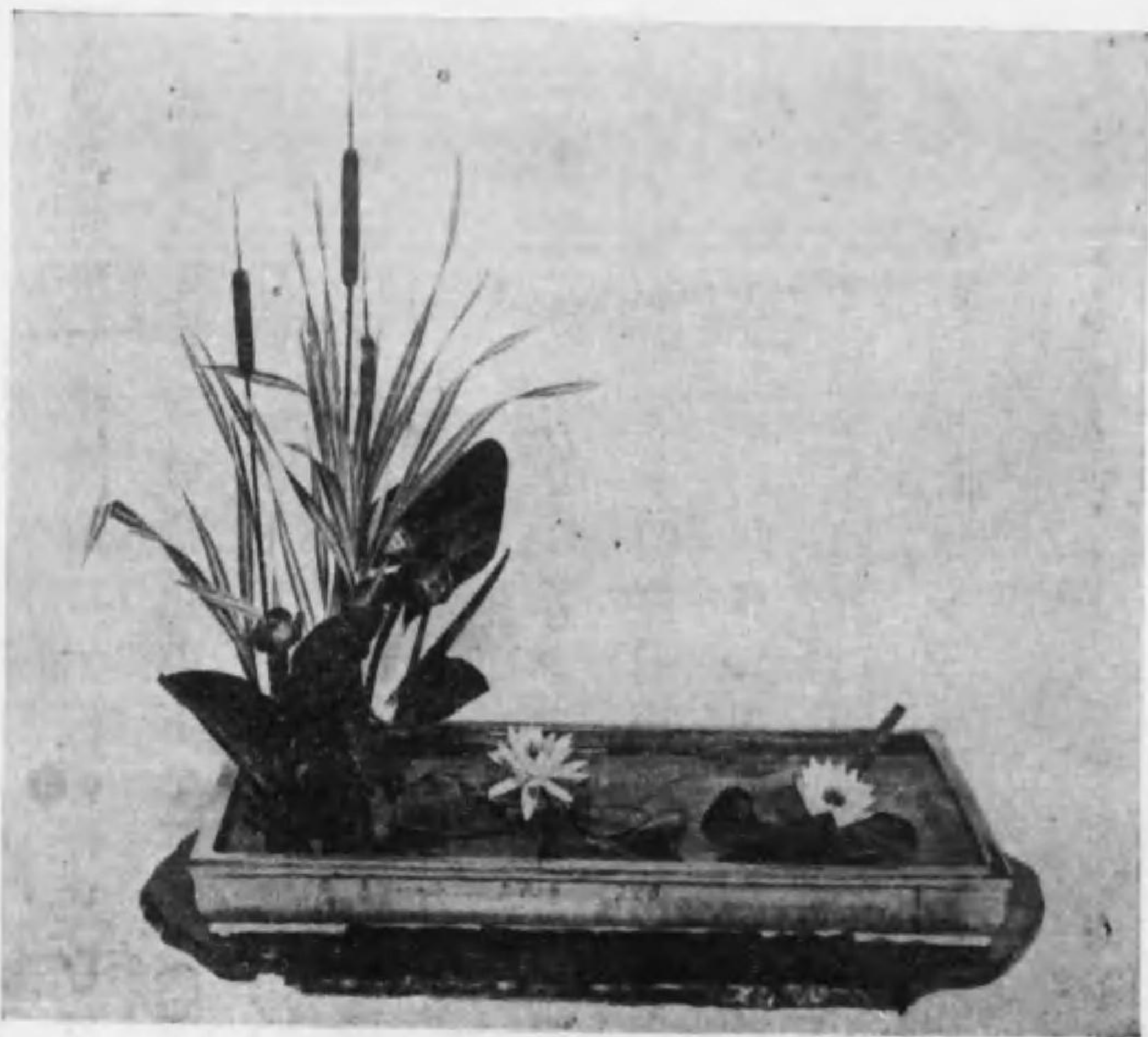
液体は蓮の水揚と同様但し石灰水一に對する水七位の割

で液体を熱くして注入する事、液体のはいつたものを水の中につけて置くと云ふ事が必要です。

又石灰水の無い方は灰のあく汁を可成うすめて其中に明礬極少量耳かきに二杯位入れて用ゐるのも宜敷い
斯うすれば四日間位は平氣でもちます。

中間、客位の挿し方

ハの花止に花三寸位に切つ



第十七 圖

て真中の細い穴に直立體に挿します。葉は前俊に二枚右側に一枚都合三枚挿します。ニの花止に葉を三枚即ち前後二枚左側に一枚都合三枚、ツゝと後の方に長く浮葉を用ゐます。此軸の先をニの花止の下で押さへて頂きます。

さうすると水を多量に入れても動かないで丁度よい位置に浮いて居ります。以上は中間の挿方です。

次は客位の挿し方花三寸に切つて巻葉二寸七分に切つて右前隅の大きな穴に右前隅に少し傾斜した様に挿します開葉を四枚前後左右に使つてゆきます。開葉の軸は何れも一寸位を付けて置く方が適當でしやう。

若し睡蓮を花葉とも長くもたす場合には河骨と同等の水揚法を行へば長く持ちます。但し睡蓮の花葉の軸が細い爲めにポンプを應用して困難な時があります。

さうした時には花葉の軸を紙で巻いてポンプと同じ大きさにして注入すれば液體がこぼれずに注入出来ます、極小さいものは三本位根元を寄せて前の方法で注入します。

以上で夏の盛花を終りと致します。

四季盛花挿し方 夏之部 終

昭和四年二月廿五日印刷
昭和四年三月一日發行

定價金貳圓

不許複製

編者 大阪市天王寺區上の宮町六一番地
渡邊 虹 衣

發行人兼印刷人 大阪市北區曾根崎上四丁目四九番地
三島 聰 惠

發行所

大阪市北區曾根崎上四丁目四九番地
大阪時事新報社
振替口座大阪三三一九番

終

大阪時事新報社發行